

目次(1/2)

非公開:成果・企業情報ともに非公開

本事業の概要

···· P4

パターン①「デジタル化の可能性検討」・・・・・P14

- 1 株式会社BKT
- 2 株式会社ROCKY-ICHIMARU
- 3 株式会社イマガワ
- 4 株式会社エステーリンク
- 5 株式会社オキス
- 6 株式会社ケーメック
- 7株式会社サカタ製作所
- 8 株式会社サワライズ
- 9 株式会社みすずコーポレーション
- 10 株式会社メタルウェア
- 11株式会社岡野エレクトロニクス
- 12 株式会社髙木化学研究所
- 13 株式会社水貝製作所
- 14 株式会社石金精機
- 15 株式会社東洋電制製作所

- 16 戸出化成株式会社
- 17 黒澤酒造株式会社
- 18 神谷機工株式会社
- 19 水口酒造株式会社
- 20 側島製罐株式会社
- 21 多田製菓株式会社
- 22 田中精密工業株式会社
- 23 日本毛織株式会社
- 24 日糧製パン株式会社
- 25 ベンドサービス株式会社
- 26 有限会社山﨑マーク
- 27 MARUMORI-SAUNA株式会社
- 28 社会福祉法人アイ・ティ・オー福祉会
- 29 アーダンリゾート株式会社
- 30 株式会社エルピダあおば

- 31 株式会社ココロココ
- 32 スタイルクリエイト株式会社
- 33株式会社大学サポート
- 34 株式会社チェリッシュスタジアム
- 35 株式会社琴平国際ホテル八千代
- 36 長州物産株式会社
- 37 非公開
- 38 キノンビクス株式会社
- 39株式会社サンテックサービス
- 40 株式会社砂子組
- 41 株式会社大石組
- 42 非公開
- 43 豊開発株式会社
- 44 名新パイピング株式会社
- 45 有限会社ゼムケンサービス

目次(2/2)

非公開:成果・企業情報ともに非公開

パターン①続き

···· P100

- 46 株式会社カネサ藤原屋
- 47株式会社ありたや
- 48 株式会社キムラ
- 49株式会社宗家くつわ堂
- 50 株式会社三益商会
- 51 太平洋興産株式会社
- 52 炭平コーポレーション株式会社
- 53 益田三菱自動車販売株式会社
- 54 株式会社オートプロニーズちくご
- 55 株式会社KONPIRA DROP STORIES
- 56 松浦通運株式会社
- 57 株式会社カマタマーレ讃岐
- 58 出雲ガス株式会社

パターン(2)

•••• P123

- 59 株式会社大野ナイフ製作所
- 60 株式会社スギョ
- 61 株式会社高洋商会
- 62 株式会社三松
- 63 株式会社三松製作所
- 64 株式会社田井鐵工
- 65 株式会社山翠舎
- 66 非公開
- 67株式会社キューテスト
- 68 株式会社サイコー
- 69 合同会社アソビ社
- 70 特定非営利活動法人ゆだかつ
- 71 ウエノ設備株式会社
- 72株式会社リョーワ
- 73 株式会社冨坂建設

パターン②続き

···· P153

- 74 富木医療器株式会社
- 75 お茶の井ヶ田株式会社
- 76 非公開
- 77 豊橋ステーションビル株式会社
- 78 山西水産株式会社

パターン③

···· P161

- 79 株式会社五月雨
- 80 株式会社ナガヨシ
- 81 株式会社日本統計センター
- 82 株式会社羽生田鉄工所

本事業の概要

事業の背景

生成AI等の最新技術の利活用などデジタル化は不可逆的に 進展している中で、各国ではデジタル投資が加速。地域企業 が、今後も地域経済を支える主体であり続けるためには、自ら の経営課題や事業環境の変化に合わせてDXによる業務・ ビジネスモデルの変革を実行することが重要

そのためには、DX推進の担い手となるデジタル人材の育成・確保が必要不可欠であるが、現状では、デジタル人材が質・量ともに不足していることに加え、都市圏への偏在も課題となっている。

こうした課題解決に向けて、経済産業省では、令和4年度において、地域の企業のDXを加速させるために必要なデジタル人材を育成・確保する「デジタル人材育成プラットフォーム」を構築。2年目となる令和5年度も、デジタル人材が実践的なデジタル実装能力を磨くため、地域企業の現場で実際の課題解決に取り組むプログラム(地域企業協働プログラム)を提供する実証事業を実施

取り組みの内容

過去3年間に亘って取り組んだAl Quest事業を基に、 DXへとテーマを拡大して本年度は2年目となる取り組みを実施



中小企業のAI活用におけるニーズを調査し優先的に導入を 進めるべき業種・工程 (以下、「優先領域」) を明確化



DX推進の担い手となる「デジタル人材」の育成やコミュニティ形成を実施

DXについて様々な検討状況にある88社の企業にご参加頂き、中小企業と育成した人材が協働して課題解決にあたる「現場研修プログラム」を実施

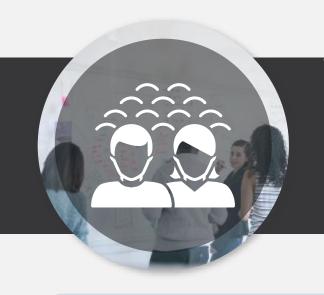
2022年度の成果は、公開済の事例集をご参照 https://www.meti.go.jp//policy/it_policy/jinzai/Coll aboration 2021.pdf



今年度は、よりプログラム内容を充実・規模を拡大して「デジタル人材」の育成やコミュニティ形成を実施するとともに、地域の中小企業とネットワークを持つ「地域ハブ団体」とより密に連携

DXについて様々な検討状況にある82社の企業にご参加頂き、中小企業と育成した人材が協働して課題解決にあたる「地域企業協働プログラム」を実施

地域企業協働プログラムの概要



受講生と、企業が協働し、実際の課題解決に取り組むプログラム





期間

主として2023年12月~2024年1月の2ヶ月間



参加要件

第1タームのマナビDX QuestのPBL修了者 / 昨年度のマナビDX Quest修了者

チーム単位での参加が条件



実施内容

企業のDX導入状況に応じて、「今後のDX推進に向けたプランを具体化したい」といった 課題解決から、デジタル活用の有用性検証やDXビジネス変革検討等のパターンを予定



受講生と 企業の役割分担 受講生: デジタル関連の知見やスキルを元に、DX変革を主体的に推進

企業: 議論やデータ提供を通じて、受講生と共にDX変革を推進

デジタル化の状況を問わず最終的にDXを目指す企業を お受入れ

協働プログラムの対象企業

デジタルトランスフォーメーション

(Digital Transformation)

組織横断 / 全体の業務・製造プロセスのデジタル化、 "顧客起点の価値創出" のための事業やビジネスモデルの変革

デジタライゼーション

(Digitalization)

個別の業務・製造プロセスのデジタル化

デジタイゼーション
(Digitization)
アナログ・物理データのデジタルデータ化

全ての段階に該当する企業が対象

将来的には DX を目指すことを前提とする

Source: 経済産業省:DXレポート2 (2020年12月)

具体的には、3つの段階の企業(82企業)を受け入れ、段階別にゴールを設定

協働プログラムの対象企業

パターン① デジタル化の可能性検討

企業の デジタル化 い 何からどう の状態 目体的な

デジタル化にこれから取り組みたい のからどう進めるべきかを検討し、 具体的なアクションに移していきたい

パターン②

データ分析を通じた データ・デジタル技術の 活用可能性の設計/ 初期的な検証

デジタル化の構想/テーマが決まっており、データがゼロではない 今後のプロジェクトの具体化 (取組み判断含む)や初期的な 検証(PoC)を実施したい モデル・システムの 実装・運用

モデルやシステムは構築・ 検証済みであり、実装・ 運用していきたい

対象外

企業と受講生間の合意があれば、 終了後に継続実施も可能

パターン③

データ・デジタル技術を 用いた新規事業検討

デジタル化の取組みは一定進んでおり、それらを活用した新しいビジネスモデルを創出したい

2か月間で 取り組む ことの イメージ

DXへの意識醸成支援

DXの推進計画の策定

- 現状把握•課題特定
- 打ち手の検討
- DX導入・展開計画の 策定

DX施策具体化·効果検証

- 今後の取組み方針の 検討/計画策定
- PoCの実施(モデル開発等)
- 本番実装・運用・展開 計画の作成 等

システムの開発・運用・改善

- システム実装のための 運用環境の構築・整備
- 既に運用している システム・モデルの改善

新たなビジネスの計画検討

- 新事業アイディアの ブレスト/評価
- 実現までのロードマップの 策定

各段階の 案件数

58案件

20案件

4案件

参加企業の受け入れ要件



事業・段階別のゴールへの理解

- あくまで「学び合い」を目的とした事業であり、必ずしも何らかの 成果物が伴うものではない
- 企業のDXの状況に応じて2か月間で達成できるゴールが異なる



経営者の巻き込み、主体的な検討

- 経営者・各部署の担当者の局所での議論への参加
- 受け身ではなく、主体的な議論へのご参加



事業体制への理解

- オンライン・完全リモートでの対応
- 平日夜(19時~)または休日における、週1時間の打ち合わせ実施
- Slackでの質疑応答への対応

各地の中小企業と ネットワークを持つ 地域ハブ団体と連携し、 多様な案件を開拓

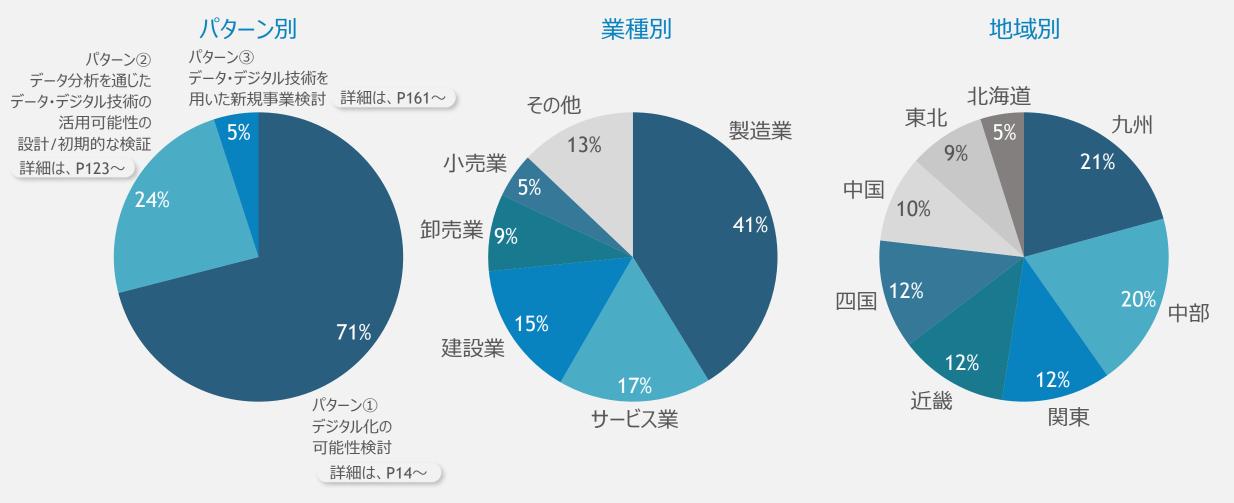
地域ハブ団体による面談・ 左記の要件確認を踏まえて、 事務局で参加可否を判断

参考)中小企業とネットワークを持つ「地域ハブ団体」10社と連携し、多様な案件を開拓地域ハブ団体一覧

No	地域ハブ団体名	ブロック	事業の実施地域
1	株式会社道銀地域総合研究所	北海道	北海道
2	株式会社ミヤックス	東北	宮城県
3	デロイト トーマツ リスクアドバイザリー株式会社	関東	新潟県、長野県
4	株式会社百五総合研究所	中部	愛知県、三重県、(岐阜県)
5	ジェック経営コンサルタント	北陸	富山県、石川県
6	一般財団法人大阪労働協会	近畿	福井県、滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、 和歌山県
7	株式会社YMFG ZONEプラニング	中国	鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県
8	株式会社パソナJOBHUB	四国	愛媛県松山市及び香川県高松市・仲多度郡琴平町
9	有限責任監査法人トーマツ		福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、 鹿児島県
10	独立行政法人国立高等専門学校機構	/ u/	福岡県北九州市

Source: 「令和5年度地域デジタル人材育成・確保推進事業(デジタル人材育成における地域ハブ機能実証事業)に係る委託先の採択結果一覧」

2023年度協働プログラム参加企業 概要



参加企業および実施内容の概要(1/3)

#	_ 企業名	業種	所在	地域ハブ団体	実施テーマ
1	株式会社BKT	製造業	石川県	ジェック経営コンサルタント	BKT独自の全社DXモデルロードマップの立案
2	株式会社ROCKY-ICHIMARU	製造業	福岡県	有限責任監査法人トーマツ	【町工場から企業へ】DXのフレームワークを描き、企業価値を●%向上
3	株式会社イマガワ	製造業	岡山県	株式会社YMFG ZONEプラニング	複数部門におけるバックオフィス業務のデジタル化可能性検討
4	株式会社エステーリンク	製造業	新潟県	デロイト トーマツ リスクアドバイザリー株式会社	会社業務のデジタル化推進のロードマップ構築
5	株式会社オキス	製造業	鹿児島県	有限責任監査法人トーマツ	鹿児島を代表する6次産業化企業のDXロードマップの策定
6	株式会社ケーメック	製造業	福岡県	独立行政法人国立高等専門学校機構	調達・購買管理のデジタル化
7	株式会社サカタ製作所	製造業	新潟県	デロイト トーマツ リスクアドバイザリー株式会社	サカタ製作所でのDX構想策定
8	株式会社サワライズ	製造業	福岡県	独立行政法人国立高等専門学校機構	C形鋼生産トレーサビリティ
9	株式会社みすずコーポレーション	製造業	長野県	デロイト トーマツ リスクアドバイザリー株式会社	DX構想の検討・ロードマップの作成
10	株式会社メタルウェア	製造業	富山県	ジェック経営コンサルタント	メタルウェアDX化推進プロジェクト
1	株式会社岡野エレクトロニクス	製造業	鹿児島県	有限責任監査法人トーマツ	『製造工程におけるデータ投入の負荷をデジタル化によって軽減』
12	株式会社髙木化学研究所	製造業	愛知県	株式会社百五総合研究所	製品出荷管理から始める、生産システムのDX化
B	株式会社水貝製作所	製造業	三重県	株式会社百五総合研究所	製造プロセスから得られるデータを用いて、不良等を予測するしくみを構想するプロジェクト
14	株式会社石金精機	製造業	富山県	ジェック経営コンサルタント	IPADプロジェクト
1 5	株式会社東洋電制製作所	製造業	富山県	ジェック経営コンサルタント	全社DX構想の検討
16	戸出化成株式会社	製造業	富山県	ジェック経営コンサルタント	DXで射出成形製造プロセスの業務効率化推進プロジェクト
1	黒澤酒造株式会社	製造業	長野県	デロイト トーマツ リスクアドバイザリー株式会社	資材及び原料管理の効率化を踏まえたDX構想・ロードマップの策定
18	神谷機工株式会社	製造業	大阪府	一般財団法人大阪労働協会	老舗刃物メーカーDX化プロジェクト!
19	水口酒造株式会社	製造業	愛媛県	株式会社パソナJOBHUB	酒蔵DXプロジェクト 日本最古の温泉道後温泉と共に歩む酒蔵の次の100年を造るDX化ロードマップ策定
20	側島製罐株式会社	製造業	愛知県	株式会社百五総合研究所	そばじまDX
21)	多田製菓株式会社	製造業	大阪府	一般財団法人大阪労働協会	収益改善に向けた中長期DXロードマップ策定PJ
22	田中精密工業株式会社	製造業	富山県	ジェック経営コンサルタント	ロードマップ策定による、全社的ペーパーレス化の浸透
23	日本毛織株式会社	製造業	大阪府	一般財団法人大阪労働協会	生成AI技術を活用した経営管理業務の自動化・効率化
24	日糧製パン株式会社	製造業	北海道	株式会社道銀地域総合研究所	日配品の需要予測等を軸にしたDX戦略/ロードマップの構築
25	ベンドサービス株式会社	製造業	山口県	株式会社YMFG ZONEプラニング	自動販売機業務の効率化に向けたデジタル化可能性検討
26	有限会社山﨑マーク	製造業	長崎県	有限責任監査法人トーマツ	デジタルを活かし、新たな価値を創造するものづくり企業へ
27	MARUMORI-SAUNA株式会社	サービス業	宮城県	株式会社ミヤックス	需要と供給がミスマッチをしている状況下での、社会的効用の最大化を目指す仕組みづくり
28	社会福祉法人アイ・ティ・オー福祉会	サービス業	三重県	株式会社百五総合研究所	介護事業における情報一元化に向けた仕組みを構想するプロジェクト
29	アーダンリゾート株式会社	サービス業	鹿児島県	有限責任監査法人トーマツ	顧客体験の質を上げる「ひとつなぎDX」のロードマップ策定

参加企業および実施内容の概要 (2/3)

#	企業名	業種	所在	地域ハブ団体	実施テーマ
30	株式会社エルピダあおば	サービス業	宮城県	株式会社ミヤックス	出荷、返却管理の効率化で業務改善
31	株式会社ココロココ	サービス業	愛媛県	株式会社パソナJOBHUB	介護現場におけるバックオフィス業務のDX化
32	スタイルクリエイト株式会社	サービス業	福岡県	独立行政法人国立高等専門学校機構	保育士(福祉業界)のDXで業務効率化!
33	株式会社大学サポート	サービス業	愛媛県	株式会社パソナJOBHUB	インターンシップサービスのDX化構想ロードマップの検討
34	株式会社チェリッシュスタジアム	サービス業	愛媛県	株式会社パソナJOBHUB	コワーキングスペースUWAJIMA QUEST省人化プロジェクト
35	株式会社琴平国際ホテル八千代	サービス業	香川県	株式会社パソナJOBHUB	15代目の老舗旅館の新たな挑戦、次世代につなぐDX構想ロードマップの検討
36	長州物産株式会社	サービス業	山口県	株式会社YMFG ZONEプラニング	予約管理システムのデジタル化可能性の課題
37	非公開	非公開	非公開	非公開	非公開
38	キノンビクス株式会社	建設業	滋賀県	一般財団法人大阪労働協会	バックオフィス業務のDXによる働き方改革の推進
39	株式会社サンテックサービス	建設業	大阪府	一般財団法人大阪労働協会	弊社課題の棚卸とDX化へのロードマップを前提とした人事評価システムの構築
40	株式会社砂子組	建設業	北海道	株式会社道銀地域総合研究所	『建設現場DX』の推進を支える、管理やクラウド化などのサポートDXロードマップ構築
41	株式会社大石組	建設業	新潟県	デロイト トーマツ リスクアドバイザリー株式会社	バックオフィス(管理部門)業務の効率化
42	非公開	非公開	非公開	非公開	非公開
43	豊開発株式会社	建設業	大阪府	一般財団法人大阪労働協会	ノウハウ形式知化に向けたノーコードツール導入検討
44	名新パイピング株式会社	建設業	愛知県	株式会社百五総合研究所	中小建設業界の取引効率化に向けたしくみの構想プロジェクト
45	有限会社ゼムケンサービス	建設業	福岡県	独立行政法人国立高等専門学校機構	中小建設業の情報管理の効率化やデータ管理の一元化に関する検討
46	株式会社カネサ藤原屋	卸売業	宮城県	株式会社ミヤックス	お酒の配送人員が不足している中、配送員の業務効率を上げるための改善方法を考える
47	株式会社ありたや	卸売業	大分県	有限責任監査法人トーマツ	DX推進による課題解決の検討
48	株式会社キムラ	卸売業	北海道	株式会社道銀地域総合研究所	(株)キムラ「デジタルシフト推進プロジェクト」
49	株式会社宗家くつわ堂	卸売業	香川県	株式会社パソナJOBHUB	業務効率化を目指した全社DX構想ロードマップの検討
50	株式会社三益商会	卸売業	大阪府	一般財団法人大阪労働協会	2026年新社屋建設に合わせたDX化推進のロードマップの検討
51	太平洋興産株式会社	卸売業	北海道	株式会社道銀地域総合研究所	配送の見える化と関連業務簡略化によるDX推進
52	炭平コーポレーション株式会社	卸売業	長野県	デロイト トーマツ リスクアドバイザリー株式会社	DXグランドデザインの策定
53	益田三菱自動車販売株式会社	小売業	島根県	株式会社YMFG ZONEプラニング	社内情報共有の効率化に向けたデジタル化可能性検討
54	株式会社オートプロニーズちくご	小売業	福岡県	有限責任監査法人トーマツ	販売管理システムと顧客管理システムのマッチング化
55	株式会社KONPIRA DROP STORIES		香川県	株式会社パソナJOBHUB	創業778年、金刀比羅宮の歴史を紡ぐ会社が1,000年を目指すためのDX構想ロードマップの検討
56	松浦通運株式会社	運輸業	佐賀県	有限責任監査法人トーマツ	物流企業向け販売管理システムの再構築検討
57	株式会社カマタマーレ讃岐	その他	香川県	株式会社パソナJOBHUB	試合速報・広報のデジタル化検討プロジェクト
58	出雲ガス株式会社	その他	島根県	株式会社YMFG ZONEプラニング	旧態依然とした紙ベース業務の効率化に向けたデジタル化可能性検討

参加企業および実施内容の概要 (3/3)

#	企業名	業種	所在	地域ハブ団体	実施テーマ
		#-11.24- M/			
59	株式会社大野ナイフ製作所	製造業	岐阜県	株式会社百五総合研究所	生産計画のAI活用による自動立案と修正の可能性の検討
60	株式会社スギョ	製造業	石川県	ジェック経営コンサルタント	電子帳票データ・基幹データの活用可能性の設計/検証
61	株式会社高洋商会	製造業	大阪府	一般財団法人大阪労働協会	営業データ活用プロジェクト
62	株式会社三松	製造業	福岡県	独立行政法人国立高等専門学校機構	製造業におけるヒューマンリソースDX
63	株式会社三松製作所	製造業	新潟県	デロイト トーマツ リスクアドバイザリー株式会社	生産技術や稼働率の見える化に向けた蓄積データの分析・活用、改善モデルの構築
64	株式会社田井鐵工	製造業	兵庫県	一般財団法人大阪労働協会	新規事業タイリク(ミャンマー高度人材の採用支援事業)における、人材登録プラットフォーム構築
65	株式会社山翠舎	製造業	長野県	デロイト トーマツ リスクアドバイザリー株式会社	AUTONOMOUS工程表作成プロジェクト
66	非公開	非公開	非公開	非公開	非公開
67	株式会社キューテスト	サービス業	宮城県	株式会社ミヤックス	ベビーシッター、家事代行の管理業務の効率化でお母さんたちの笑顔を支える
68	株式会社サイコー	サービス業	宮城県	株式会社ミヤックス	地域未来牽引企業におけるデータドリブンな新規事業の加速・拡大支援
69	合同会社アソビ社	サービス業	愛媛県	株式会社パソナJOBHUB	過去顧客データを活用した、効果的な事業運営促進プロジェクト
70	特定非営利活動法人ゆだかつ	サービス業	山口県	株式会社YMFG ZONEプラニング	観光施設「狐の足あと」のDX推進プロジェクト
71	ウエノ設備株式会社	建設業	宮城県	株式会社ミヤックス	未来が分かるインフラAI
72	株式会社リョーワ	建設業	福岡県	独立行政法人国立高等専門学校機構	給料計算のデジタル化
73	株式会社冨坂建設	建設業	熊本県	有限責任監査法人トーマツ	顧客・営業データ、設計・工事管理データの有効活用プロジェクト
74	富木医療器株式会社	卸売業	石川県	ジェック経営コンサルタント	営業支援システムの文字データ解析による新たな営業組織モデルの検討
75	お茶の井ヶ田株式会社	小売業	宮城県	株式会社ミヤックス	POSレジ及び通販データ(商品と顧客)の活用方法の確立
76	非公開	非公開	非公開	非公開	非公開
77	豊橋ステーションビル株式会社	不動産業	愛知県	株式会社百五総合研究所	AI等を活用して当ビル来館者数を予測できる仕組みを構築し、駅周辺エリアの活性化につなげたい
78	山西水産株式会社	その他	山口県	株式会社YMFG ZONEプラニング	データ分析を通じたECサイト業務の効率化検討
79	株式会社五月雨	建設業	愛知県	株式会社百五総合研究所	「建設工事現場の書類作成の省力化」をテーマとする新規事業の構想
80	株式会社ナガヨシ	サービス業	大分県	有限責任監査法人トーマツ	IoT機器を活用した高齢者の生活支援サービスの検討
81	株式会社日本統計センター	情報通信業	福岡県	独立行政法人国立高等専門学校機構	地域統計データの活用による地域課題解決に向けた企業間連携プラットフォームの構築
82	株式会社羽生田鉄工所	製造業	長野県	デロイト トーマツ リスクアドバイザリー株式会社	衛星データ活用を行う新規事業のビジネスシナリオの構築

パターン① 「デジタル化の可能性検討」の取り組み事例

「デジタル化構想・ 設計段階」の 取り組み内容



企業の状態

- DXへの取組み意欲が高い
- 何からどう進めるべきかを検討し、 具体的なアクションに移していきたい



本段階で目指すゴール

- デジタル /DX について、社内の 理解が醸成されている
- 課題・構想を整理し、デジタル 技術/データを利活用して解決が 出来る可能性のあるテーマ候補が 見えている
- 上記を踏まえて、企業が取るべき ネクストアクションやロードマップが 描かれている

参加企業および実施内容の概要 -パターン①(1/2)

#	_ 企業名	業種	所在	地域ハブ団体	_ 実施テーマ
0	株式会社BKT	製造業	石川県	ジェック経営コンサルタント	BKT独自の全社DXモデルロードマップの立案
2	株式会社ROCKY-ICHIMARU	製造業	福岡県	有限責任監査法人トーマツ	【町工場から企業へ】DXのフレームワークを描き、企業価値を●%向上
3	株式会社イマガワ	製造業	岡山県	株式会社YMFG ZONEプラニング	複数部門におけるバックオフィス業務のデジタル化可能性検討
4	株式会社エステーリンク	製造業	新潟県	デロイト トーマツ リスクアドバイザリー株式会社	会社業務のデジタル化推進のロードマップ構築
5	株式会社オキス	製造業	鹿児島県	有限責任監査法人トーマツ	鹿児島を代表する6次産業化企業のDXロードマップの策定
6	株式会社ケーメック	製造業	福岡県	独立行政法人国立高等専門学校機構	調達・購買管理のデジタル化
7	株式会社サカタ製作所	製造業	新潟県	デロイト トーマツ リスクアドバイザリー株式会社	サカタ製作所でのDX構想策定
8	株式会社サワライズ	製造業	福岡県	独立行政法人国立高等専門学校機構	C形鋼生産トレーサビリティ
9	株式会社みすずコーポレーション	製造業	長野県	デロイト トーマツ リスクアドバイザリー株式会社	DX構想の検討・ロードマップの作成
10	株式会社メタルウェア	製造業	富山県	ジェック経営コンサルタント	メタルウェアDX化推進プロジェクト
1	株式会社岡野エレクトロニクス	製造業	鹿児島県	有限責任監査法人トーマツ	『製造工程におけるデータ投入の負荷をデジタル化によって軽減』
12	株式会社髙木化学研究所	製造業	愛知県	株式会社百五総合研究所	製品出荷管理から始める、生産システムのDX化
B	株式会社水貝製作所	製造業	三重県	株式会社百五総合研究所	製造プロセスから得られるデータを用いて、不良等を予測するしくみを構想するプロジェクト
14	株式会社石金精機	製造業	富山県	ジェック経営コンサルタント	IPADプロジェクト
15	株式会社東洋電制製作所	製造業	富山県	ジェック経営コンサルタント	全社DX構想の検討
16	戸出化成株式会社	製造業	富山県	ジェック経営コンサルタント	DXで射出成形製造プロセスの業務効率化推進プロジェクト
17	黒澤酒造株式会社	製造業	長野県	デロイト トーマツ リスクアドバイザリー株式会社	資材及び原料管理の効率化を踏まえたDX構想・ロードマップの策定
18	神谷機工株式会社	製造業	大阪府	一般財団法人大阪労働協会	老舗刃物メーカーDX化プロジェクト!
19	水口酒造株式会社	製造業	愛媛県	株式会社パソナJOBHUB	酒蔵DXプロジェクト 日本最古の温泉道後温泉と共に歩む酒蔵の次の100年を造るDX化ロードマップ策定
20	側島製罐株式会社	製造業	愛知県	株式会社百五総合研究所	そばじまDX
21	多田製菓株式会社	製造業	大阪府	一般財団法人大阪労働協会	収益改善に向けた中長期DXロードマップ策定PJ
22	田中精密工業株式会社	製造業	富山県	ジェック経営コンサルタント	ロードマップ策定による、全社的ペーパーレス化の浸透
23	日本毛織株式会社	製造業	大阪府	一般財団法人大阪労働協会	生成AI技術を活用した経営管理業務の自動化・効率化
24	日糧製パン株式会社	製造業	北海道	株式会社道銀地域総合研究所	日配品の需要予測等を軸にしたDX戦略/ロードマップの構築
25	ベンドサービス株式会社	製造業	山口県	株式会社YMFG ZONEプラニング	自動販売機業務の効率化に向けたデジタル化可能性検討
26	有限会社山﨑マーク	製造業	長崎県	有限責任監査法人トーマツ	デジタルを活かし、新たな価値を創造するものづくり企業へ
27	MARUMORI-SAUNA株式会社	サービス業	宮城県	株式会社ミヤックス	需要と供給がミスマッチをしている状況下での、社会的効用の最大化を目指す仕組みづくり
28	社会福祉法人アイ・ティ・オー福祉会	サービス業	三重県	株式会社百五総合研究所	介護事業における情報一元化に向けた仕組みを構想するプロジェクト
29	アーダンリゾート株式会社	サービス業	鹿児島県	有限責任監査法人トーマツ	顧客体験の質を上げる「ひとつなぎDX」のロードマップ策定

参加企業および実施内容の概要 -パターン①(2/2)

#	企業名	業種	所在	地域ハブ団体	実施テーマ
30	株式会社エルピダあおば	サービス業	宮城県	株式会社ミヤックス	出荷、返却管理の効率化で業務改善
31	株式会社ココロココ	サービス業	愛媛県	株式会社パソナJOBHUB	介護現場におけるバックオフィス業務のDX化
32	スタイルクリエイト株式会社	サービス業	福岡県	独立行政法人国立高等専門学校機構	保育士(福祉業界)のDXで業務効率化!
33	株式会社大学サポート	サービス業	愛媛県	株式会社パソナJOBHUB	インターンシップサービスのDX化構想ロードマップの検討
34	株式会社チェリッシュスタジアム	サービス業	愛媛県	株式会社パソナJOBHUB	コワーキングスペースUWAJIMA QUEST省人化プロジェクト
35	株式会社琴平国際ホテル八千代	サービス業	香川県	株式会社パソナJOBHUB	15代目の老舗旅館の新たな挑戦、次世代につなぐDX構想ロードマップの検討
36	長州物産株式会社	サービス業	山口県	株式会社YMFG ZONEプラニング	予約管理システムのデジタル化可能性の課題
37	非公開	非公開	非公開	非公開	非公開
38	キノンビクス株式会社	建設業	滋賀県	一般財団法人大阪労働協会	バックオフィス業務のDXによる働き方改革の推進
39	株式会社サンテックサービス	建設業	大阪府	一般財団法人大阪労働協会	弊社課題の棚卸とDX化へのロードマップを前提とした人事評価システムの構築
40	株式会社砂子組	建設業	北海道	株式会社道銀地域総合研究所	『建設現場DX』の推進を支える、管理やクラウド化などのサポートDXロードマップ構築
41	株式会社大石組	建設業	新潟県	デロイト トーマツ リスクアドバイザリー株式会社	バックオフィス(管理部門)業務の効率化
42	非公開	非公開	非公開	非公開	非公開
43	豊開発株式会社	建設業	大阪府	一般財団法人大阪労働協会	ノウハウ形式知化に向けたノーコードツール導入検討
44	名新パイピング株式会社	建設業	愛知県	株式会社百五総合研究所	中小建設業界の取引効率化に向けたしくみの構想プロジェクト
45	有限会社ゼムケンサービス	建設業	福岡県	独立行政法人国立高等専門学校機構	中小建設業の情報管理の効率化やデータ管理の一元化に関する検討
46	株式会社カネサ藤原屋	卸売業	宮城県	株式会社ミヤックス	お酒の配送人員が不足している中、配送員の業務効率を上げるための改善方法を考える
47	株式会社ありたや	卸売業	大分県	有限責任監査法人トーマツ	DX推進による課題解決の検討
48	株式会社キムラ	卸売業	北海道	株式会社道銀地域総合研究所	(株)キムラ「デジタルシフト推進プロジェクト」
49	株式会社宗家くつわ堂	卸売業	香川県	株式会社パソナJOBHUB	業務効率化を目指した全社DX構想ロードマップの検討
50	株式会社三益商会	卸売業	大阪府	一般財団法人大阪労働協会	2026年新社屋建設に合わせたDX化推進のロードマップの検討
51	太平洋興産株式会社	卸売業	北海道	株式会社道銀地域総合研究所	配送の見える化と関連業務簡略化によるDX推進
52	炭平コーポレーション株式会社	卸売業	長野県	デロイト トーマツ リスクアドバイザリー株式会社	DXグランドデザインの策定
53	益田三菱自動車販売株式会社	小売業	島根県	株式会社YMFG ZONEプラニング	社内情報共有の効率化に向けたデジタル化可能性検討
54	株式会社オートプロニーズちくご	小売業	福岡県	有限責任監査法人トーマツ	販売管理システムと顧客管理システムのマッチング化
55	株式会社KONPIRA DROP STORIES		香川県	株式会社パソナJOBHUB	創業778年、金刀比羅宮の歴史を紡ぐ会社が1,000年を目指すためのDX構想ロードマップの検討
56	松浦通運株式会社	運輸業	佐賀県	有限責任監査法人トーマツ	物流企業向け販売管理システムの再構築検討
57	株式会社カマタマーレ讃岐	その他	香川県	株式会社パソナJOBHUB	試合速報・広報のデジタル化検討プロジェクト
58	出雲ガス株式会社	その他	島根県	株式会社YMFG ZONEプラニング	旧態依然とした紙ベース業務の効率化に向けたデジタル化可能性検討

株式会社BKT(製造業):BKT独自の全社ロードマップの立案

パターン: デジタル化の可能性の検討

参加者

企業



社名	株式会社BKT
業種	製造業
事業概要	金属部品加工

所在地 石川県 白山市 (都道府県)



参加した 受講生 の概要



チーム名	DXお悩み相談室
チーム人数	5人
スキル・PR	穏やかなチームをコンセプトに

企業に寄り添いたいと思います。

進める中で 企業に寄り添ったヒアリング。 工夫したこと 課題から必要な打ち手を検討。

実施概要

課題内容

全社のDXロードマップを検討したい

営業・事務部門において少しずつDX化に取り組んでいるが、会社全体としては曖昧なまま進んでおり、模索状況。本取り組みをキッカケとして、会社全体でのDX像を明確にしたい。具体的には、問題点が顕在化していることは現在進行形で対応中だが、潜在課題がもっとあると思うので、明確にしたい。また、各部署の活動状況の見える化、製造現場の各種指標の見える化、製造現場におけるシステム処理の効率化、従業員のITリテラシーの醸成が必要。こられを踏まえ、BKTとしてDX化としてどのように取り組むべきかの指針を明確にしたい



検討の流れ

- 困りごとに関するヒアリングを実施
- 課題を整理
- 打ち手の検討

- 実現性の検討
- ロードマップの検討
- 打ち手の優先順位の検討

検討の成果

打ち手案を3つ検討、提案した

- Kintoneを用いた社内情報の可視化
- ネストのペーパレス化
- LINEを用いた受注システム



株式会社BKT: BKT独自の全社ロードマップの立案

パターン: デジタル化の可能性の検討

実施内容の詳細

検討の流れ

• 困りごとのヒアリング

ヒアリングにより、現状BKT様が抱えている課題を明確化した

• 課題の整理

ボトルネックとなっている課題は何か検討した

• 打ち手の検討

課題整理の結果から、DXで解決できそうな課題をピックアップし、 課題に対する打ち手案を検討した

• 実現性の検討

検討した打ち手案の実現方法、実現可能性を検討した

ロードマップの検討

検討した打ち手に関して直近3年間のロードマップを検討した

優先順位の検討

打ち手案の中から優先度付けを実施した

成果

課題を整理し、3つの打ち手案とロードマップを提案した

【課題整理】

- 株式会社BKTが今後売り上げを伸ばしていくための将来的な課題は**業務の効率化**である。
- 現状の業務課題を洗い出していくと、社内外のコミュニケーションの課題がボトルネックとなっている。

【打ち手案】

- Kintoneを用いた社内情報の可視化
- ネストのペーパレス化
- LINEを用いた受注システムの効率化

【ロードマップ】



株式会社 ROCKY-ICHIMARU (製造業): DXのフレームワークを描き、企業価値をX%向上

パターン①:デジタル化の可能性検討

参加者

企業

株式会社 ROCKY-ICHIMARU



業種

製造業

事業概要

十名

産業用装置や機器の設計・製

作(タイヤ加硫機用バルブお

よび配管ユニット)

所在地

福岡県筑後市

(都道府県)



参加した 受講生 の概要



チーム名 DX

DXの種まきファーム

チーム人数

5人

スキル・PR

・IT・DXプロジェクトにおける

要件定義の経験

・小さなタネを丁寧に一緒に 育て花を咲かせて、最後に美味しい果実を収穫できる

進める中で工夫したこと

・臨機応変に打ち合わせを行いながら、仮説(提案)と検証(現場確認)を繰り返した

実施概要

課題内容

抱えている課題の優先順位

- 1. DX推進ロードマップ
- 3. SaaS改善
- 5. 社内DX風土醸成

- 2. 業務フローとシステム構成図
- 4. 業務フロー運用定義
- 6. アナログ情報のデジタル化



実施した検討内容

2ヶ月後のゴール

- I. DX推進ロードマップの策定
- 2. 業務フローとシステム構成図の作成
- 3. SaaS改善の提案



検討の成果

具体的な成果

- 1. DX認定の申請準備、短期的なロードマップ(属人化の解消、ペーパーレス化)
- 2. 使用しているツールやシステムを織り込んだ業務フローとシステム図を作成
- 3. 2を活用して、先方の要望を織り込んだSaaS改善の提案

株式会社 ROCKY-ICHIMARU (製造業): DXのフレームワークを描き、企業価値をX%向上

パターン①:デジタル化の可能性検討

実施内容の詳細

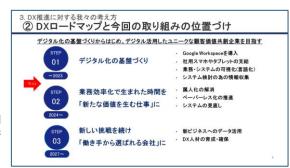
デジタル化の可能性検討

- 1. 業務・システムの可視化
- 目的:業務が特定の個人に依存する状態を改善し、チーム全体で 情報やスキルを共有し、業務を遂行できるようにする
- 効果:
 - ① チームで業務を分担できるため、担当者の負荷を平準化しやすくなる
 - ② 担当者が希望日に休日を取得しやすくなる
 - ③ スキルの継承が進み、後継者の育成につながる
 - ④ 担当者の不在・退職時など、業務に支障をきたすリスクを減らせる
- 2. 属人化・ペーパーレス化検討
- 目的:紙の資料をデジタル化することで、どこでも迅速に情報を共有できるようになり、業務の効率を向上させます。Google Workspaceを活用して、電子ファイルでの情報共有する
- 効果:
 - (1) 組織やチームのメンバーに同時に情報を伝えられる
 - ② どこでも情報をチェックできて、スマートな働き方につながる
 - ③ 紙資料の印刷が減り、環境にやさしく、コストを削減できる
 - ④ 電子ファイルのため、保存・検索がしやすく、文書管理がしやすく なる
- 3. システム検討の為の情報収集等 社内で使っている基幹システムのリプレースが予定されており、その 代替案の検討を行った。各社ホームページに記載されている内容を 調査し、比較表を作成した

成果

DXロードマップの策定と現状の正確な把握から見えてきたSaaS改善の提案

- デジタル化の可能性を検討する中で、会社全体のDXの定義やDXロードマップが必要であることがみえてきた
- DX推進の全体像として、守りのDXと攻めのDXで整理し、それぞれの項目を検討した。お客様から「見える価値」だけでなく、データを活用し、ニーズを満たした会社のブランド・コンセプトでもある「見えないところの価値」向上を目指す
- ROCKY-ICHIMARU様が掲げている2030年までの長期ビジョンに合わせたDXロードマップを右図のように提案した。社内でのDXの定義については、今後の取り組みとしている





- 下左図のように、現状把握として業務フローの可視化を行った。社内で分散していた情報を分析し、 各フローの特徴を整理してフロー図を作成を行った
- 下中央図のように、各社内システムがどのように紐づいているかのシステム俯瞰図を作成した。今後の取り組みの 優先順位を決めていくことや社内でDXに関する理解をしてもらう際にも活用する
- 下右図のように、基幹システムの代替案を検討した。現行品の不満点であるUIが見づらい、他のツールと連携がしにくいといった観点で評価を行った





①取組成果詳細 - <u>取組4</u> システム検討の為の情報収集							
		業務フローにおり	†る仕入	購買	に関わるSaaS製品比	.較	
Vo.	SasSN&&	牲名	UIの 見やすさ	個別 受注	API連携ツール	据者	
(1)	未来 而力	株式会社ラクス	0		2(2)2# · 1968 2(4)7mm	マウス種様	
2	ExeQuint	株式会社センチュリー・システムズ	Δ			HOMESTRE?	
0	果用	株式会社日本システムテクノロジー	0		 (素) (報) ました ~ GFAX (2, OVS harmort から会計 ESG / EDG 連携 	製造業内けシステム制度的、省わせ停止中	
30	防生販売	亦生株式会社	0		寄生シリーズ(物生給与など)	中小桃県向けまプロフェッショナル	
5)	アラジンオフィス	株式会社 アイル	0	0	マエーフォワードクラウド会計 会話Fines 存生会計		
8	Freee販売管理	freee株式会社	0		0.11Freee		
	Work Vision	排式会社WorkVision	0				
0	SMILE V 2nd Edition	排式会社大塚商会	0	0	0.0100		
30	MA-EYES	株式会社ビーブレイケシステムズ	0		挙行シリーズ、展すばあと	ウスタム可能なものと不可能なものがある	
3	販売指南	三菱電機ITソリューションズ株式会社	0		6.8758	却元革向け、マウスレス操作可能	

株式会社イマガワ (製造業):複数部門におけるバックオフィス業務のデジタル化可能性検討

パターン①: デジタル化の可能性検討

参加者

企業



社名	株式会社イマガワ
業種	製造業
事業概要	国産材の杉・桧を使った無垢 建具、枠のユニット及び家具、 造作材を製造
所在地 (都道府県)	岡山県津山市



参加した 受講生 の概要



チーム名	デジタル快族団
チーム人数	5人

スキル・PR

製造業の深い知見とDX・ITの 専門知識を活かして、デジタル 化の道筋を照らします!

進める中で

デジタル化はあくまで手段とし、 工夫したこと イマガワ様の業務や経営の改 善を最大の目標とすることを意 識し検討するよう努めた

実施概要

課題内容

バックオフィス業務が非効率で工数負荷が大きい

- デジタル化はできているが、データが各部署、各人に散らばっており、集約化されていない。 ⇒過去履歴の検索や、分析が容易に行えない
- 前項のような状態のため、業務間のデータの連携は手動で行われている ⇒転記作業、資料作成、および分析に係る工数負荷が大きい

実施した検討内容

現在の業務のフローを整理し、あるべき姿の検討を実施

- 業務とデータのフローを整理、想定効果を踏まえ、取り組むべき課題と優先順位を検討
- 全体最適を見据えながらも、個別の業務を劣化させないデジタル化案を検討
- 今後の更なるDX化を見据え、優先度と即効性ある取組からSTEPを設定し、小さな成功 体験を積み重ねるようにし、DXへのスムーズな移行ができる体制と風土醸成するよう検討

検討の成果

実行可能なロードマップの提案

イマガワ様の強み、企業文化、業務を行う人の状況にも注意深く耳を傾け、段階的にデ ジタイゼーション、デジタライゼーション、そしてDXへと進める着実なロードマップを提案

デジタル化による工数削減効果(見込み)の試算

• 個別業務単位での現行の工数と目標値、そしてデジタル化による削減の程度を分類の うえ分析し、81時間/月の工数削減効果を試算

株式会社エステーリンク(製造業):会社業務のデジタル化推進のロードマップ構築

パターン①:デジタル化の可能性検討

参加者

企業



社名	株式会社エステーリンク
業種	製造業
事業概要	精密板金溶接加工 受託 バリ取り機、集塵機 製造販売 3D溶接定盤 輸入販売
所在地 (都道府県)	新潟県 燕市



参加した 受講生 の概要



チーム名	ほっこりDXヘルパーズ
チーム人数	5人

スキル・PR

「ゆるい」チーム名で「楽しいDX」 を目指す、機能数理学のドクター からフォークリフトの運転手まで、 幅広い人材を擁するチーム

進める中で
丁夫したこと

IT化推進の目的を明確にしつつ 実現可能なことから着手する 加えて、自走するための中期的 なIT化の道筋の検討も進める

実施概要

課題内容

IT化の道筋を立てたい 小さな部門単位からでも良いのでITツールを活用した生産性向上の取組みを試したい

- 毎日数百枚の図面を印刷しており、SDG'sや負荷軽減のためにペーパーレス化したい
- 多品種少量生産なので、製造プロセスそのものをIT化することは困難



実施した検討内容

①まずは小さな成功を目指し、②その後さらなるデジタル化の道筋を検討する

- まずは先行配布図面のデジタル化に挑戦、大型モニタやタブレットを導入して実証中
- ペーパーレス化の現場アンケートを実施し(計2回)、顕在化している課題を把握
- 更なるデジタル化に向けて電帳法を再確認しつつ、LINE WORKSの試用に着手



検討の成果

①ペーパーレス化の試行開始、②3年間のデジタル化ロードマップ作製

- ペーパーレス化の実証を開始、3Dモデルを確認したいなどの新たな課題を発掘
- 現場とのコミュニケーションを開始、全社的なデジタル化の機運を醸成できた
- デジタル化の阻害要因(デバイス問題、体制問題)に対してBYODと段階的な組織 化を提案するとともに、今後3年間の全体ロードマップを作製

株式会社エステーリンク(製造業):会社業務のデジタル化推進のロードマップ構築

パターン(1):デジタル化の可能性検討

実施内容の詳細

アンケートや議論を通じて顕在課題/潜在課題を洗い出し

	(a - what I - white a	
1 プロッター図面	紙の消費大。準備、廃棄の手間。	ペーパーレス
2 契約書等のファイル整理	保管コスト、要/不要の分別の手間。	ペーパーレス
3 生産工程管理	作業工程の把握、引合いへの即時対応のしにくさ。	情報共有
4 日報や一部の回覧物	周知具合の把握のしにくさ。	情報共有
5 お弁当や作業服購入、行事出欠の申請	紙ベースによる申請の煩雑さ。	情報共有
6 急ぎ物件の対応(指示書渡し)	担当者の物理的な移動。	情報共有
7 毎回の会議準備	接続、設置の煩雑さ。	業務簡素化
8 帳票入力	重複する内容の複数回入力による冗長さ。	業務簡素化
9 ある顧客の注文書対応	ダウンロード->エクセルへの移動作業の煩雑さ。	業務簡素化
10 契約書等のFAX	書類のFAX送信による手間。	業務簡素化
11 納品書、請求書のデジタル化	紙ベースでのやり取りによる負担。	業務簡素化

懸念点①: デジタル端末(PC等) が1人1台ではない

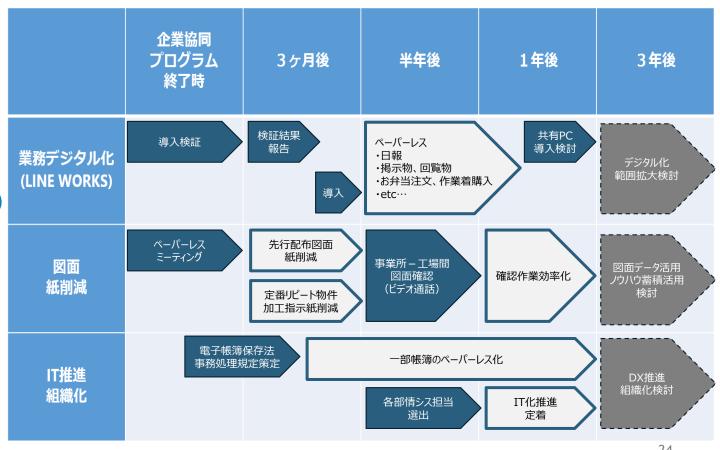
- ○デジタル化(特にペーパレス化)を進めていくためには、個々人が自らの情報を確認・入力・ 修正できる環境がほぼ不可欠である
- 〇現状、エステーリンク様では工場の現場ではPCが共有されており、また社内ネットワークも全員 が使用できる状態ではない

懸念点②: 社内のIT化を推進する組織がなく要員不足である

- ○今回の協働プログラムで小さな成功例を成し遂げ社内のIT化の機運が高まったとしても、IT 化の現場推進者が2名のみでは、その後のより大きな変革を進めることは困難(IT化の種火
- ○せっかく灯った火を絶やさないためには、正式な組織でなくとも協力者が必要
- 〇ボトムアップで協力者を増やしつつ、トップダウンで活動を支援する意思表明も同時に必要

成果

洗い出した課題に対して、解決に向けた中期的なロードマップを作成



株式会社オキス(製造業): 鹿児島を代表する6次産業化企業のDXロードマップの策定

パターン①:デジタル化の可能性検討

(都道府県)

参加者

企業



社名	株式会社オキス
業種	製造業
事業概要	乾燥野菜の製造販売
所在地	鹿児島県鹿屋市



参加した 受講生 の概要

チーム名	チーム寄り添い
チーム人数	6人
スキル・PR	業界、業務内容が異なるメン バーが、それぞれの経験を活か し、相談企業に寄り添います。
進める中で工夫したこと	ヒアリングを通して真の相談内 容を模索したこと

実施概要

課題内容

社内のDX化がなかなか進んでおらず、DX化の計画を立てるところからお願いしたい

- グループ全体のDXロードマップ作成をお願いしたい
- 各社で導入しているシステムの連携を検討したい
- 経営陣(社長)の想いが社員に届いているか懸念しており解決したい



実施した検討内容

相談者が抱える課題を聞き出し、深掘りしながらどのようなDX対応が実施できるか検討

- Kintoneの活用に向けて、kintoneそのものおよび関連ソフトの調査を実施
- データ活用の状況、具体的目標の深掘りを実施
- AI、IoT施策を検討



検討の成果

短期・中期・長期それぞれのロードマップを作成

- 短期: コミュニケーションのデジタル化を提案
- 中期:システム連携、データ蓄積・活用の実施を提案
- 長期: AI、IoT化の実現案を提案

株式会社オキス (製造業): 鹿児島を代表する6次産業化企業のDXロードマップの策定

パターン①:デジタル化の可能性検討

実施内容の詳細

具体的課題を聞き、どのようなDX対応が実施できるか検討

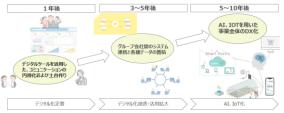
- 初回ヒアリングで抱える悩み、実現したい姿をヒアリングし、大きく 3つの実行案を提案
- 既にkintoneを導入していることから、kintoneのさらなる活用およびkintoneを使ったDX化案(Plugin導入等)を検討
- 長期目標(AI、IoT化)実現に向けて、短期目標(コミュニケーションのデジタル化)、中期目標(システム連携、データ蓄積・活用)を立てて実現するロードマップを検討

成果

短期・中期・長期それぞれのロードマップを作成

- KintoneにPluginを導入し、kintoneを中心にしたコミュニケーションのデジタル化案を提示
- データ活用状況を踏まえた、システム連携と合わせた 目標実現方法を提示





上記3つを組み合わせたロードマップを提案

全体ロードマップとスケジュール



株式会社ケーメック (製造業) :調達・購買管理のデジタル化

パターン①: デジタル化の可能性検討

参加者

企業



社名株式会社ケーメック

業種製造業

事業概要 電気設備・計装設備・FA設備の設計・製作

マテハン関連機器の設計・製作 各種装置据付・メンテナンス コンピュータシステムの設計・製作

所在地

福岡県 北九州市

(都道府県)



参加した 受講生 の概要



チーム名 HokuBaseUnit(ホクベースユニット)

チーム人数 5名

スキル・PR 学生3名社会人2名

大学での最新デジタル化技術と 製造業での実務経験元に 学部と実務の双方で提案

進める中で 具体的アウトプット例の提示と提案 工夫したこと全社的アプローチに対する包括的 課題解決方針の提案

実施概要

課題内容

調達業務について、DXを活用しデジタル化を推進したい。

- 複数のExcelにまたがって管理しており、作業の漏れ、衝突が多発している。
- 承認者不在により承認待ちが発生している。
- コミュニケーションツールの多様化による情報共有の遅延・複雑化



実施した検討内容

調達業務のフローのシステム化を検討

- システム化した場合のフローを共有
- 変更後のフローをイメージできるようサンプルアプリを提示
- ヒアリングによる最適なコミュニケーションツールの検討・提示



検討の成果

変更後のフローをイメージできるようサンプルアプリを提示

- 作業の漏れ、衝突のないシステム化のイメージを共有
- 適したツールの絞り込みを行い、ROIの提示を行った

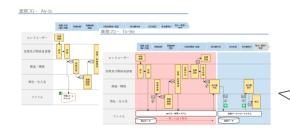
株式会社ケーメック(製造業):調達・購買管理のデジタル化

パターン①: デジタル化の可能性検討

実施内容の詳細

調達業務の現状のフロー・目指すフローを検討

- 担当者より調達業務のフローをいただき、課題をヒアリング
- システム化にあたり目指すフローを検討



As-Is/To-Beを図示し、課題を明確化

コミュニケーションツールの多様化の解消

- ヒアリングの結果、以下の課題が判明
 - コミュニケーションツールの多様化による情報共有の遅延・複雑化
 - 個人ツールの使用によるセキュリティの脆弱性
 - 紙面での進捗状況確認
- コミュニケーションツールの統合における課題やROIの検討

成果

データベース入力参照システム・Webアプリ

- システム化による効率化をイメージできるようWebアプリの PoCを提案。
- 作業の漏れ、衝突の回避ができるか検討。



スマホ承認システム

- Google FormとLINE公式アカウントを使ったスマホ承認システムを提案。
- 承認者不在により承認待ちを回避できるか検討。



Microsoft Teams もしくは Slack導入の提案

- 紙面による進捗状況確認・セキュリティの脆弱性・ファイルの共有の簡易性から、 コミュニケーションツールである「Microsoft Teams」もしくは「Slack」の提案。
- 企業様から「Microsoft office365」の一部導入を検討中とのお話があったため、
 「Microsoft office365」と互換性のある「Microsoft Teams」と様々なサードパーティアプリとの
 互換性がある「Slack」の2つを提案。
- 導入の際に起こり得る課題の改善方法やROIを検討。

株式会社サカタ製作所取組事例:DX化、生成AI導入、ソーラーパネル金具数検知システム構築

参加者

企業

SAKATA

社名株式会社サカタ製作所業種製造業

事業内容

大型公共施設用の金属屋根部品を製造販売。製品設計から施工指導まで提供。再生可能エネルギー発電とソーラーパネル設置支援。

所在地 (都道府県)

新潟県長岡市

参加した 受講生 の概要

チーム名 AI知球戦隊デジタリアン チーム人数 6名 スキル・PR Officeスキル、高度なプログラミング、基本情報技術者、Python認定、G検定資格を持つ。公認会計士でMBAも取得しており、DX推進と業務改善に熟知しているテーム。



進める中で DX化を目的そのものとしていたため、企工夫したこと 業の本質的な問題点や目標を把握し、それらに対処するアプローチを採用

実施概要

課題内容

DX推進のため、第三者による自社取組の検証と課題点、注目すべき箇所の意見提供を希望。特に効率化できそうなロードマップの作成。

実施した検討内容

DX人材育成方針 ソーラーパネルの留め具金具の自動化 生成AIの社内活用方法の提案

検討の成果

国が定めたスキルマップを提示。社内育成方針へ反映される。 目視で数えていたソーラーパネルをAIで画像処理に成功へめど。 社内での生成AI活用のきっかけに。喜びの声も。

株式会社サカタ製作所取組事例:DX化、生成AI導入、ソーラーパネル金具数検知システム構築

実施内容の詳細

成果

生成AIの社内活用: 手入力業務を音声入力 + 生成AIに変更し、検索効率が向上。技術部門が主導し、製品開発業務の効率化を実現。

取締役会にも紹介されたこの新システムでは、パソコンの音声入力機能を活用しており、特に技術部門での文書作成作業の効率が格段に向上しました。技術部門は製品開発を担当しており、この音声入力システムによって、お客様向けの文章作成が従来の手打ちよりも早く、よりスムーズに行えるようになりました。

社内のDX人材育成プログラム: 各部門からDX推進人材を選出し、組織全体のDX化意識を高めるための育成方針を実施。

DX化はDX部門だけで考えるのではなく、企画や営業等、各々の部門にあったDXがあるはずで、社員みんなにDX化の必要性を感じていただくことが重要であると伝えました。そして、企業内でDX化の意識を組織全体に浸透させる方法について議論しました。アイディアの一つとして、各部門からDX推進人材を1人ずつ選出し、DX人材を育成方針を提案しました。この提案を取り入れて頂き、営業、生産管理、製造など各部門がDX化の重要性を理解し、既存業務の改善方法を模索するようになりました。

DX化のタスク管理と優先順位の見直し: 多すぎるタスクの優先順位付けと、効率的な進め方に関する第三者の意見を取り入れ、作業効率の向上を図る。

企業が直面した様々な問題に対し、取締役会や社長からの意見も踏まえつつ第三者の視点からタスクの優先順位を明確にし、業務の進め方を根本から見直しました。このアプローチにより、期間とタスク内容の再評価が行われ、業務効率化に向けた具体的な改善策が実施されました。

経営層の積極的な関与は、組織全体の意識改革を促し、効率的なタスク管理への道を開くのだと強く 感じました。

生成AI導入: 生成AIの導入で生産プロセスを改善し、1ヶ月で導入完了。セミナー情報の共有を通じて、社内でのAI活用方法と知識の拡散を促進。

社長にも協力いただき、生成AIの導入を1ヶ月で実現。

生産プロセスの改善に大きく貢献し、社内でのAI活用方法やセミナー情報の共有を通じて社員の知識拡散と自己成長を促進した。

またAIを用いた発表やコンペティションを実施していただき、社員のモチベーション向上とDX化への積極的な取り組みが見られるようになりました。

株式会社サワライズ(製造業)の取り組み事例:デジタル化の可能性検討

パターン①: デジタル化の可能性検討

参加者

企業



社名

株式会社サワライズ

業種

事業概要

不動産事業 鉄鋼事業

医療事業など

所在地

福岡県福岡市

(都道府県)



参加した チーム名

製造業DXコンサルタント

受講生 の概要

チーム人数

スキル・PR

製造業の現場での経験を持つメ ンバーが、迅速なレスポンスと柔 軟な対応をモットーに、製造業の DXをサポートします。

進める中で 丁夫したこと

担当者様との関係構築に 力を入れたこと

実施概要

課題内容

製品のトレーサビリティを確保したい

- 完成製品から使用した原料(生産元等)を特定したい
- 顧客からの問い合わせ時に対応できるようにしたい



実施した検討内容

生産工程から課題を整理し、ヒアリングを実施・打ち手の検討

- 目的に対し現状の生産工程から課題の細分化を実施。
- 採用中システムや、使用可能ツール・ネットワークについてヒアリング
- 課題に対する現状の取り組みをヒアリング



検討の成果

トレーサビリティ確保のための手順を提案

- 工程の改善箇所とデータ加工方法を提案
- 目的達成後の将来的なデータ分析構想について提案

株式会社サワライズ(製造業)の取り組み事例:デジタル化の可能性検討

パターン①: デジタル化の可能性検討

実施内容の詳細

目的に対し現状の生産工程から課題の細分化を実施

- 現状の生産工程を提供いただいたフロー図と動画データの両方から調査
- 質問リストを活用し目的に対し効果的かつ解決可能な 課題を選定
- 選定した課題から解決すべき問題を定義した

採用中システムや、使用可能ツール・ネットワークについてヒアリング

- 現状活用および追加可能な資源をシステム・ITツール・ネットワークそれぞれの観点からヒアリング
- 使用可能なツールとプログラミングによる実施例を提案し、具体的 な課題解決のイメージを持っていただいた



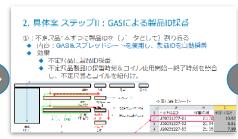
成果

工程の改善箇所とデータ加工方法を提案

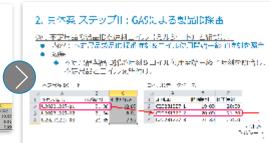
工程の改善箇所を提案



ITツールを使用したデータ加工



原料との紐づけ方法の提案



目的達成後の将来的なデータ分析構想について提案



株式会社みすずコーポレーション (食品製造業): DX推進のためのロードマップ作成

パターン①: デジタル化の可能性検討

参加者

企業



社名	株式会社みすずコーポレーション
業種	食品製造業
事業概要	凍り豆腐や油揚げに代表される大豆加工食品の製造販売
所在地 (都道府県)	長野県長野市



参加した 受講生 の概要



チーム名	Seed Empathy
チーム人数	6名
スキル・PR	多様なメンバー(専門、スキル、 現職、年齢、居住地など)の 特性を活かしつつ、DX初期段 階から検討を進め、共に成長 する種をまきたいと思っています。
進める中で 工夫したこと	仮説検討、ヒアリング、課題の 掘り起こしと施策の提案、コメ ントを受けてのFBといったPDCA を繰り返したこと。

実施概要

課題内容

優先的に取り組むべき内容を選定しながら、全体のDX推進ロードマップを作成したい。 さらにその中で、特に取り組みたい課題は以下の2つ。

- 生産工場のペーパーレス化
- 部署間コミュニケーションの活性化を目的としたTeamsの運用



実施した検討内容

全社的DXとメンバー一人ずつの個別課題に分けて検討した。

- DX (デジタル) に限定せず、業務改革、真の業務高度化を目指した。
- 社内業務全般についてヒアリングを繰り返し、潜在的な課題も掘り起こしつつ施策に結び付けた。
- 全社的DX、ペーパーレス化、生産DX、コミュニケーション、受注DXの検討を実施した。



検討の成果

全社共通レベルから個別の課題まで、企業にとり腹落ち感のあるロードマップを作成した。

- 直近から10年後までの施策を、ポートフォリオとともに優先度を含めて提案した。
- PoCの一環として、関係者に対してレクチャーとヒアリングを実施した。
 - Pythonや生成AIの活用方法、Teamsによるコミュニケーションの活性化手法。

株式会社みすずコーポレーション (食品製造業): DX推進のためのロードマップ作成

パターン①: デジタル化の可能性検討

実施内容の詳細

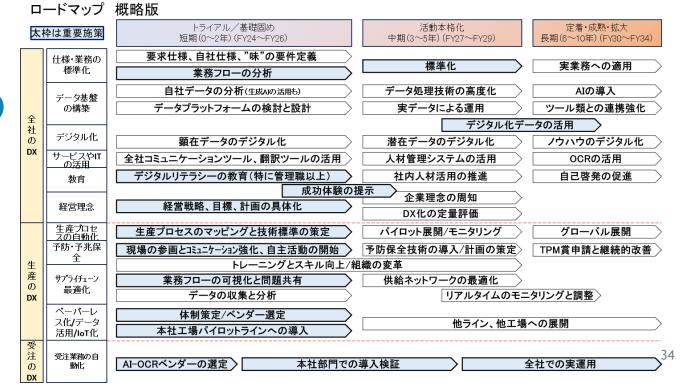
課題の掘り起こしと施策の検討、ロードマップの作成

- 仮説検討、ヒアリング、課題の掘り起こしと施策の提案、コメントを受けてのFBといったPDCAを繰り返した。
- ペーパーレス化について、ソリューションがありそうな会社の情報を 調べ、実用化に向けたロードマップとして組み込んだ。
- コミュニケーション活性化のツールとして、特にMicrosoft Teamsの情報や事例を調査し、実演も含めて提供した。
- 補助金事業の事例から類似の情報を調査し、提供した。
- 工場見学や、PoCの一環として関係者に対するレクチャーとヒアリングを実施させていただき、リモート会議では得られない情報を収集した。
- 以上の活動を通して優先的に取り組むべき内容を選定しながら、 業務フローを可視化。施策のポートフォリオを作成して短期から長期にわたるバランスを確認し、最終的にDX推進ロードマップを作成した。

成果

直近から10年後までの施策を、優先度を含めたロードマップとして提案

- 業務の見える化を行い、業務フローと情報のつながりを可視化。業務ごとの課題、原因、施策を整理。 イニシアチブボートフォリオにマッピングしたのちにロードマップを作成、提案。
- ペーパーレス化、コミュニケーション活性化の他、生産関連や受注関連の課題を明確にし、施策を提案。 今後のDX推進に貢献できるように、関連情報をレクチャーも含めて提供。





株式会社メタルウェア (建築金物製造業):メタルウェアDX化推進プロジェクト

パターン①: デジタル化の可能性検討

参加者

企業



社名	株式会社メタルウェア
業種	建築板金製造業、および建築美
事業概要	ビルや駅、マンションなどの建築用金属製品(内外装パネル、笠木、水切、手摺など)の設計、製造
所在地	富山県富山市



参加した 受講生 の概要



チーム名	6pigs
チーム人数	6人
スキル・PR	PC黎明期からのベテランから最新の

PC黎明期からのベテフンから最新のデータサイエンスを学んだ学生までが参加しており、スキルもITスペシャリストからMBA、現場経験者など幅広い年齢層とスキル・経験をもって御社のDXに貢献させていただきます。

進める中で工夫したこと

(都道府県)

チーム内だけでなく支援先や地域ハブ 団体とも連携し、全員が一致したコンセンサスを得ることを重視した上で、協業 先担当者の背後にいる意思決定者へ DXの意図や目的がわかりやすく伝わるよう努めた。

実施概要

課題内容

将来のデジタル化に向けたロードマップと課題解決のための解決案の作成

- 生産管理システムや環境設備が古く、経営判断に使うことのできる業績管理評価のための<u>重要な指標が算出できない状態であり、デジタル化のために更新の動きがあった。</u>
- 持続的な成長のため人員増強を目指すも人材採用と定着、教育に課題があった。
- (突発的な環境の変化) 2024年元旦に能登半島地震が発生。



実施した検討内容

課題に対して、現状分析を基に優先度・難易度を考慮した検討を実施

- 攻めのDX・守りのDXの両面から事例収集・アイデア出しを行い、優先度が高く・難易度の低い部分を可視化。
- 製造業の他社で実現しているDX事例を示し、支援先のDX像をすり合わせ。
- 百以上あるBIツールの選定のためBIツール導入選定時参考資料を作成。
- 震災発生を受けて今後の震災特需の大きさを検討、現状の防災対策(BCP基本方針等)のインタビューを実施。



検討の成果

解決案を含めたロードマップを作成し提出

- BIツールによるKPIの見える化を協議、導入によるデータドリブン経営を推奨。
- 人材不足という課題に対し、高精度図面検索システム導入による省力化を提案。
- 現状の防災対策から一歩進め、システム全体の完全クラウド化を提案。
- これら上記三点の解決策と現在遂行中の生産管理システムのリスタート、環境設備更新を含めたロードマップを支援先や地域ハブ団体とコンセンサスを取りながら共同で作成。

株式会社メタルウェア (建築金物製造業):メタルウェアDX化推進プロジェクト

パターン①: デジタル化の可能性検討

実施内容の詳細

戦略策定/DXビジョンおよびロードマップの明確化

- インタビューを重ね、提供されたプロセス関連図を受け取り、現行のプロセスと課題点を把握。
 - デジタル化する業務の現状を図表や数値での見える化等把握ができておらずKPIを設定することができない状況。
 - 生産管理システムからデータを抽出できないためにデータ活用ができていないことを把握。生産管理システムのリスタート及び環境設備更新のスケジュールをインタビュー。
- 攻めのDX・守りのDXの両面から事例収集・アイデア出しを行い、優先度が高く・難易度の低い部分を可視化し、検討対象を特定。
- 以下の提案を含めたロードマップを、支援先や地域ハブ団体とコンセン サスを取りながら成果物を作成して報告。
 - データ活用よるDX推進の方向性のひとつとして、BIツールによる KPIの見える化を支援先と協議しつつ提案の形へまとめて、機能 価格等を分析しBIツール導入選定時参考資料を作成。
 - 人材不足課題に対し、データ活用よるDX推進の方向性のひとつとして高精度図面検索システム導入による省力化を提案。
 - 元旦の能登半島地震に伴い震災が業界に及ぼす影響の大きさを検討。現状の防災対策(BCP基本方針等)のインタビューを実施し、復帰に長い時間がかかることを把握した。震災需要予測報告書を作成して、震災特需の発生を把握し守りのDXに重点を置いた提案へ変更。更に、現状の防災対策から一歩進め、システム全体の完全クラウド化を提案。

成果

向こう2年のDXロードマップ及び現状の経営課題に対する解決の方向性を共同で作成

• 討議用資料



DXロードマップ及び報告書







株式会社岡野エレクトロニクス (製造業):製造工程におけるデータ投入の負荷をデジタル化によって軽減

パターン①:デジタル化の可能性検討

参加者

企業



社名	株式会社岡野エレクトロニクス
業種	製造業
事業概要	EMS(電子機器受託製造 サービス)の事業
所在地 (都道府県)	鹿児島県



参加した 受講生 の概要



チーム名	やわらかい会
チーム人数	6人

スキル・PR

「半導体製造業での経験」「システム開発の経験」「博士 (工学)」などの専門性を基 に貢献します

進める中で工夫したこと

Youtubeを使用し半導体製造について学んだ。また、経験のあるメンバーの知識をチーム間で共有し打ち合わせに臨んだ。

実施概要

課題内容

DXによる部材キッティング作業の属人化からの脱却

- 部材管理〜製造〜出荷までがExcelでの管理で進捗がリアルタイムで確認できない
- 部材払い出しにおける部材検索がマニュアルであり時間がかかっている
- DXにより多い部材総数に対して迅速な対応ができる部材管理を実現したい



実施した検討内容

キッティングの作業詳細を定義し、Excelデータ管理方法の分析からマクロ改善によって作業効率向上を検討

- キッティング作業を詳細な工程に分割し作業時間計測を実施(30分~1時間程度)
- キッティング用のExcelファイルを分析し、手数の多い箇所の関数化を検討
- 複数シートに分散している情報の関数による一括検索を検討



検討の成果

キッティング作業の30%削減を実現

- 改善したExcelを使用し、現在3時間かかっているキッティング作業を2時間に短縮できた(1時間の削減)
- 最新の部材在庫データ数を随時在庫データに反映することで、迅速な部材管理への可能性が見えた

株式会社岡野エレクトロニクス (製造業):製造工程におけるデータ投入の負荷をデジタル化によって軽減

パターン①:デジタル化の可能性検討

実施内容の詳細

キッティング作業のデジタル化及び今後の展開について検討

- 製造工程全体の流れと本プロジェクトで注目したい作業工程についてのヒアリング
- キッティング作業に注目してさらに詳細な作業工程をヒアリング (30分~1時間の粒度)
- キッティング作業用Excelの操作方法のヒアリング(画面で具体的に操作しながら解説)
- キッティング用Excelファイルの分析(シート、関数)と改善点の 洗い出し
 - →重要部品の抽出方法を改善
 - →複数シートの繰り返し検索で行っている在庫数情報取得の 改善
- これまでのヒアリング内容をもとに、Excelファイル以外について今後に向けた改善ポイントを整理

成果

キッティング用Excelファイルの機能改善と今後に向けた改善ポイントの提示

改善後のキッティングExcelファイルを試用していただき、従来3時間かかっていた作業を2時間に短縮(30%の改善)

<従来の方式>





<改善後の方式>



• ヒアリング内容からの改善ポイント提案

→最新の部品在庫数を新たにデータとして管理することで、Power BIなどを使った在庫数の推移を ダッシュボードで管理可能にする。それにより、適正在庫数を下回った場合のアラームなどが実現できる。

株式会社髙木化学研究所 (製造業):製品出荷管理から始める、繊維事業における生産システムのDX化

パターン①: デジタル化の可能性検討

参加者

企業

受講生の

概要



社名	株式会社髙木化学研究所

業種 製造業

主に輸送機器向けの製品

(繊維、金属加工、

射出成形)

所在地

愛知県 岡崎市

(都道府県)

ちいきすくい隊 チーム名

5人

チーム人数

スキル・PR

Pythonの実務経験あり。 IT×クラウド×エコの力で

地域の課題を解決します!

進める中で 工夫したこと

DXという未知なプロジェクトに 対する警戒心があったため親 睦を深めるのに時間を割いた

実施概要

課題内容

繊維事業における製品出荷工程及び在庫管理のDXを進めたい

- 紙媒体の帳票を作成して管理
- 実在庫を目視で確認し、在庫表に記載
- 工程の進捗状況は、担当者の記録表の受け渡しで確認



実施した検討内容

在庫管理のデジタル化およびロードマップ策定を実施

- 製造工程(特に梱包から出荷まで)のアナログな部分を洗い出し、デジタルツールの 活用可能性を検討
- 現場の課題を優先順位付けした上でロードマップ策定



検討の成果

DX推進のための課題を整理し道筋をつけた

- トレーサビリティ確保を目標としたロードマップを提案した。
- 帳票をデジタル化することにより、年間で約86万円のコスト削減が見込まれる試算を 示した

株式会社髙木化学研究所 (製造業):製品出荷管理から始める、繊維事業における生産システムのDX化

パターン①: デジタル化の可能性検討

実施内容の詳細

在庫管理のデジタル化およびロードマップ 策定に向けたヒアリング・ディスカッションの実施

分

目指すべき姿の共有

目指すべき姿やビジョンの共有

製造フローの理解

ヒヤリングを通じ、製造フローを整理

現状の問題の整理

要件定義

設計·実装

当チームでヒアリング・製造フローを通じて 課題を両社でディスカッション

類して設定

ロードマップの作成

目標達成に向けて必要な戦略を策定し、 それを実行するためのアクションプランを立案

成果

①在庫管理のデジタル化(プロトタイプ作成)②ロードマップ策定を実施

在 庫 管 理 デ

化

プロトタイプを作成しデモンストレーションを実施



GAS(GoogleAppsScript) & Google スプレッドシートを活用した在庫管理 システムを作成

ロードマップ案・詳細資料の作成



図:事業ロードマップ



図:アクションプランの詳細例

40

マ

目標とビジョンの明確化

課題に応じた目指したい目標を4つの項目に分

開発すべきシステムの要件や機能を明確化

システムアーキテクチャ・データモデルを設計

コードを記述して在庫管理システムを開発

株式会社 水貝製作所 (製造業)

パターン①: デジタル化の可能性検討

参加者

企業



社名	株式会社 水貝製作所
業種	製造業
事業概要	精密部品加工 (医療·航空機等)
所在地 (都道府県)	三重県いなべ市



参加した 受講生 の概要



チーム名	大きな桃もDXも川上から 川下までドンブラコ
チーム人数	5名

スキル・PR

チームに占める製造業関係者 の割合が大きいため、製造業 のお悩みを丁寧にお聞きしご提 案できます!

進める中で 丁夫したこと

現場に足を運んで企業への 理解を深めつつ、役員・現場 社員双方の思いを聞いたこと

: 製造プロセスから得られるデータを用いて、不良等を 予測するしくみを構想するプロジェクト

実施概要

課題内容

持続的に「会社を強くする」ための基盤・文化が不足している

- ①「会社を強くする」に向けた基盤整備
 - 会社としてのありたい姿・および評価する仕組みが不明確。
- ②データ活用等のDX推進の全社的な文化醸成
 - 社員ひとりひとりが自ら考え、提言できるような文化になっていない。



実施した検討内容

基盤整備・文化醸成のファーストステップを実施

- ① ありたい姿を明確化するため、スローガン・施策推進/評価の仕組みを作る。
- ②-1 データ活用の意義を全社員に感じてもらうため、不良品をテーマに分析を行う。
- ②-2 プロジェクト終了後もデータ活用を進められるよう、分析手法をレクチャーする。



検討の成果

データドリブンな意思決定の考え方が根付き、DXに向けた注力ポイントが明確になった

- ① スローガン/各組織の目標を設定し、データ活用ロードマップが出来上がった。
- ②-1 不良品の発生データから導いた**打ち手をネクストアクションに**組み込んだ。
- ②-2 データ分析のプロセスと実施方法を水貝製作所のノウハウに組み込んだ。

株式会社 水貝製作所 (製造業)

パターン①: デジタル化の可能性検討

実施内容の詳細

基盤整備・文化醸成のファーストステップを実施

基盤整備

- 企業としてのありたい姿を明確化するため、スローガン・施策 推進/評価の仕組みを作成
 - 企業のスローガン作成をサポート
 - 各部署の目標作成をサポート
 - 施策推進の帳票を提案

文化醸成

- データ活用の意義を全社員に感じてもらうため、**不良品を テーマに分析**を実施
 - 不良品の発生データから仮説/原因/打ち手を提案
- プロジェクト終了後もデータ活用を進められるよう、 **分析手法** のレクチャー実施
 - 仮説立案/検証の手法、顧客満足分析手法を提案
 - データ分析を学べるサービスを紹介

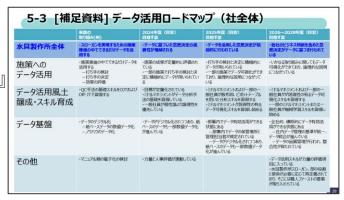
: 製造プロセスから得られるデータを用いて、不良等を 予測するしくみを構想するプロジェクト

成果

データドリブンな意思決定の考え方が根付き、DXに向けた注力ポイントが明確になった

基盤整備

- 企業のスローガン/各部署の目標が決まり、 社長から全社員に向け「『できない。を、できる。に の価値を上げる」を始めとしたスローガン・目標の 発信が行われた。
- 企業としてのスローガン・目標を踏まえデータ活用 ロードマップを作成した。



文化醸成

- 不良品の発生データから課題の特定、原因、 打ち手の検討まで実施し、打ち手として「作業 記録の徹底」を提案した。 また、検討した打ち手をネクストアクションとして ロードマップに取り入れた。
- 探索的データ分析や検定のような一般的な 手法と、顧客満足度の分析手法のノウハウを 伝授した。



株式会社石金精機(製造業):IPADプロジェクト

パターン1:デジタル化の可能性検討

参加者

企業



社名	株式会社石金精機
業種	製造業
事業概要	工作機械、半導体装置、HDD組立装置、省力機械等の精密機械部品の設計・製作、自動車部品等の試作、医療関連・航空機関連部品の製作
所在地 (都道府県)	富山県富山市



参加した 受講生 の概要



チーム名	一石三鳥	
チーム人数	6名	

スキル・PR

メンバーは30~40代の男女で構成され、 ITやDXの導入、製造業、金融業といっ た多岐にわたる業務経験有。バラエティ 豊かなスキルを持つメンバーで企業様の 課題解決を行います。

進める中で 工夫したこと

企業様のやりたいことを期間内で最 大限実現するため、当チームでお力 添えできる分野とそうでない分野を 明確化しました。

実施概要

課題内容

部門内に完結しない、会社全体でのDX推進

- ①「収益性改善」という目標を実現するためのロードマップ作成、 現状の取り組みとのひもづけ、課題の洗い出しまとめ
- ② ①を実現するための組織文化づくり、その他業務効率化の知見(広く)



実施した検討内容

当チームで解決可能な課題の検討

- 各部署の課題整理
- 課題整理後、当チームで貢献可能な課題の検討
- 貢献可能と判断した課題に対する打ち手の検討



検討の成果

情報提供、ツール作成

- 社内におけるDX推進について、ロードマップを作成。来年度以降の指針に
- DX推進をする他社の成功例、失敗例、 DX人材育成に適した学習プログラム等の情報提供
- 加丁時間予測ツール、受注データ検索ツールの作成

株式会社東洋電制製作所(製造業):全社DX構想の検討

パターン①:デジタル化の可能性検討

参加者

企業



社名	株式会社東洋電制製作所
業種	製造業

事業概要

電気制御装置製造 (設計、製缶、塗装、組立、配線、 検査、現地調整の一貫生産)

所在地 (都道府県)

富山県上市町



参加した 受講生 の概要



_	F	-	_	_	_	,	4	1	Ź	2	,]										F	1	4	1	-	Ī	-	ŀ		\	٨	V	1		S)	E	=						
												. ,									٠																							

チーム人数

6人

スキル・PR

製造業、IT・サービス業で働くメンバーで、業界での専門性を活かした具体的な打ち手の提案をします。

進める中で工夫したこと

課題特定からロードマップ策定までの流れを共有することで別領域でも企業が自走できるよう考慮した。

実施概要

課題内容 長期的なDX推進に関する進め方や取り組み方法を知りたい

- DXの知識や理解を深める
- DX推進のステップや開始地点の明確化
- 長期的なDX戦略の策定
- データ活用に関するガイドラインやデータ蓄積の不足



実施した検討内容 課題特定および課題領域における改善ロードマップ策定

- 全社アンケートの実施と分析および課題領域の分類
- マンダラートによる課題の具体化
- 課題領域に対する解決策の提案と評価
- 全社コミュニケーション効率化のためのDXロードマップ策定



検討の成果

- ・アンケート設定から分析や示唆、課題特定までの知見
- ・課題の分類やアイディアのブレインストーミングのフレームワーク提供
- ・DXロードマップの提供

株式会社東洋電制製作所(製造業):全社DX構想の検討

パターン①:デジタル化の可能性検討

実施内容の詳細

DX推進における課題の抽出

- ① 課題の検討
- 業務の流れや現在の使用しているツールについて ヒアリングを実施
- デジタル化に向けての最適な打ち手を検討するために解決すべき 課題の抽出
- ②アンケートの検討
- 従業員に業務の問題点やデジタル化への意識を調査するために アンケートを検討

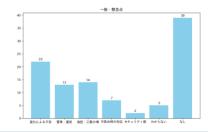
打ち手の検討とロードマップの作成

- ① アンケートの分析
- アンケート結果を分析して現状の把握と課題の抽出
- 現場と管理職との意識の違いの分析
- 分析結果からロードマップの方針の検討
- ②打ち手の検討と評価
- 見つかった課題に対する打ち手の検討
- 打ち手の評価を行い実施の優先度を決定
- ロードマップに組み込む打ち手の選定

成果

社内における業務の課題を特定するためのアンケート設定

- 一般・管理職・経営層ごとに質問を設定し、職位での認識の違いがあるか調査
- デジタル化に対する考え方、知識、期待、懸念等を確認し社内の現状把握を行った
- 今後の現状把握にも活用できるようなアンケートを意識して質問を設定
- アンケートの概要 デジタル化への意識や抵抗感の調査 従業員の感じている本音や課題の発掘 デジタルの知識や DX のレベルの把握 コミュニケーションで困っていること デジタル化戦略や計画の現場への理解度



アンケート結果から見えてきた課題から解決へのロードマップの作成

- 各種打ち手の目的・効果・ゴール・実施詳細をまとめてロードマップの作成
- アンケート分析結果・ヒアリング内容をもとに社内に合わせた定着までのステップを検討





製造業:戸出化成株式会社

パターン1:デジタル化の可能性検討

参加者

企業



社名	戸出化成株式会社
業種	製造業
事業概要	・プラスチック射出成型
所在地	富山県



参加した 受講生 の概要



チーム名	DXシッターズ
チーム人数	6

スキル・PR

(都道府県)

企業のデジタル化/DX化だけでなく、取り扱うユーザも満足できる仕組みづくりのお手伝いが出来たら非常に嬉しいと考えています。

進める中で・チームメンバーの長所を活かす 工夫したこと・打ち合わせ後にラップアップを行い、 その週の方向性を確認

実施概要

課題内容

自己認識課題から、全社DX構想をまとめアクションプランを検討したい

- 各部門で現在、アナログでもデジタルでもデータを収集しているが、活用できていない
- 昔からのやり方から脱却できず、管理する人ばかりが増えている
- 属人化した業務が多く、業務フローも複雑
- 日々の複雑化、属人化したルーティン業務に時間をとられ、改善や営業活動が進まない。

実施した検討内容

自己認識課題10項目(TK10)から、短・中長期に取り組むべき施策を検討

- 自己認識課題(TK10)から、5つの大分類と5つの詳細項目(全25項目)へ仕訳け
- TK10と5つの分類詳細項目の関連性が整合しているか再度、企業と受講生とで確認
- TK10と照らして、直接解決および派生的に改善できる4つのテーマを決定
- 検討した4つのテーマから、3年後に目指す姿・あるべき姿を明確化

検討の成果

推進ロードマップから短期的な施策のあるべき姿と具体アクションの解像度を上げる

- すぐにでも企業側でキックオフができるよう、どこから取組み始めたら良いか順序を明確にしながら、課題解決に向けたアクションイメージを持ってもらうため、以下の2点を提案
 - 具体アクションの目的と影響を考慮し、取組み順序を決めたロードマップ
 - 今後、自ら進めていくイメージが考えられるよう、アプリケーション活用事例の一例

製造業:戸出化成株式会社

パターン1:デジタル化の可能性検討

実施内容の詳細

DXを推進する足掛かりとして、ロードマップと活用事例を紹介

下記自己認識課題(TK10)に対し、

- 具体アクションの目的と影響を考慮し、取組み順序を決 めたロードマップ
- 今後、自ら進めていくイメージが考えられるよう、アプリ ケーション活用事例

2. 品質管理とリスクマネジメント

・品質管理のシステム化

・製品の品質基準の確立 3

·品質管理基準の明確化**③**

·出荷検査の精度向上®

·品質基準の設定と遵守 9

・労働力の最適利用 (3)

・組織構造の見直し (1)

を提案・紹介した。

TK10-5大分類対比

TK10と分類詳細項目との関連性の整合

1. プロセス最適化と効率化

- ・生産計画の最適化 ①
- ・業務プロセスの標準化
- ・生産スケジュールの改善の
- ・ドキュメント管理の自動化68
- ·プロジェクト管理の最適化**⑨**

3. データ管理と情報技術の活用

- ・需要予測の精度向上1
- ・生産プロセスの透明性の向上
- ·データ分析の活用 **2**
- ・管理プロセスの自動化
- ・データ収集システムの最適化

- 計画生産と適正在庫の実現 2立上げ業務の効率化
- 3全数検査の廃止
- ❹営業力強化

課題項目

- ⑤二次加工工程の生産計画実現
- 6成形工程の稼働率アップ
- →
 成形データ活用で管理業務削減
- **②**金型製作プロセスの管理
- ①管理業務の削減

4. 人的資源と組織管理 5. コスト管理と投資最適化 ・属人化の排除❷

- ・在庫保持コストの最適化 ●
- ・投資と費用の最適化 6
- ・原価管理の効率化の
- ・コスト削減と生産性向上@
- ・牛産リードタイムの短縮

・管理人員の効率的な配置の 提案の3項目を実現することで、**青太字部分**を直接改善することができ、青字部分も派生的に改善が見込めます

・営業人員のトレーニングと育成4

成果

3年後のあるべき姿からロードマップを作製

ロードマップ

3年後のありたい姿から、作成。 短期的な施策から長期的な施策を提示。 組織の価値観・文化から人材・データシス テムのレイヤーごとに施策を立案することで、 組織全体でDXを推進していく土台を想定

DX推進ロードマップ-2027



成果

アプリケーション活用事例

アプリケーション&デバイス

- 主に日報入力作業の時間削減を想定。
- 1日最大5時間の丁数削減を見込む



BIダッシュボード

- データを可視化することで見える化を行う
- 属人性の排除を想定し、意思決定を補助





黒澤酒造株式会社(製造業): 資材管理の効率化を踏まえたDX構想・ロードマップの策定

パターン①:デジタル化の可能性検討

参加者

企業



社名	黒澤酒	黒澤酒造株式会社											
業種	製造業												
事業概要	要 創業以した清潔	来165年、地域に根ざ 西造り											
所在地 (都道府		上佐久穂町											



参加した 受講生 の概要



チーハ人数 6名	チーム名	こたつナビゲーターズ
7 五八致 0 日	チーム人数	6名

スキル・PR

お互いにわかりやすい言葉でお話させてもらうことを心がけて、ともに方策について考えていくような協働をさせていただきます。

進める中で工夫したこと

企業が自走できるようにサポートした こと。気づいた情報は共有したこと。

実施概要

課題内容

ヒアリング結果に基づき、全社的な視点での課題発掘

- 人手不足となる中、複雑かつ多品種の資材管理が難しく、誰でもが資材管理、状況の見える化をしたい(内部見直しによる守りのDX)。
- 少子化による人口減のなか、地元長野県だけでなく、大消費地の首都圏でのブランド力を向上し、売上を高めたい(対外的に行う攻めのDX)。



実施した検討内容

課題を把握し、優先度の高い課題について、打ち手の検討

- 現状の資材管理の課題を確認し、ITツールによる自動化、データ収集のデジタル化、ダッシュボード化を提案(人材不足対応DX)
- 会社ホームページ、オンラインストア、SNSを確認、売上データを分析し、それぞれにアドバイス(営業DX)



検討の成果

ロードマップ作成、資材管理のツール利用サンプル

- 人材不足対応DX、営業DXのロードマップを提案
- 資材管理のツール(AppSheet、Looker Studio、Power Automate)の導入・利用ドキュメント、およびツール利用サンプルを提示し、社内導入検討に寄与
- 酒販店・顧客とのコミュニケーション強化の改善点リストの提案

黒澤酒造株式会社(製造業): 資材管理の効率化を踏まえたDX構想・ロードマップの策定

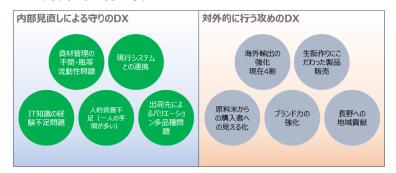
パターン①:デジタル化の可能性検討

実施内容の詳細

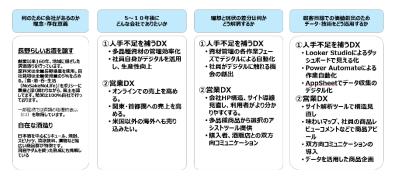
全社的な視点での課題の発掘

ヒアリング結果に基づき、課題を抽出し、以下の通り課題を分類・整理しました。

- 内部見直しによる守りのDX
- 対外的に行う攻めのDX



優先度の高い課題を抽出し、データ・技術活用を検討。



成果

課題解決のためのロードマップ策定

優先度が高い課題について解決のロードマップ策定(3~5年間を想定)



課題解決のための施策検討

- 資材管理のツール(AppSheet、Looker Studio、Power Automate)の導入・利用ドキュメント、 およびツール利用サンプルを提示し、社内導入検討に寄与
- 酒販店・顧客とのコミュニケーション強化として、「会社Webサイトやオンラインショップの改善によるアクセス向上」、「味わいマップによる顧客体験価値向上」、「限定版プロモーション」などの施策(改善点リスト)を提案



神谷機工株式会社(製造業):老舗刃物メーカーDX化プロジェクト!

パターン①: デジタル化の可能性検討

参加者

企業



社名	神谷機工株式会社

業種 製造業

工業用機械刃物及び特殊切削

工具のオーダーメイド製造販売、ア

フターメンテナンス

所在地

大阪府 大阪市

(都道府県)



参加した 受講生 の概要



Sunny Compass チーム名

チーム人数

スキル・PR

データサイエンティスト・エンジニア・ ビジネス人材が揃ったバランスのよ いチームです。チームワークには自 信があります!

進める中で

社長から「うちの会社こうなりた 工夫したこといり」を引き出すためのコミュニケー

ションに注力しました。

複数回現場訪問も行いました。

実施概要

課題内容

"年齢が若くても頭は昭和"なアナログが根付いている企業風土を変えたい

- 「変わらなければ生き残れない」が何から始めたらよいのかが分からない
- 社員の意識を変革したいが自分達だけでは変われない
- すぐにできて目に見える取り組みをきっかけに社員の意識を変えていきたい



実施した検討内容

会社ビジョンの明確化・現場の課題抽出と改善提案・自走のためのロードマップ検討

- 会社の将来像を明確にするために社長とのディスカッションを繰り返した
- 工場を訪問し社員からもヒアリングを行い現場の課題を抽出した
- すぐに手が打てる課題についてはツール提供などを行った



検討の成果

ロードマップとアクションプランの提案・アクションを実行するための情報提供

- ビジョン(ありたい姿)とその実現のための道筋をロードマップにまとめた
- アクションプラン(11個)を提示し、活用できるサービス等の情報を提供した
- 企業側がすぐに一部の取り組みを開始するなど、意識変革が始まった

Copyriaht © 2022 by Boston Consulting Group, All ri

神谷機工株式会社 (製造業):老舗刃物メーカーDX化プロジェクト!

パターン①: デジタル化の可能性検討

実施内容の詳細

会社はどこを目指していて(ビジョン)DXはそのビジョン 実現のどの部分に寄与するのかを明確にするための対話

- 社長や中核メンバーと週1回のディスカッションを繰り返した
- 現場訪問しヒアリングを実施した(社長・社員)
- ディスカッションやヒアリングで得た情報を可視化しながら、会社が やりたいこと・やるべきことを整理した



会社がやりたいことを実現するための市販製品の調査

- 世の中に多くあるSaaSやシステム、IoT機器等の中から会社の ニーズやコスト面で「ちょうどよい」ものを調査・選定した
- ネットワーク構成や生産管理については必要な機能を概念図に 整理し提示した
- 地域企業協働プロジェクト終了後に社員だけで自走できるように プロジェクトでの検討一式を資料としてまとめた

成果

ビジョン(ありたい姿)とその実現のための道筋をロードマップにまとめた





- めざす会社の姿をビジョンとして図示
- ビジョンを実現するための道筋を検討
- 検討結果をロードマップとして整理

アクションプラン(11個)を提示し、活用できるサービス等の情報を提供した





- ビジョンを実現するために必要なアクションを 具体的に検討し詳細化
 - アクションプランの中から、すぐに取り組みが 開始できる項目を選び、活用できる製品や サービス等の情報を提供

企業側がすぐに一部の取り組みを開始するなど、意識変革が始まった





- ・ 企業側が、アクションプランの一部の取り組みを開始(具体的には以下のもの)
 - ①社内ネットワーク環境の整備
 - ②管理職のコミュニケーションツール導入
- 社外からの提案が意識変革に有効に働いた

水口酒造株式会社 (酒類製造業):酒蔵DXプロジェクト 日本最古の温泉道後温泉と共に歩む酒蔵の次の130年を造るDX化ロードマップ策定

パターン①: デジタル化の可能性検討

参加者

企業



社名

水口酒造株式会社

業種

酒類製造業

事業概要

日本酒・ビールなど酒類多種

製造・販売・飲食店運営

所在地

愛媛県松山市



参加した 受講生 の概要



参加した チーム名

四方よし

チーム人数

(都道府県)

5人

スキル・PR

多種業界のIT化・運用、マーケ、 事業創出の専門家が、現場と 経営を繋ぐ改革を目指して集っ た、上流から下流実装まで実現 可能な、精鋭&自由闊達チー

進める中で工夫したこと

- ・全事業の業務フロー把握
- ・経営理念/KPIの都度確認
- ・30年先に通用するIT化

実施概要

課題内容

DX化ロードマップの策定

- 着手すべき順番や範囲、可能性が不透明
- IT化担当が幹部一人のため、関連質疑が集中し、本来の業務が遂行できない

実施した検討内容

- ・ 経営理念の理解:130年後の事業検討ワークショップ→経営理念の具体化
- IT化とDXの可能性の整理:質疑&資料収集→As-Isの視覚化とTo-Beとの比較
- 優先順位とロードマップ:経営理念の具体化&To-Be→ロードマップ策定
- 調査と比較: To-Be実現の規模感把握→開発 or パッケージ or SaaSの判断
- 導入と実践計画の策定:直近経営方針&事業計画のヒアリング→計画策定

検討の成果

成果物一覧

- ①ワークショップ資料 ②経営理念と事業部相関図
- ③事業にあるべき管理の仕組み図 ④As-Is/To-Beフロー図 ⑤需要予測AIのPoC
- ⑥AI導入余地を含んだ事業全体のIT化ロードマップ
- ⑦基幹システム乗換に向けたSaaS導入提案とロードマップ
- ⑧SaaSのTo-Beカバー領域図 ⑨直近のマイルストーンまでのシステム導入計画
- ⑩新事業に向けた商品データベース改造提案
- ⑪社内コンサルと提携した社内IT推進チーム設立の提案と役割分担図

経営理念の理解

事前調査

経営戦略 の紐解き





IT化とDXの可能性の整理

事業に必要な 管理の仕組み 既存管理の 仕組み把握 IT化済みの範 囲把握

既存システム データ分析

業務管理 資料分析 需要予測AI対 人力との比較

優先順位とロードマップ

導入障壁の調査

既存システムの分解

調査と比較

事業形態の推移と ツール構成調査

BtoCツール 調査

BtoBツール 調査

導入と実践計画の策定

直近の新事業 展開の把握

商品コードの 最適桁数の検討 商品DB構造 の調査

成果

観光地と並走した事業の根幹に関わる課題発見と企業風土把握

経営課題 の発掘

経営理念と 事業部相関図





ワークショップ 資料

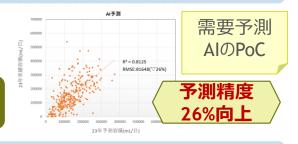
事業に必要な管理の仕組みと既存管理の仕組みの比較

不足管理システムとIT化 が必要な範囲の把握

現行業務 の可視化

As-Is フロー図 事業にあるべき管 理の仕組み

AI導入による 業務削減の可能性



業務標準化を実現する事業全体のIT化ロードマップ



業務標 準化

障壁の少ない 導入順序

AI導入余地を含んだ 事業全体の IT化ロードマップ

BtoC基盤のSaaSツールと BtoB基盤のSaaSツールとの調査・比較

ツール選 定

To-Be フロー図

SaaSOTo-Be カバー領域図

基幹システム乗換 SaaS導入ロードマップ

30年先まで利用可能な商品コード/飲料・酒造業に特化した商品DBの構造

商品コード 再採番検討 JAN再採 番検討

直近マイルストーン システム導入計画

商品DB 改造提案 社内ITチーム 役割分担図

側島製罐 (製造業):製造工程を中心としたDX構想&中間品在庫管理の手法検討

パターン①: デジタル化の可能性検討

参加者

企業



社名 側島製罐

業種

製造業

事業概要

少量多品種製造を得意とする一般 缶のメーカー(明治39年創業)

所在地 (都道府県) 愛知県大治町



参加した 受講生 の概要



チーム名 疾風のよろずや

チーム人数

4名

スキル・PR

日用品や電気機器、通信等様々な業界でDXを実践・活躍。商品企画からデータ分析、管理会計、AI開発までDXに必要な幅広いスキルを備えています。

進める中で工夫したこと

チーム側からの一方的な提案ではな く、側島製罐様と一緒に議論を重 ね解決策を導くように心がけた。

実施概要

課題内容

中間品·在庫管理の手法検討&DX導入により製造工程の人員適正を図りたい

- 中間品在庫数がリアルタイムで把握できておらず、都度目視で在庫数を数える作業が発生。
- 製造現場は、アナログで属人的な面もあり非効率な場面が多く、DX導入により製造工程の 人員適正を図りたい

実施した検討内容

課題に対し、DX化前の対策とDX化構想という方向から検討を実施

- 現状把握のため、側島製罐様を訪問し、詳細な業務フロー作成を実施
- 中間品在庫管理について、特性要因分析からCI分析を実施、改善策の策定を側島製罐 様と共同で実施。
- 課題解決に最適なDXツールの情報収集を行い、最適な導入手順の検討実施



検討の成果

在庫管理の仕組み構築とDX化TODOにより改善活動開始という成果を得た

- 中間品在庫管理: DX化前に実施内容として、ルール作成と管理担当者設置による運用を提案。ルール作成・運用のきっかけ作りをした。
- 製造工程のDX化:ロードマップ作成と精緻なガントチャートによるTODOスケジュールを提案。DX化の手順を明確にした。

側島製罐 (製造業):製造工程を中心としたDX構想&中間品在庫管理の手法検討

パターン①: デジタル化の可能性検討

実施内容の詳細

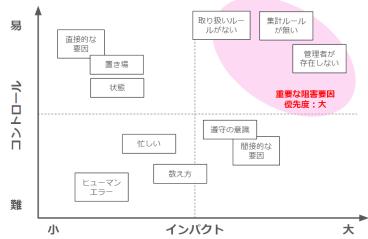
中間品の在庫管理ができていない潜在的な原因を把握することから検討。

- 中間品の在庫管理ができていない現状に対して、真の阻害要因を特性要因図により抽出、改善の優先度をコントロールインパクト分析により評価。
- 企業側の分析結果とチーム側の分析結果を比較し、認識の擦り 合わせを実施し、内容を決定。
- 上記の分析結果をもとに、取り組んでいく内容を計画化し、ロードマップを作成。
- チーム側から提案したものを含むデジタル化のためのツールの検討 と運用計画もロードマップの内容に追加し、DX化の手順を明確に した。

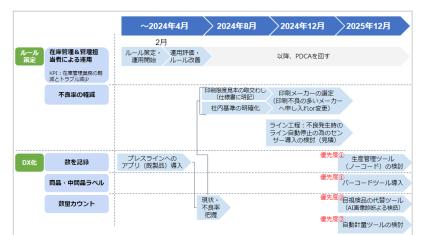
成果

ルールが無い, 在庫品の置き場がない, 管理者がいないということが重要な原因である ことがわかり、対策案を盛り込んだロードマップを作成。

コントロールインパクト分析結果



ロードマップ



多田製菓株式会社 (製造業):収益改善に向けた中長期DXロードマップ策定PJ

パターン①:デジタル化の可能性検討

参加者

企業

社名	多田製菓株式会社
業種	製造業
事業概要	たい焼き、饅頭、カステラ等の 半生菓子や焼き菓子の製造 販売
所在地 (都道府県)	大阪府枚方市



参加した 受講生 の概要



チーム名	ラボラトリオ・ラテラル
チーム人数	6人
7+11 00	忽⇔₩№ /B+∞ /D+。Cフ 左

スキル・PR

経営戦略/財務/BtoCマーケ ティング/BtoBマーケティング /IT/DS/サプライチェーンマネジ メント

進める中で
丁夫したこと

- あるべき姿の定義
- 本質的な問題特定
- 水平思考

実施概要

課題内容

自社オンラインショップを活用したBtoC販売により、利益率を改善したい

- 原材料高騰や市場縮小の影響により、卸売販売の利益率が悪化している
- 自社で取り組んだECモールや実店舗の売上が少ない
- 集客導線設計及び自社オンラインショップ稼働のアクションプランを提示して欲しい



実施した検討内容

クリティカルな問題の特定及び中長期の収益改善ロードマップ提示

- 外部環境や内部環境をマクロ、ミクロ視点で調査を実施
- 中長期的に目指すべき姿をヒアリングや打ち合わせの場で定義
- あるべき姿の向けた全社的な収益改善ロードマップ作成と打ち手立案を実施



検討の成果

IT活用に囚われない本質的な収益改善ロードマップ提示

- 厳しい外部環境下において、持続的な競争力UPとなる経営改善となる施策を提案
 - IT活用に囚われないビジネス視点の打ち手を提示 (M&A、BtoC販売など)
 - 本質的な価値提案だと評価を頂けた

多田製菓株式会社(製造業):収益改善に向けた中長期DXロードマップ策定PJ

パターン①:デジタル化の可能性検討

実施内容の詳細

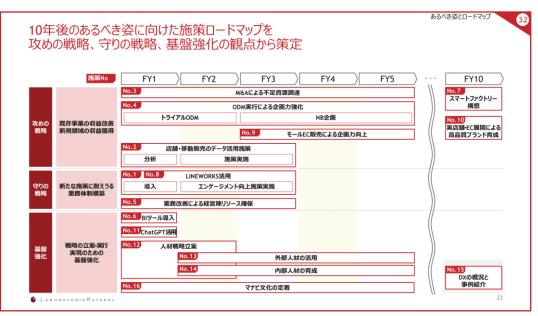
中長期の収益改善ロードマップ提示

- 外部環境及び内部環境調査
 - オンラインリサーチによる市場調査 (食品製造、菓子製造、小売など)
 - 外部環境調査の結果をフレームワークで整理 (PEST分析、ファイブフォース分析)
 - ヒアリングによる内部環境調査
 - 課題の洗い出しとクリティカルな問題の特定
- あるべき姿の定義と戦略立案
 - ヒアリングやフレームワーク活用(アンゾフの成長マトリクス、 クロスSWOT分析)により、中長期的にあるべき姿と戦略の 方向性を定義
- 本質的な収益改善となる打ち手の提案
 - リソース獲得(M&A、外部人材活用)
 - 攻めの利益改善(ODM、BtoC販売、データ&AI活用)
 - 守りの利益改善(業務改善)
- IT活用に縛られない本質的な収益改善ロードマップ作成
 - あるべき姿と戦略方向性、提案した打ち手の流れを整理
 - 10年のDXプランを作成

成果

IT活用に囚われない本質的な収益改善ロードマップ提示

- 成熟市場において、持続的な競争力を獲得を目指す収益改善ロードマップを提示
 - 当初の依頼事項(EC稼働)から本質的な問題解決をすることにゴール変更
 - 地域協働対象の企業に最適化した「あるべき姿」、「戦略方向性」、「収益施策」を反映
 - 本質的な価値提供をしてもらえたとフィードバックを頂けた
 - 簡単な施策(LINEとChatGPT活用)は既に効果を実感できたとフィードバックを頂けた



田中精密工業株式会社(製造業):ロードマップ策定による、全社的ペーパーレス化の浸透

パターン①: デジタル化の可能性検討

参加者

企業



社名	田中精密工業株式会社
業種	製造業
事業概要	自動車部品、オートバイ部品、 汎用部品、その他製造販売

富山県富山市



参加した 受講生 の概要



チーム名	一緒に育つDXの樹
チーム人数	6人

スキル・PR

所在地

(都道府県)

メンバーのスキルバランスが良く、 本業の業務も幅広いことから、 経営・IT双方の観点で検討が できるチームです!

進める中で工夫したこと

PJの早期の段階からアウトプットの形式を企業様と共有して、方向性の確認をしながら進めました。

実施概要

課題内容

部署の業務の合理化・効率化に留まらない、風土改革含めたDX推進施策検討

- ロードマップの策定
- ペーパーレス化の全社浸透および活用方法検討
- 新たな価値創出



実施した検討内容

DX推進における目標の明確化

- ・ 現状および2030年に向けたあるべき姿の整理
- 課題の優先度設定

設備保全に向けた施策検討

• データ活用方法の検討及び全社浸透施策の検討



検討の成果

設備保全についての、今後の施策の提案資料提示

- 設備不具合情報をデータ化する為のプロセスやBIツールの調査及び提示
- 設備保全DXにおいて、現場社員が主体的に参加するための施策調査及び提示
- 中長期のロードマップ及び、直近3か月のタスク提案の実施

田中精密工業株式会社(製造業):ロードマップ策定による、全社的ペーパーレス化の浸透

パターン①: デジタル化の可能性検討

実施内容の詳細

2030年にむけたAs Is - To Be整理を実施

• 戦略、価値観、組織、人材、システム、財源の各観点における ありたい姿と現状をフレームワークで明確化

確認できたギャップから重要度を加味して優先度を設定

設備保全におけるDX推進施策検討を実施

- 設備不具合情報をデータ化する為のプロセスやBIツールの調査 及び提示
 - ①PoCプロセスの提案
 - ②企業に沿ったBIツールの調査
- 設備保全DXにおいて、現場社員が主体的に参加するための施 策調査及び提示
 - 現場社員が主体的に参加していただくための施策調査
- 中長期のロードマップ及び、直近3か月のタスク提案の実施→ DX施策の全体像の提案及び、本PJ終了後、企業で推進

DX施策の全体像の提案及び、本PJ終了後、企業で推進 いただくための具体的なタスク提案

成果

明確化されたDX推進における重要な課題について深堀を実施し、ロードマップ含めた今後の施策について、具体例を提示

- 設備の不具合管理情報の分析設計
 - →設備不具合管理データ収集を実施するにあたり、効果的な項目設計を行う為のPoC施策を提案
 - →データ収集後のBIツール活用方法を提案





- 現場への理解浸透施策提示
 - →以下4つの理解浸透施策提示
 - ✓ 実態に即した現状把握の実施
 - ✓ 現場のDX理解促進支援
 - ✓ 現場とのパートナーシップ強化
 - ✓ 現場へ向けたフォロー体制構築



- ロードマップ提示
 - →以下3つの観点における3年単位のロードマップ及び短期スケジュールの提示

予防保全に向けた、 設備の不具合管理情報の データ化

DX推進プロセスの 全社最適

予知保全の実現





日本毛織株式会社(製造業):生成AI技術を活用した経営管理業務の自動化・効率化

パターン①: デジタル化の可能性検討

進める中で

工夫したこと たこと

参加者

企業



社名	日本毛織株式会社
業種	製造業
事業概要	衣料繊維事業:ウール由来 の先端素材やハイブリッド素 材・製品の開発・提供
所在地 (都道府県)	大阪府大阪市



参加した 受講生 の概要



チーム名	コードと詩
チーム人数	6人
スキル・PR	幅広い年代と専門分野から成り立っており、その多様性がチームの大きな強みとなっています!

定期的なミーティングを実施し

実施概要

課題内容

決算業務・管理会計資料作成・議案書作成などの業務に追われている現状

- 定型的な業務はコンピューターに任せて徹底的に効率化したい
- 事業管理・経営支援・総合企画・組織活性化など、クリエイティブかつヒューマンタッチな業務に特化したい



実施した検討内容

経営管理業務の効率化に向けて生成AIをどのように利用するか検討

- 生成AIによる議案書作成支援(プロンプトエンジニアリング等)を実施
- 生成AIの他社事例・今後の技術動向の調査を実施



検討の成果

生成AIを一部利用した議案書が社内承認審査を通過 生成AIの利用によって効率化が期待できる具体的な業務内容についてまとめ、提案

- プロンプトを工夫し、生成AIと対話することで議案書作成の効率化が期待
- 現在の技術でも効率化可能な業務・将来的に効率化が期待できる業務を予想し整理

日本毛織株式会社(製造業):生成AI技術を活用した経営管理業務の自動化・効率化

パターン①: デジタル化の可能性検討

実施内容の詳細

生成AI技術を活用した経営管理業務の自動化・効率化という方向から検討

- 生成AIによる議案書作支援(プロンプトエンジニアリング)を実施
- 生成AIの他社事例の調査を実施
- 生成AIの今後の技術動向の調査を実施

他社事例まとめ

業界	企業名	実施内容
銀行業界	みずほ銀行	PJにより500のアイデア創出展開中
	三井住友銀行	Alを活用したM&Aのマッチング
	三菱UFJ銀行	AIを活用した大量の帳票読み取りの効率化
製造業	パナソニック	独自生成AIを活用した業務改善
	株式会社ユニチカ	AIを活用した繊維製品の品質管理
	旭鉄工	IoTやデジタルツールを活用した生産性向上
教育	ベネッセコーポレーション	AIを活用した個別指導塾「進研ゼミ小学講座」の学習支援
育児	Pigeon Corporation	AIを活用した育児支援アプリの開発
食品業界	アサヒグループホールディング ス	AIを活用したサプライチェーンマネジメントの体制強化
	キユーピー株式会社	AIを活用したベビーフードの原料になるダイスポテトの原料検査装置の活用
IT	NEC	映像AIサービスを活用した現場DX、独自の生成AIにより事務作業効率化
IT	NTT東日本	映像AIサービスを活用した現場DX
自動車	ダイハツ工業株式会社	AIを活用して開発業務をスピードアップ
法律	LegalForce	AIによる契約審査プラットフォームで、契約審査の品質向上と効率化
IT	KARAKURI	カスタマーサポートに特化したAIチャットボットを提供
物流	Loogia	AIで配送ルートを最適化するサービス

今後の技術動向まとめ

■紹介する技術 ※12月28日時点での予定

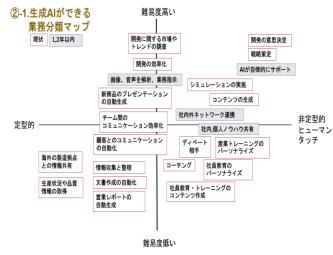
- 画像牛成【DALL-E (GPTs)】
- 画像認識【Chat-GPT (GPT-4V)】
- 文書読み込み【Chat-GPT、Bard】
- ・ オリジナルChat-Bot【GPTs】
- API連携、RAG【OpenAI、Gemini】
- 公開LLMモデル【Llama2】
- データ連携【Bard (Googleエコシステム)】

成果

生成AIを一部利用した議案書が社内審査を通過 生成AIの利用によって効率化が期待できる具体的な業務内容についてまとめ、提案

- 生成AIによる議案書作成支援(プロンプトエンジニアリング等)を実施
 - ▶ どのようなプロンプトにすれば議案書作成の支援ができるか検討を重ねた
 - ▶ 検討を重ねたプロンプトを使用し、生成AIと対話しながら作成された議案書が社内承認審査を 通過
- 生成AIの他社事例・今後の技術動向の調査結果から、現在の生成AI技術で効率化可能な業務・ 今後約1年以内に効率化可能な業務を予想し、表やポジショニングマップ形式に整理して提案

カテゴリ	Immediate 直ぐにできること	Soon もうすぐできること	Future 将来できそうなこと
対話	 会話型インターフェースを通じた 壁打ち、アドバイス、コーチング 日常会話、ヒフリウン、電話対応の シミュレージョン 言語学習(英会話) 予約や注文、カスタマサポートの自動化 	 計議内容のリアルタイムサジェスト ユーザーの感情や嗜好に応じた対話 家書籍にかたるシームレスな対話 健康、心理、ライフスタイルのアドバイス 予約やスケジューリングの自動化 	会議のファシリテート AJパートナー、AJコンパニオン 言語障壁をなくす通訳AI 人間の感情をコントロールする対話 個人のキャリアや人生の決断を サポートするAJメンター
検索	関連ワード検索 画像検索と類似画像の特定 文書内の特定情報へのクイックアクセス	 コンテキスト間連性の高い結果提供 ユーザーの過去の行動と好みに基づくパーソナライズされた検索結果 マルチメディアコンテンツの検索 	 個々の知識と経験を踏まえたカスタマイズされた検索結果
添削	文法やスペルの語りの検出修正 文章の流れと一貫性の改善提案 文章の流れと一貫性の改善提案 文体やトーンの分析と調整提案 重複や冗長な表現の指摘 構文エラーの特定と修正	 目的に合わせた内容の最適化提案 ガイドラインに基づく添削 フィードバックを取り入れた 添削アルゴリズムの自動吹害 	 執筆者の意図と読者の反応を踏まえたダイナミックな内容調整 リアルタイムでの共同執筆と添削のサポート 個人の配憶や経験を基にした添削
予測・分析	・消費者行動、製品需要の予測 ・選等、スポーツ試合の結果予測 ・ソーシャルメディアの感情分析 ・競合他出財務報告の分析 ・観客港尾度の調査と分析 ・製品化ビューのテキスト分析	 個人向けの金融商品のリスク評価と予測 個人のキャリアパスと成功の予測 テキスト、国像、音声の統合分析 	 人間の意思決定プロセスの予測とサポート 個人の日常生活における意思決定のためのAIアシスタント



日糧製パン株式会社(製造業):日配品の需要予測等を軸にしたDX戦略/ロードマップの構築パターン①:デジタル化の可能性検討

参加者

企業



社名	日糧製パン 株式会社
業種	製造業
事業概要	食品製造·販売
所在地 (都道府県)	北海道



参加した 受講生 の概要



チーム名	おりいぶ
チーハ人数	6人

スキル・PR

○ データ取得・管理・加工・可視化のプロセスの最適化

○ ECプラットフォーム分析・最適化

○ 情報セキュリティ

○ 開発

○タスク自動化

進める中で
丁夫したこと

○課題の根本を整理

○実際のデータを確認した提案

実施概要

課題内容

毎日の受発注の見込みを個人の経験から予測している

- 日配品という特性上、受注前の原材料調達などが必要だが、その予測が経験則となっている
- 人員の不足が確実な環境下で作業効率を向上させたい



実施した検討内容

業務フローの確認と現場の状況を確認して、自動化ができる範囲を明確化

- 業務のフローと実際の工数を確認
- データの流れと、マニュアル業務を整理
- 取り組むべき優先順位付けと得られる効果を算出



検討の成果

常時発生する受注数に関する予測を自動算出できる可能性を見出す

- データの機械学習による受注数の予測を実行
- 過去の実数と予測データの比較から、その有効性を示すことができた
- 今回提示した優先順位を前提とした今後ロードマップを作製した

日糧製パン株式会社(製造業):日配品の需要予測等を軸にしたDX戦略/ロードマップの構築パターン①:デジタル化の可能性検討

実施内容の詳細

業務フローと実際の作業状況を確認

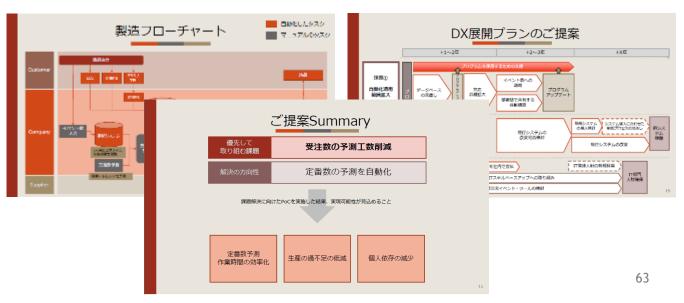
- 業務改善に有効な方向性と対象となる課題を複数提示
- 受発注予測
- 適正な原材料管理
- IT分野担当者の不足
- 取組に必要な期間とその効果から優先順位を設定
- ○実現の可能性
- ○課題解決に必要な時間
- ○取り組む難易度
- 具体的な打ち手の提示



成果

受注予測のシステム化の検討と、課題全体を取組むロードマップの作製

- 機械学習による受注予測のシステム化
- ○過去データから予測値を算出し、実データとの整合性を確認
- ○打ち手を難易度と効果にて総合的な比較を提示
- ○他の取組や将来的な取組を示すロードマップの作製
- ①データの動きを組織として可視化。データの流れと課題をフローチャートにまとめた。
- ②現状の課題を大きく3つに分けてDXを促進するロードマップを作製。
- ③「②」のなかでも短期的にインパクトが大きそうな「納品数の予測」の可能性を探りモデルを1商品で試験的に作成。



ベンドサービス株式会社 (製造業):経営課題の解決にむけた全社DX

パターン①:デジタル化の可能性検討

参加者

企業



	社名	ベンドサービス株式会社
	業種	卸売業、小売業
	事業概要	自動販売機・食品設備のメン テナンス、機械の設置・修理・ 整備
	所在地 (都道府県)	山口県



参加した 受講生 の概要



チーム名	多刀流DX
チーム人数	6名
スキル・PR	ソフトウェア、データサイエンス、クラウド技術、Alなどの広範で高度な技術知識を持つだけでなく、金融や企業経営といったビジネスの知識も併せ持っています。
進める中で 工夫したこと	多角的なスキルや経験を活か した多角的な視点を活かした 問題解決アプローチ

実施概要

課題内容

デジタル化の可能性検討

• DXの必要性は理解し、DXとしての取り組み項目は既にリストアップ済みであるが、具体的な取り組みは未着手



実施した検討内容

経営課題を明確にした上での全社DX案の検討

- ゼロベースで企業経営というトップダウン視点での課題の明確化
- 中長期視点で企業のありたい姿の構想を描くとともに、企業の強みを再整理
- ビジネスアイディアのアイディエーションを通じて、いくつかのビジネスモデル案やDX案の模索



検討の成果

今後の事業拡大にむけた打ち手案の導出

- 今後の事業の打ち手として考えられるビジネスモデル案やDX案を提案した
 - ビジネスモデル案については、自治体の補助金などの活用も視野に検討を継続
 - DX案については、早期に実現が可能なものから検証へ着手していく見込み。(顧客からの問い合わせ工数の省力化が見込める可能性あり。定量的な効果は検証で明らかになる見込み)

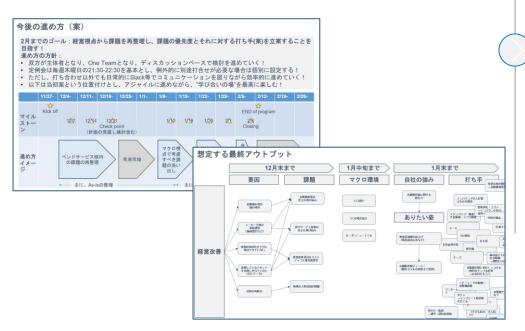
ベンドサービス株式会社 (製造業):経営課題の解決にむけた全社DX

パターン①:デジタル化の可能性検討

実施内容の詳細

経営視点で課題やありたい姿、打ち手をアイディエーション

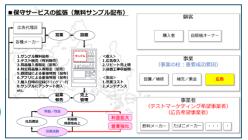
- 既にDXとしての取り組み項目はリストアップ済みであるが、企業の どのような課題に対する取り組みなのか、また、それが経営にどう 関係するのかを明らかにするため、改めて、企業経営というトップダ ウン視点で課題を整理し、優先度の高い課題を明らかにした
- また、企業としてありたい姿と強みを整理し、経営課題とのギャップ から打ち手となるビジネスモデル案やDX案を検討した



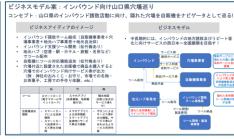
成果

事業拡大にむけたビジネスモデル案やDX案を提案

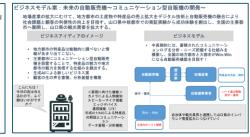
- 経営課題とありたい姿、強みを活かしたビジネスモデル案やDX案を複数提案(以下は提案の一部)
- 企業側からは、実現可能性が高く、早期に着手できるものはTryしていくとのフィードバックあり

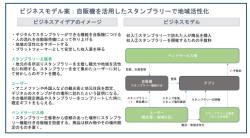












有限会社 山崎マーク(製造業):デジタルを活かし、新たな価値を創造するものづくり企業へ

パターン①: デジタル化の可能性検討

参加者

企業



社名

有限会社 山崎マーク

業種

製造業

事業概要

刺繍、Tシャツのプリント、のぼり・横

断幕製作、グッズ製作

所在地

長崎県西海市

(都道府県)



参加した 受講生 の概要

チーム名

朝焼けの宇宙(そら)

チーム人数

5人

スキル・PR

私たちのメンバーは、デジタル技術の

プロフェッショナルであり、企業課題を 解決するために自身のスキルや経験

を最大限に発揮します。



進める中で 工夫したこと 業務理解を重要視し、従業員へアンケートを取り、担当者以外の方の考えも確認した。

実施概要

課題内容

DXを導入し、業務プロセスの効率化とデータ活用をしたい。

- 様々な課題があるが、着手する順番が分からない。
- DX視点での有効な施策が思いつかない。
- 加工管理している業界のソフト(filemakerで開発)のデータを分析し、生産の効率化と分析、課題を抽出したい。



実施した検討内容

フロント業務にボトルネックがあり効率化を検討

- 業務理解のため、ヒアリング調査を実施し優先度を考え、DX化のロードマップを作成。
- ロードマップのファーストステップを協奏した。

データの重要性、活用方法を共有

データの活用方法を議論し、指南書を作成。



検討の成果

業務プロセス課題改善のロードマップ作成: 業務プロセスの図式化を行い、課題を可視化し解決のためのロードマップを提案した。

データ連携システムの構築: 注文書をFMSに取り組む検討を行い、結果を共有した。

データ活用アプリを作成: データ活用方法の提案を行うと共に、データ可視化アプリを作成し、提供を行った。

有限会社 山崎マーク(製造業):デジタルを活かし、新たな価値を創造するものづくり企業へ

パターン①: デジタル化の可能性検討

実施内容の詳細

業務プロセス課題改善のロードマップ作成

様々な課題があるが、着手する順番が分からない。

データ連携システムの構築

フロント業務に多くの時間を有し、ボトルネックとなっている。

データ活用アプリを作成

● 加工管理している業界のソフト(filemakerで開発)のデータを分析し、生産の効率化と分析、課題を抽出したい。

成果

業務プロセスの図式化を行い、課題を可視化し解決のためのロードマップを提案した。

- 社長である山崎様のみではなく、従業員の方にもアンケートを行い、全社の課題を抽出し、図式化した。
- 課題を企業側と共有しつつ、施策案を提案し、優先順位をつけた。
- 上記の情報を元に今後の山崎マーク様の将来像を意識したフローチャートを作成し、提案を行った。

注文書をFMSに取り組む検討を行い、結果を共有した。

- フロント業務は序盤工程であり次工程のボトルネックとなっている。
- 繁忙期は業務時間内に対応しきれず、時間外労働により対応している。
- FMSの入力作業をDX化して課題の解決を検討した。
- フォームを作成し顧客がフォームを入力し、そのデータがそのままでFMSに連携できるシステムの提案をした。

データ活用方法の提案を行うと共に、データ可視化アプリを作成し、提供を行った。

- ヒアリングよりFMSによりデータを管理しているが活用方法が不明であることが分かった。
- そこで過去の実績データを提供いただき、チームで解析を行った。
- 得られた結果を共有し、有用性を理解いただいた。
- 企業内で同様の解析を可能とするためにアプリを作成、提供した。
- デジタル知識や煩雑な操作が不要で使用できることを意識して作成を行った。

MARUMORI-SAUNA株式会社 (サービス業):

需要と供給がミスマッチをしている状況下での、社会的効用の最大化を目指す仕組みづくり

パターン①: デジタル化の可能性検討

(都道府県)

丁夫したこと

参加者

企業



社名	MARUMORI-SAUNA株式会社
業種	サービス業
事業概要	豊かな自然の中に囲まれた、完全貸切・自分だけのプライベート サウナ体験を提供
所在地	宮城県



参加した 受講生 の概要



チーム名	ふわんとふぉーめいしょん
チーム人数	6人
スキル・PR	DXに必要なスキルの所持している人材がバランスよく揃っており、現状の課題分析から開発まで一気通貫でご提案
進める中で	課題内容の根本的な原因を企

模索した

業様と何度もヒアリングを重ねて

実施概要

課題内容

需要と供給がミスマッチをしている状況下での、社会的効用の最大化を目指す仕組みづくり

- 顧客特性を考慮した選定の仕組みが整っていない
- 無人でも安全安心な施設運営を行いたい



もやもやした 課題を明確化!

実施した検討内容

課題内容の現状把握のためのヒアリング

- MARUMORI-SAUNA株式会社に対してヒアリングを実施し、課題を抽出した。
- 各課題について評価軸でアイデアを深堀・収束させた。
- デジタルツール・AIを好きになってもらうためのGAS×ChatGPTハンズオン会を実施。
- 業務フロー図の作成と見える化により、メンバー間で現状の認識を合わせた。



わくわくしながら作った よ!

検討の成果

リピーターにさらに高い付加価値を提供する施策実施のための、顧客データベースを作成

- 1. 業務フロー可視化により業務内容の全メンバーの認識を合わせ、かつ自動化の可能性を見つけた。
- 2. 全業務フロー自動化システムの設計図作成により、自動化イメージを掴んで頂いた。
- 3. ChatGPTとGASを用いたハンズオン会によりAIとプログラムへの苦手意識を軽減。
- 4. GASによる顧客マスタ自動作成、自動化ツールの提供により、先方の顧客マスタ作成業務を効率化した。

MARUMORI-SAUNA株式会社 (サービス業):

需要と供給がミスマッチをしている状況下での、社会的効用の最大化を目指す仕組みづくり

パターン①: デジタル化の可能性検討

実施内容の詳細・成果

1.既存業務フロー可視化による認識合わせ

- 属人化していた業務のフロー を可視化。
- MARUMORI-SAUNAと関係 先との関係や、自動化できそ うなフローの認識合わせした。





業務フロー可視化イメージ

3. ChatGPTとGASを用いたハンズオン会

- GASを使ってデータを抽出する プログラムを、ChatGPTを活 用して作成するハンズオン会 を実施
- ChatGPTを使うことで初心者 でも簡単にプログラム可能な ことを経験した。





ハンズオン資料イメージ

2.全業務フロー自動化システムの設計図作成

- 既存SaaSから新たなシステム 開発時の設計図を作成。
- 今後、MARUMORI-SAUNA 様の事業拡大時にベンダーへ の提案書として利用する予定

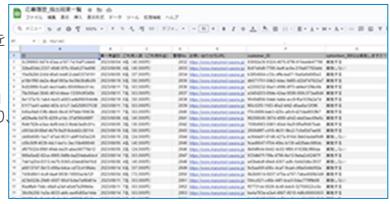




業務自動化アプリの設計図イメージ

4.GASを用いた顧客マスタ自動作成

- GoogleスプレッドシートとGASを 活用して予約システムの顧客 情報を集約。
- 来店回数の見える化、オプショ ンなどの傾向分析が可能になり リピーター顧客や新規アイデア の施策検討が可能になった。



顧客マスタ自動作成イメージ



社会福祉法人アイ・ティ・オー福祉会 (サービス業): 介護事業における情報一元化にむけた仕組みを構想

パターン①: デジタル化の可能性検討

参加者

企業



社名	社会福祉法人	アイ・ティ・オー福祉会

サービス業 介護・福祉 業種

三重県津市に拠点を構え、主に 介護老人福祉施設やデイサービ スの事業を展開しています

所在地

三重県 津市

(都道府県)



参加した 受講生 の概要



チーム名	カラフルナッツ
アーム石	13 フラフレブ フラ

6人

チーム人数

チームメンバー全員が子育て中 スキル・PR

のパパであり、家庭と仕事の両 立に日々悪戦苦闘中です

進める中で 丁夫したこと 企業様の状況を丁寧にヒアリン グを行い、メンバー間では Googleドライブ等を用いて迅 速に情報共有を行いました

実施概要

課題内容

介護事業における情報の一元化を進め、業務効率化を実現する仕組みを構想したい

- 情報の記録についてはアナログ的(紙・転記等)であり課題が多く残っている
- 情報の入力や蓄積・活用は業界特化型システムの導入を進めているが、仕組みの全体 像構想が明確化できていない



実施した検討内容

課題に対して現在の取り組み状況と今後のDX化の方向性を検討

- 現在の業務内容およびDX取り組み状況のヒアリングを実施し、拠点毎にデジタルツール の展開・活用状況に差があるため、拠点間差を埋める方策を検討
- 介護DXツールは多岐にわたるため効率的な情報収集方法について検討



検討の成果

スタッフのDX化の意識向上と拠点間差の縮小

- デジタルツール活用情報の拠点間での情報共有の提案
 - →各部門のデジタルチーム間の進捗確認、2月からの実用開始に向けた準備を完了
- 介護DXツール一覧で情報収集時間短縮提案
 - → 介護カオスマップを元に、必要なゴールマップの作成

アーダンリゾート株式会社 (サービス業) : 顧客体験の質を上げる「ひとつなぎDX」のロードマップ策定

パターン①: デジタル化の可能性検討

(都道府県)

参加者

企業



	社名	アーダンリゾート株式会社
	業種	サービス業
	事業概要	バンケット・ブライダル事業/レストラン事業/ホテル・観光事業/商品 企画・開発事業
	所在地	鹿児島県鹿児島市



参加した 受講生 の概要



チーム名	Team Odyssey
チーム人数	6名
スキル・PR	私たちのチームの持ち味を一言で表すと、 「常に新しいことを学ぼうとする情熱と、 積極的なコミュニケーション力」です。 私たちは、企業様が最善の意思決定を

進める中で 現地を訪問、企業様側と対面 工夫したこと でコミュニケーションを取ったこと

下せるよう精一杯ご支援いたします。

実施概要

課題内容

情報の多元管理と属人化

- 情報が、部署で分断・業務プロセスで分断されてしまい接客や次の受け入れに活用できていない
- デジタル化はある程度進んでいるものの、属人化や非効率な業務が残ってしまっている



実施した検討内容

ヒアリング、ディスカッションを通じたロードマップの方向性検討

- 経営層、DX推進部門との対話を通じてDX推進の課題事項整理を実施
- 将来的に理想とする姿や重要とする指標について議論を実施
- ディスカッションや受領した資料から、従業員向けの資料を作成する方向で決定



検討の成果

顧客体験の質を上げる「ひとつなぎDX」のロードマップ資料作成

- 定期的に現在地と目的地を確認するものとして活用出来る資料を作成
- 目的は従業員へ顧客情報活用の重要性を理解頂くことを中心として記載
- その他、個別の課題の解決案も提示

アーダンリゾート株式会社 (サービス業) : 顧客体験の質を上げる「ひとつなぎDX」のロードマップ策定

パターン①: デジタル化の可能性検討

実施内容の詳細

ヒアリング、ディスカッションを通じたロードマップの方向性検討

- 経営層、及びDX推進部門から現在の状況や課題についてのとアリングを実施
- 上記と並行して、受領した業務フローや課題の資料から取り組む べき課題の選定を実施
- 洗い出した課題から、ロードマップ及び最終資料の方針として、 「従業員向けに、顧客情報の利活用の重要性を伝える」資料を 作成することをディスカッションの上決定
- アーダンリゾート様が目指す「地域に愛される施設になる」という目標を達成するため必要な要素について提言を行い、その内容に沿ってロードマップ資料の作成を実施
- ロードマップとして、①顧客情報の活用 ②顧客情報以外のDX 施策 の2点を記載

成果

顧客体験の質を上げる「ひとつなぎDX Iのロードマップ資料作成

- 定期的に現在地と目的地を確認するものとして活用出来る資料を作成
- ターゲットとして、従業員へ顧客情報活用の重要性を理解頂くことにフォーカス
- その他、個別の課題の解決案も提示









サービス業:株式会社エルピダあおば

パターン1:デジタル化の可能性検討

参加者

企業



社名	株式会社エルピダあおば
業種	サービス業
事業概要	宮城県を中心に、建設現場で 活躍する建設機械のレンタル
所在地 (都道府県)	宮城県



参加した 受講生 の概要



チーム名	ブレインボルト
チーム人数	5名
スキル・PR	キャリア、スキル、年齢等が多様なメンバーで構成。 DXプロジェクトの推進経験のあ

進める中で 工夫したこと

・企業様の課題を徹底的にとアリングすること。

ム両面での検討可能。

る人材もおり、ビジネスとシステ

・各参加者のプライベートや取 組姿勢を重視。

実施概要

課題内容

既存顧客に対する営業の高度化および属人化された顧客情報の集約

- コスト削減ではなく、現状のリソースで更なる売上強化を重視
- 既存顧客との更なる紐帯強化および営業全体のスキル底上げによる営業力の向上が必要



実施した検討内容

顧客・営業管理のためのCRM/SFAツールの導入

- あおば様の課題に対するデジタルによる解決策を洗い出し
- その中で、中小企業向けの安価で使いやすいCRM/SFAツールを調査
- 最終的には、ツール紹介、費用対効果の考え方、導入~拡大までのロードマップを策定



検討の成果

ツール紹介、費用対効果の考え方、導入~拡大までのロードマップを策定

- ツールについては、Salesforce starterやSansan、Hubspot CRMを提案
- 費用対効果は、厳密な試算が難しいため、費用対効果の算出ロジックをご説明
- ネクストアクションを丁寧にご説明することで、社長のアクションや意思決定を後押し

サービス業:株式会社エルピダあおば

パターン1:デジタル化の可能性検討

レンタル費用の差異による利鞘の圧迫が進む

実施内容の詳細

顧客・営業管理の高度化を目的にCRM/SFAツールを調査

- 企業様を取り巻く環境調査や社長へのヒアリングを通して、課題の洗い出しと優 先順位付けを実施。
- 課題の解決策のアイデアを洗い出した結果、CRM/SFAツールの導入が最適な解決策と判断。
- 中小企業にとって開始しやすいCRM/SFAツールの調査を実施。



成果

ツールの紹介に加えて、導入~拡大までのロードマップを提案

- ツールについては、Salesforce starterやSansan、Hubspot CRMを提案
- 費用対効果は、厳密な試算が難しいため、算出ロジックをご説明
- ネクストアクションの提示 ~ 活用拡張までの進め方を提案



株式会社ココロココ (介護業):介護現場におけるバックオフィス業務のDX化

パターン①: デジタル化の可能性検討

参加者

企業



社名 株式会社 ココロココ

業種介護業

事業概要 住宅型有料老人木-ム、訪問

介護、福祉用具販売貸与、

居宅支援

所在地 (都道府県) 愛媛県

参加した 受講生 の概要



チーム名 アナーキーズ

チーム人数 6人

スキル・PR 医療関係者が複数いるため介

護業務に明るく、かつメンバー 全員がエンジニアであることが強

みです。

進める中で
丁夫したこと

デジタル人材不在の現場で、 地域企業協働プログラム終了 後もDXを進めていける基盤を 作ることに注力しました。

実施概要

課題内容

介護現場におけるバックオフィス業務の業務効率化に向けて、 デジタル化のロードマップを作成したい。

【バックオフィス業務】

介護保険請求業務/在庫管理/勤怠管理/処遇改善業務/住宅請求業務



実施した検討内容

- ・ヒアリング後にDX展開ロードマップを提示した上で、手付かずになっていて業務負担が重い「在庫管理」「請求書作成」にフォーカスしてDX策を検討
- ・EBMや地域包括を意識した新規事業、データ分析、勤怠管理システムの導入についても 別途提案した。

検討の成果

- ・ノーコードツールkintoneを使用した在庫管理アプリケーションの作成とハンズオンレクチャー MTGで一緒にkintoneアプリを作成していただき、動作確認まで完了した。
- ・kintone現場導入手順~今後の運用ルール、ROIについても資料にまとめた。
- ・活用できていなかったデータの活用方法、新規事業のアイディアてんご盛り、kintoneのプラグインを使った請求書作成も提案し、勤怠管理システムの比較検討とベンダーとの合同 MTG も実施。他拠点へのDX展開に向けて、全体のイメージが掴めたとのこと。

サービス業 (保育事業): スタイルクリエイト株式会社

パターン1:デジタル化の可能性検討

参加者

企業



社名	スタイル!	フリエイト株式会社
業種	保育事業	業
事業概	WEBコン	業を主軸として、 テンツ事業・ 業等を多角的に展開
所在地 (都道府	福岡県神県	逼岡市



参加した 受講生 の概要



チーム名	UPPERCat
チーム人数	6人

スキル・PR

お客様にとって真に【役に立つ DX】を掲げる、多種多様な背 墨のメンバー。マナビDXクTスト 成績優秀者多数在籍。

進める中で

毎週の打ち合わせで、現場の 工夫したこと 先生のために何ができるかを徹 底的に議論した。

実施概要

課題内容

「保育事業におけるDXの可能性を検討したい」

- エッセンシャルワーカーである保育業界のDXは未だ発展途上であり、現場支援が必要。
- 今回のプロジェクトでは、拠点間のコミュニケーションロスや、複数の業務アプリを導入した ことによる混乱、自治体との紙ベースのやりとりの煩雑さについて相談したい。



実施した検討内容

保育園の先生の働き方改革を支援

- ヒアリングをもとにお悩みを整理し、取り組むべき重点課題を選定。
- 企業とチームの二人三脚で現行業務の一覧表を作成し、分析。 今どこに時間がかかっているかを可視化するとともに、業務効率化の可能性を探った。



検討の成果

周辺業務の効率化 & 組織改革のすすめ & お役立ち知識の提供

- 現場の先生がより保育業務に専念できるように、周辺業務を効率化するためのプラン や、今後の組織にとって必要な組織改革について提言。
- 併せて、今回のご縁を生かし、異業種観点からTIPs(お役立ち知識)をお伝えした。

サービス業 (保育事業): スタイルクリエイト株式会社

パターン1:デジタル化の可能性検討

実施内容の詳細

保育園の先生の働き方改革を支援

保育園の先生がより生き生きと働けるよう、 現場の声に寄り添った エンパワーメント を実施。 自律的な働き方改革に向けてお力添えした。



事前勉強会

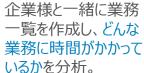
メンバーで情報収集 し、保育業界および 協働企業様について の知識を拡充。



② ヒアリング

お悩みを直接お伺い して、3つの大きな課 題に整理。その後、 園内で投票頂き、重 点課題を選定した。







それをもとに施策検討 を方向づけした。



施策提言& 知識提供

業務効率化のための アイディアと、実施に向 けたプランを提供。

右欄にて詳述。

成果

周辺業務の効率化 & 組織改革のすすめ & お役立ち知識の提供

業務分析の結果から、 保育業務と周辺業務を分類。 現場が保育に専念できるよう、

- 周辺業務の効率化
- 組織改革のすすめ
- お役立ち知識の提供 の3つの観点から提案をまとめた。

タイトル		概要	所要時間	発担核	改器亦物	優先度
シフト管理	eg.	各保育士の希望を優先した上でりつい課題を行っており、優先級 位などを管理した上で発売のウないシフト行成法を検討する必 着がある。	*	大	ф	ж
データ 管理	Excel スキャン データ	共有サーバのファイルとファルデ機成を完全し、ファイルが検索 し機いルールを作り、それを連進させる(需要化)。	ф	小中	*	Ф
	写真管理	日々構動する写真データが多く、容量がアンドン増えるため、粒 い何間で登録が必要になっており、特別がかかっている。	ф	ф	大	ж
SNSIQ	t.	連絡株のアプリ的に伴い、保育主が行うSNS内格の目的・検査 を見象し、保育士の実務施設化を検討するの変がある	ф	ф	*	я
アプリ 関連	選択の保育時間管理	保用時間間に対して作業が重要している部分が発生してお り、一位一切の作業時間は少ないが保険まさんだちの心的信息 が大さい。重要作業の洗いせんと実践可能心を無限を検討する 必要がある。	ф	×	*	ж
	書館運用の課題	アータ連用、超道用の混合によった業が回路としている。今後、 行政とのテリンリも5CT化することを発館したったで、関内の連 対力はの一分化を検討する必要がある。	ф	*	*	ж

周辺業務の効率化

シフト表作成やSNS投稿など、 保育業務以外でかかる時間を 圧縮する施策案を提供。 また、現行業務の要件を整理し、 業務アプリの統合を提言。



組織改革のすすめ

組織として取り組むべき課題が 「オペレーションの最適化」

であると考察し、そのために必要な ワーキンググループの構成・運営に 改善フレームワークや、牛成系AI ついてご提案した。



お役立ち知識の提供

異業種であるメンバーそれぞれの 視点から、今後使えるTIPs集 を ご紹介した。製造業における業務 の活用例・導入ガイドライン等。



株式会社大学サポート (サービス業) : インターンシップサービスのDX化構想ロードマップの検討

パターン①: デジタル化の可能性検討

参加者

企業



社名	株式会社大学サポート
業種	サービス業
事業概要	大学教育支援 新卒採用支援
所在地 (都道府県)	愛媛県松山市



参加した 受講生 の概要



チーム名	早起き同好会
チーム人数	6人
7411 00	夕米州に宣わい パー推出

スキル・PR

多様性に畠むメンハー構成 システム・AI・DXの実務経験 朝6:00から活動し、コツコツと 取り組んでいけるチーム

進める中で工夫したこと

『楽しく共に学んでいく』を大切にし、安心して意見を出し合える関係性の構築

実施概要

課題内容

インターンシップサービスの新規顧客獲得および価値向上による営業利益の拡大

- 企業にサービスの良さを認識してもらいにくく、新規顧客を獲得することが難しい
- サービスの価値を顧客に安く見積もられてしまうため、大きな営業利益に繋がらない
- 各案件に膨大なコストを費やしているが、どこから効率化すれば良いのか判断が難しい



実施した検討内容

サービスの価値を言語化して、顧客に伝え、さらに価値を磨いていくための方策を立案

- サービスの価値を言語化し、それらをうまく伝えるための方法やアイテムを検討する
- AI等の技術を活用することで、業務効率UPそしてサービスの価値向上を検討する
- 企業とサービスの強みを活かした新規事業を検討する



検討の成果

サービスの価値を伝えるコンテンツ整備、AIを活用した業務効率UPツールの開発を実施

- 価値を言語化し、ホームページやリーフレットによる情報提供の方法を提案した
- テレアポリストを自動作成するための、Webスクレイピングプログラムを提供した
- 生成AIを活用した学生レポートの自動採点システムを提案した

株式会社大学サポート (サービス業) : インターンシップサービスのDX化構想ロードマップの検討

パターン①: デジタル化の可能性検討

実施内容の詳細

インターンシップ支援事業における本質的価値の言語化

- ビジネスモデルキャンバスを用いた事業価値の整理
- 顧客インタビュー等によるカスタマージャーニー
- → 提供サービスにおける本質的な価値の言語化

サービスの価値をうまく伝えるコンテンツの整備

- 価値を簡潔に伝えるホームページへの更新検討
- 新規顧客の営業に用いるリーフレットの作成

業務フローの改善提案

- 業務フローから注力すべき仕事の抽出
- 顧客獲得のためのテレアポリスト作成の自動化
- 動画編集の外注についての検討
- 学牛レポートの**自動採点システムの検討**

新規事業の提案

- 情報発信の多様化
- 動画コンテンツサービス

成果

価値を簡潔に伝えるホームページへの更新

- ペルソナを設定し、求められる情報を精査した
- 顧客に刺さるキャチコピーを検討した
- 資料ダウンロード可能なホームページを構築した

サービスの特徴 学生の学びを重視したプログラムでインターンシップをサポートします これまで地元大学と一緒に、50社以上のインターンシップ(オンラインを含む)に取り組んできた結果、よりよい インターンシップを実施するためには「学生の学び」が必要だと考えています。 「学生の学び」とは、プログラムを適じて学生が「企業」や「仕事」について理解を深めることです。

テレアポリスト作成の自動化プログラム

- webスクレイピングにより営業用テレアポリストの 作成を自動化した(企業名/所在地を抽出)
- 従来6時間かけていた作業を削減した







新規顧客の営業に用いるリーフレットの作成

- 短時間でサービスの価値を理解してもらえる
- テレアポから直接商談前の間にサービスの詳細を知ってもらうことで成約率を上げる





生成AIを用いたレポート自動採点システム

- インターンシッププログラムの中で学生が提出する レポートの自動採点システムを提供した
- ChatGTP API(gtp-3.5-turbo)を用いた







株式会社チェリッシュスタジアム (-): コワーキングスペースUWAJIMA QUEST省人化プロジェクト

パターン①:デジタル化の可能性検討

参加者

企業



事業概要

社名

①飲食店(フランチャイズ CoCo

株式会社チェリッシュスタジアム

壱 番屋運営) 運営

②コワーキングスペース UWAJMA OUEST運営

所在地

愛媛県

(都道府県)

参加した 受講生 の概要



Fーム名	InnoHawk
------	----------

チーム人数

スキル・PR

製薬、医療、機械、電機、化学の各種分野の知見を持つ 6名のメンバーで構成されたチーム

進める中で工夫したこと

協働が終了しても企業が自走できるような土台作りを意

識した

実施概要

課題内容

省人化による利便性向上と交流の場として発信方法改善から顧客を増やしたい

- 一時利用のお客様に関して管理人不在でも対応できるシステムを導入したい
- 交流の場として、利用する顧客取得のために発信していきたい



実施した検討内容

- 一時利用者のための施策案の調査と地域のHUBとしてのコミュニティ形成方法の検討
- 一時利用者のための施策を提案したが、予算面で合わないため断念。要求を満たす代替案を提案した。
- 宇和島地域HUB戦略の深掘りを実施し、コミュニティ形成のための発信方法を提案した。



検討の成果

省人化の提案と地域HUBコミュニティ形成ステップを紹介

- •コワーキングスペース省力化のために予算条件に合うシステムを提案
- •地域HUB戦略の全体構想の提案
- -コミュニティ形成のための発信方法
- -コミュニティが自走できるまでのステップ

株式会社チェリッシュスタジアム (ー): コワーキングスペースUWAJIMA QUEST省人化プロジェクト

パターン①:デジタル化の可能性検討

実施内容の詳細

−時利用者の現状←握と各種ツール導入提案

·現状把握

非会員・ドロップイン利用の際は、電話はMSのみで受付しており、店舗状況によって対応できないことがある

・各種ツール導入提案

Airリザーブ、Square予約 むじんLock、スマート空間予約、スペースマーケット RESERVA予約

宇和島地域HUB戦略の深掘り

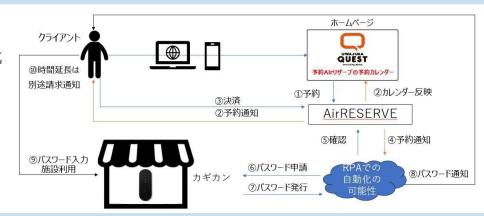
要旨

- UWAJIMA OUESTを地域の人の集いの場所にしていきたい
- 若い世代を中心とした地域活動の場を作りたい
- オフラインの活動を通して地域のメンバーが成長する
- オフラインとオンライン共に情報交換の機会が必要提案
- オンラインサロンを立ち上げオンラインのコミュニティをオフライの活動に繋げる。
- Noteと各種SNSを使った情報発信によるオンラインコミュニティの構築(生成AIを使った記事生成を含む)

成果

省人化のシステム提案

AirRESERVEを用いた 予 約・決済と入室時の 省力化 で、予約・顧客 情報の一元 管理を実 現

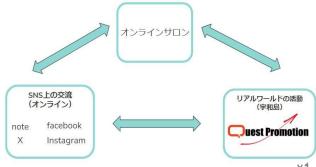


地域HUBコミュニティ形成ステップを紹介

オンラインサロン 立ち 上げのポイント

- 1,情報発信の方法を設定しサロンの存在を周知する
- 2, 人材や資金が必要な場合の集め方を設定する
- 3, 活用できるリソースについて考える
- 4, サロンとリアルな活動との繋がりを考える
- 5,活動内容やサロンの方向性を決める
- 6 , 活動やセミナーの企画案を作る

3要素のシナジー効果を目指す



株式会社琴平国際ホテル八千代 (サービス業 宿泊業):マニュアル作成、ファンマーケティングの検討

パターン①: デジタル化の可能性検討

参加者

企業



社名	株式会社琴平国際ホテル八千代
業種	サービス業 宿泊業
事業概要	1725年に創業した老舗旅館。 香川県琴平町初の温泉旅館。
所在地	香川県琴平町



参加した 受講生 の概要



チーム名	もず達の集い
チーム人数	6人

スキル・PR

(都道府県)

エンジニア、プログラミング講師、AIを研究する大学院生などの多様なメンバー構成。20代から30代前半のメンバーのため、フレッシュで勢いがある。

進める中で工夫したこと

3人ずつの 2 グループに分けることで、 手持ち無沙汰になるメンバーを発生 させないようにすること。

実施概要

課題内容

マニュアル作成検討

初期業務説明を効率化するために、業務マニュアルを整備したい。

ファンマーケティング検討

濃いファンを獲得し、リピーターの来訪数を増やしたい



実施した検討内容

マニュアル作成検討

どのようにマニュアルを作成し、どのように運用するかの仕組み検討を行った。

ファンマーケティング検討

八千代様から受領したレポートデータやオープンデータをもとに分析を行い、どのような打ち手が考えられるかの検討を行った



検討の成果

マニュアル作成検討

マニュアル作成や運用の仕組みを決定し、成果物としてサンプルの作成を行った。

ファンマーケティング検討

• SNS取り組みの強化(町単位での共通ハッシュタグ活用など)を打ち手として提案した

株式会社琴平国際ホテル八千代 (サービス業 宿泊業) : マニュアル作成、ファンマーケティングの検討パターン①: デジタル化の可能性検討

実施内容の詳細

マニュアル作成検討 / ファンマーケティング検討

- マニュアル作成検討
 - 課題感について八千代様にヒアリング
 - マニュアルの媒体を検討
 - マニュアル作成の流れを検討
 - マニュアルの運用方法を検討
 - マニュアルのサンプル作成
- ファンマーケティング検討
 - 課題感について八千代様にヒアリング
 - 八千代様から受領したレポートデータやオープンデータをもと に分析
 - 打ち手の第1弾として、町の外部資源を活用する方法を検討
 - 打ち手の第2弾として、SNS運用の強化を検討

成果

マニュアル作成や運用の仕組みを決定 / SNS取り組み強化を打ち手として提案

- マニュアル作成や運用の仕組みを決定
 - マニュアルの媒体は動画に決定
 - マニュアル作成の一覧の流れを提示(台本作成、動画撮影、動画編集、課題作成)
 - 台本作成についてはサンプルを提示
 - 動画撮影については注意すべき点を提示
 - 動画編集についてはソフトの使い方を説明する動画を作成
 - 課題作成についてはGoogle Classroomを活用する方法を提示
 - 八千代様から受領した動画素材をもとに、マニュアル作成の一覧の流れを実際に実施(サンプルの作成)
- SNS取り組み強化を打ち手として提案
 - ファンマーケティングのための打ち手として、SNS運用の強化を提案
 - 各SNSの比較を提示
 - 宿泊業を行っている他社がどのようなSNS取り組みを行っているかの事例を提示
 - 八千代様や琴平町の情報を発信する投稿内容のサンプルを提示
 - SNSの戦略として、町のハッシュタグの活用などを提案
 - SNS運用を行う中でどのような数値を目標として追いかけるべきかを提示

長州物産株式会社(サービス業): 予約管理システムのデジタル化可能性の課題

パターン①: デジタル化の可能性検討

参加者

企業

社名

長州物産株式会社

業種

サービス業

事業概要

観光客主体の接遇施設や大型

食事施設の運営、土産品や贈

答品の販売等

所在地

山口県

(都道府県)



参加した 受講生



の概要

チーム名

ねこキャン♪

チーム人数

スキル・PR

幅広いスキルと経験を持つメンバーが揃っており、女性が多いことが特徴。

企業様とのコミュニケーションを重視し、

伴走型で取り組んできた。

進める中で 工夫したこと

週1回の打合せや現地訪問、プロトタイプを使用いただくことで業務に関連するお困りごとやご要望をヒアリン

グできたこと。

実施概要

課題内容

紙の帳票による予約管理業務

- 紙台帳による非効率な予約管理業務
- 事務所(FAX確認)とフロント間(台帳保管)移動が頻発
- 属人化された予約関連業務



実施した検討内容

紙運用からの脱却とコスト削減施策の検討

- 課題の整理
- AsIs業務フローの整理/Tobe業務フローの作成
- 現地訪問、スタッフヒアリング
- デジタル台帳のPoC、スタッフ試用
- 費用対効果算出



検討の成果

予約業務1件あたり約32.3%の時間削減に資する結果を得た

- 台帳のデジタル化による業務効率化
- 帳票の自動作成による属人化の解消
- FAX/ReFax業務デジタル化により場所を問わず業務が可能
- 実用化を目指したロードマップの作成

長州物産株式会社(サービス業): 予約管理システムのデジタル化可能性の課題

パターン①: デジタル化の可能性検討

実施内容の詳細

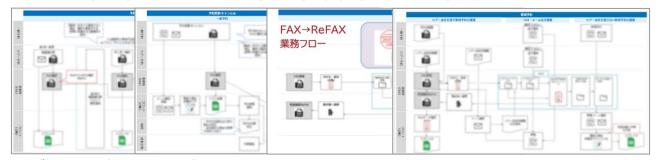
紙運用からの脱却とコスト削減施策の検討

- 課題管理表やQA表による課題の整理
- AsIs業務フローの整理/Tobe業務フローの作成
- 現地訪問、スタッフヒアリングにて現場の課題感やデジタル 化への温度感を確認
- Google Spread Sheet(以下スプシ)を使用したデジタル台帳のPoC、スタッフ試用、課題のフィードバック
- 現行業務とスプシ業務の作業時間を計測し、費用対効果 算出
- Tobe業務フロー実現のためのロードマップの策定

成果

予約業務1件あたり約32.3%の時間削減に資する結果を得た

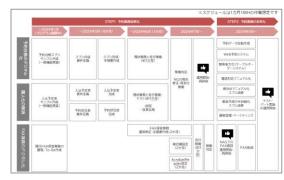
紙管理(AsIs)からデジタル化(ToBe)刷新業務フローを作成



• デジタル台帳PoCを作成



• 実用化を目指したロードマップの作成



費用対効果として現行業務及びスプシの業務時間を計測し、時間ベースで提示



キノンビクス株式会社(建設業):バックオフィス業務のDXによる働き方改革の推進

パターン1: デジタル化の可能性検討

参加者

企業



社名

キノンビクス株式会社

業種

建設業

事業概要

AV・ICTシステムソリューションの提案

から導入・保守・運用までのトータル

サポート

所在地

滋賀県栗東市

(都道府県)



チーム名

DX応援119

チーム人数

6人

スキル・PR

1. 製造現場に対しての改善

2. バックオフィスに対しての改善

DX 应接119

岸下,ミサ naka,sugi KONDO,sangu

進める中で
丁夫したこと

DX課題に共感し、一緒に検討・提案する

実施概要

課題内容

社内業務のペーパーレス化に着手したいが、推進方法が分からない

- ・まず何から検討を始めたらよいか分からない
- ・バックオフィスは兼務の社員も多く、検討に割ける時間が限られている
- ・実際の導入~保守にあたり、必要となるマンパワー、スキル、コストの見当がつかない
- ・社内での反発も予想される中で、社員のDX意識醸成の第一歩となる施策を考えたい



実施した検討内容

キノンビクス様自身でペーパーレス化を推進するためのロードマップを作成

- •目的の再確認
- ・現状の課題整理
- ・ペーパーレス化対象業務の精査
- ・チームメンバーの業務経験や事例の共有



検討の成果

ワークフロー・経費精算申請のペーパーレス化を、2024年中に着手~全社展開できる見通し

- ・ペーパーレス化導入~定着までのタスクおよびスケジュールの整理
- ・導入システムの候補提示

株式会社サンテックサービス

建設業

弊社課題の棚卸とDX化へのロードマップを前提とした人事評価システムの構築

パターン①: デジタル化の可能性検討

参加者

企業

STS

社名

株式会社サンテックサービス

業種

建設業 情報通信業

事業概要

ホームセキュリティ及び駐車場機器

の設置工事・修繕・保守メンテナン

大阪DXサポーターズ

スを行う総合建設業

所在地 (都道府県)

大阪府

6人



参加し た受講生 の概要

チーム人数

スキル・PR

全員が関西に在住しております。 オンラインだけでなく、対面での丁 寧なコミュニケーションや、貴社に て直接サポートすることもできます



進める中で 工夫したこと

実査に企業訪問し、対面での丁寧なコミュニケーション、直接サポート

実施概要

課題内容

課題の棚卸とDXを活用した人事評価システムの構築

- ・電気工事部門での人事評価基準の構築
- ・人事評価基準を活用しチームのモチベーションアップと協力し合う雰囲気の成熟



実施した検討内容

課題の洗い出しと深堀を行い、課題解決の方法を検討

- ・人事評価項目(定量、定性)の検討
- ・人事評価基準を導入にあたりチームビルディング、作業標準書作成の提案
- ・業務負荷削減のためのAppSheetを使用したツール導入



検討の成果

課題の解決に向けてのロードマップを提案

- ・人事評価項目導入、作業の標準化、業務のアプリ化を行うロードマップ作成
- ・AppSheetを活用して施工報告書や在庫管理アプリの雛形を作成し提案

株式会社サンテックサービス

建設業

弊社課題の棚卸とDX化へのロードマップを前提とした人事評価システムの構築

実施内容の詳細

電工チームの現状課題の棚卸

・ヒアリング (Q&A) を行いながら 電工チームの業務フローの理解、 課題の洗い出しを行い課題の優先度を決定

#	項目	詳細
1	チームビルディングできていない点	・現状ではチームに求心力がなく、 チームとして働く意欲がない状態である。 ・共通の目標、コミュニケーション等が欠けている。
2	スタッフのモチベーションの低下	・本来であれば2~3物件を並行して行う必要があるが、 1件のみの場合もある。 ・現状では不足分を協力会社に補填してもらっている。
3	協力会社からの不満	・協力会社のみの物件がある。 ・協力会社はしっかりと働き時間があれば 他現場の補助を行うが、正社員は補助を行う件数が少ない。
4	長時間のみなし残業	・45~75H/人のみなし残業。 ・土曜シフトのパス、 業務意欲減少の原因となっている可能性。
5	個人に作業が集中しているリスク	・業務集中している方が長期欠勤した際、 業務が回らなくなるリスク有り。 ・作業の引継ぎやデリゲーション(権限委譲)が行われない。



課題解決方法の提案

- ・課題解決に向けて以下 3 点を進める
- ①チームビルディングを行いながら チームと各個人の目標を設定
- ②書類のペーパーレス化
- ③作業の標準化
- ・①~③各項目の経営層と電工チームの タスクとゴールを設定し共有

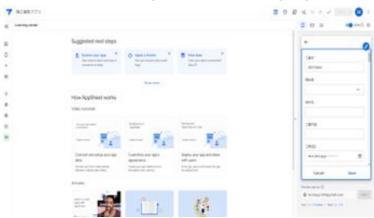
成果

人事評価基準とチームビルディングの進め方提案 ノーコードツール (AppSheet) を使用して業務のアプリ化、データ化の提案

・ガイドラインと評価項目の提案



・AppSheetを使用し 施工報告書と在庫管理のアプリ化提案



・活動内容のロードマップを策定し提案



88

株式会社 砂子組(建設業) : 『建設現場DX』の推進を支える、管理やクラウド化などのサポートDXロードマップ構築パターン①:デジタル化の可能性検討

参加者

企業



 社名
 株式会社 砂子組

 業種
 建設業

 事業概要
 土木建築工事

 石炭採掘販売

北海道

所在地 (都道府県)



参加した 受講生 の概要



チーム名	Alをこめて
チーム人数	6人

スキル・PR

- 経験: DXプロジェクト参加

- 専門性: 分析とAIモデル設計・検証

- 多様性: 幅広い業界メンバー

- 情熱: 明るく楽しく積極的なチーム

進める中で工夫したこと

- 事例をもとに提案

- 得意な分野を活かし調査を実施

実施概要

課題内容

現場事務所⇔施工現場の連携に関する課題

- データをリアルタイムで共有したい
- セキュリティ強化の一歩を踏み出したい



実施した検討内容

データの詳細

- 業務で使用するデータの調査を実施(データの保管、拡張子、サイズ、共有相手等)
- データの扱い方
- セキュリティの強度



検討の成果

拠点別点在データの在り方を見直し、業務効率化・盗難紛失リスク軽減

- クラウドを提案した
- 効果
 - 1.費用 2.利便性 3.管理用異性 4.盗難リスク 5.紛失リスク

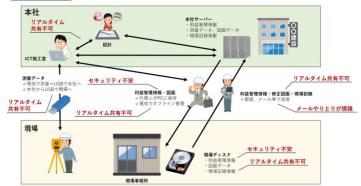
株式会社 砂子組(建設業) : 『建設現場DX』の推進を支える、管理やクラウド化などのサポートDXロードマップ構築パターン①:デジタル化の可能性検討

実施内容の詳細

セキュリティ/データ共有という方向から検討

- セキュリティの向上の検討の余地あり
- 利益管理情報
- 図面
- 現場記録情報
- データ共有の必要あり→現地でオフライン管理USBにデータを保存し本社と現場の共有
- 利益管理情報
- 図面(修正)
- 現場記録
- 測量データ

現状の姿、課題点

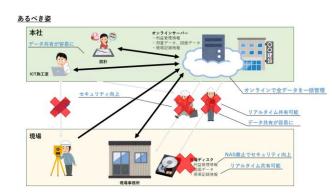


成果

拠点別点在データの在り方を見直し、業務効率化・盗難紛失リスク軽減

- クラウドの提案
- オンラインで全データを一括管理できる
- リアルタイムでデータの共有が可能になる
- セキュリティの向上
- 費用削減





クラウドを用いた場合の費用と得られる価値

■イニシャルコスト

6,244,000円

利用プラン 5,544,000円 (月額4,620円×12か月×100アカウント) 導入労務費 700,000円 (2人月×1か月) ※1人当たり年間420万円として計算

■ランニングコスト

5,544,000円

(月額4,620円×12か月×100アカウント)

■削減効果

2,880,000円 前記資料より(サーバリプレース・保守費用、現場ディスク費用、移動費、人件費等)

場所依存での働き刑改業

■得られる価値

スムーズな発注者対応 若手の勉強・過去データ参照の機会増加

建設業(業種):株式会社大石組

パターン①: デジタル化の可能性検討

参加者

企業



社名

株式会社大石組

業種

丁事業、水道施設丁事業等)、埋蔵

文化財発掘調查支援業務

所在地

新潟県長岡市

(都道府県)



参加した 受講生 の概要



チーム名

Last DX

チーム人数

スキル・PR

一番最後に結成された、社会 人と学生の混合チームで、多面 的な視点とチームワークで対応 します!

進める中で 工夫したこと

現状の業務フローを整理し、ボト ルネックと検討の優先順位を提 示した

実施概要

課題内容

勤怠管理をデジタル化することにより効率化を図りたい

- 工事現場の打刻は紙ベース、手入力で不便が多い。
- 現状、社内ワークフローの中に、紙ベースで行うことが多く、 $excel \rightarrow 紙 \rightarrow excel 転記のような作業が多い。$
- 新たな36協定への対応。

実施した検討内容

課題に対して、業務フローを整理し、デジタル化手法の提案を検討

- 現場に優しい打刻システムの導入。
- ワークフローの統一・経理清算業務の削減。
- 経営層と管理層はリアルタイムで全社の残業状況を把握することができる。
- DXによる全社ワークフローの標準化、効率化。

検討の成果

課題解決のための対策案と企画を提示出来た。

- 業務フローの提示(現状と問題点)
- 将来ビジョン(あるべき姿)
- デジタル化手法の提示 (課題対策)
- アクションプランの提示(計画)



Copyright © 2022 by Boston Consulting Group. All rights

株式会社大石組(業種):バックオフィス(管理部門)業務の効率化構想

パターン①: デジタル化の可能性検討

実施内容の詳細

課題に対して、業務フローを整理し、デジタル化手法の提案を検討

課題:DXによる全社ワークフローの標準化、効率化

- クラウドベースのプラットフォームを導入し、リアルタイムでのデータ 共有とコラボレーションを可能に
- AIや機械学習を活用したデータ分析により、プロジェクト管理の 効率化と意思決定の迅速化を図る
- セキュリティ対策を強化し、データ保護とプライバシーを確保

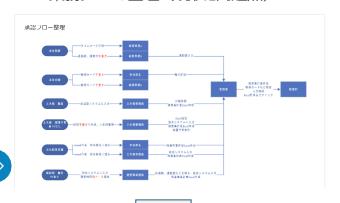
提案:デジタル化手法の提案

- 現場に優しい打刻システムの導入
- ワークフローの統一・経理清算業務の削減
- 経営層と管理層はリアルタイムで全社の残業状況を把握することができる
- DXによる全社ワークフローの標準化、効率化

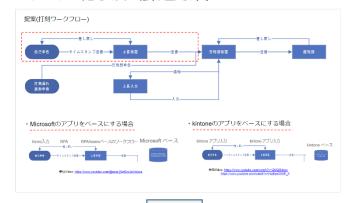
成果

課題解決のための対策案と計画の提示

業務フローの整理(現状と問題点)



 デジタル化手法(課題対策)



• アクションプラン (計画)



豊開発株式会社(建築業): ノウハウ形式知化に向けたノーコードツール導入検討

パターン1:デジタル化の可能性検討

参加者

企業



社名	豊開発株式会社
業種	土木·建設·基礎工事一式
事業概要	十木丁事(重仮設丁事・杭

事業概要 土木工事(重仮設工事・杭工事)の計画・計算、施工管理に特化したソリューション提供 大阪府

所在地 (都道府県)



参加した 受講生 の概要



チーム名	KANSAIアナリティクス
チーム人数	6名
7 5 11 55	☆ *** 1 % 1-1* 7-4=□.*** 田 /天1-1* 6

スキル・PR 産業機械・建設業界領域の 業務経験を持つ 関西圏6名の協働チーム

進める中で工夫したこと

認識の相違が発生しないよう 丁寧に認識合わせをしながら 検討を進めた

実施概要

課題内容

属人化しているノウハウをデジタル技術によりナレッジとして活用したい

- ベテラン社員が多くのノウハウを暗黙知として保有しており形式知化に至っていない
- 形式知化されたナレッジの所在がわかりづらく整理されていない
- 形式知化されたナレッジがデータとして活用できる状態に無い



実施した検討内容

ノウハウ形式知化に向けた課題整理とノーコードツール導入検討

- ノウハウ形式知化の課題を整理し優先順位を検討した
- 導入候補のノーコードツールについて比較検討を実施した
- 施工管理ノウハウ形式知化に向けたノーコードツールによるアプリのUI検討を実施した
- 施工現場のマップ検索機能実装の要望より、実装方法を検討した



検討の成果

全社視点での課題整理と優先順位の決定、ノーコードツールによるUIイメージ共有

- 全社視点での課題整理を実施し、優先順位を明確化した
- 導入候補のノーコードツール比較表を作成し、メリット・デメリットを明確化した
- kintoneによる施工管理アプリを提案し、将来の検討に資するUIイメージを共有化した
- Googleマップ活用による費用を最小化したマップ検索機能の実装方法を提案した

豊開発株式会社(建築業): ノウハウ形式知化に向けたノーコードツール導入検討パターン1:デジタル化の可能性検討

実施項目	実施内容の詳細	成果		
課題整理	ノウハウ形式知化の課題を整理し優先順位を検討した ・ 全社の業務プロセス単位におけるノウハウの形式知化について、現状把握と課題抽出を実施した ・ 課題への対応方針をもとに、重要度・実現難易度等の整理結果から、優先順位を検討した	課題整理シート	全社視点での課題整理を実施し、 優先順位を明確化した	
ノーコードツール 比較検討	導入候補のノーコードツールについて比較検討を実施した採用候補のノーコードツールについて調査し、機能・教材リソースなどの充実度や価格等の観点から比較検討を実施した	************************************	導入候補のノーコードツール比較表を作成し メリット・デメリットを明確化した	
採用候補 ツールによる UI検討	 施工管理ノウハウ形式知化に向けたノーコードツールによるアプリのUI検討を実施した 採用候補ツールを実際に利用し、検討してきた内容を反映させた施工現場確認用のアプリを試作した 試作したアプリを確認し、UIの検討を実施した 	施工現場確認アプリ	kintoneによる施工管理アプリを提案し 将来の検討に資するUIイメージを共有化した	
マップ検索機能実装方法検討	施工現場のマップ検索機能実装の要望より実装方法を検討した ・ 施工現場のマップ検索機能について、Googleスプレッドシートとマイマップを活用した実装方法を調査・検討した	マップ検索機能	Googleマップ活用による費用を最小化した マップ検索機能の実装方法を提案した	

名新パイピング株式会社様 (建設業):プラットフォーム構築に向けたRFPの作成支援

パターン①: デジタル化の可能性の検討

参加者

企業



社名	名新パイピング株式会社
業種	建設業
事業概要	建設業における管設置、管製 造を請け負う。社員数 約40名 年商 約18億円
所在地 (都道府県)	愛知県



参加した 受講生 の概要



チーム名	エクスプローラーズ
チーム人数	6名

スキル・PR

多様で多岐にわたる領域で経験を積んだメンバーが,専門知識を活かして総合的なソリューションを提供。

進める中で・ 工夫したこと・

- Onedrive,OneNote環境構築
 - →情報共有促進
- 資料を事前にビジュアル化
 - →議論促進

実施概要

課題内容

建設業・製造業のDX

- 属人管理となっている受発注情報・施工管理
- 自社を中心とした事業者間の情報最適化
- 新規事業としてのプラットフォーム構築の具体化



実施した検討内容

業務内容の洗い出し・課題の整理・解決策の検討

- 現場視察・ヒアリングを通じて現状把握と課題の深堀
- IT化で解決できる改善策の検討



検討の成果

プラットフォーム構築のためのRFPの整理

- プラットフォームの構築に必要なロードマップの提言
- 提案依頼書を作成できるように課題・解決策を整理
 - 課題・解決案のリストアップと、ビジュアル化を実施

名新パイピング株式会社様 (建設業):プラットフォーム構築に向けたRFPの作成支援

パターン①: デジタル化の可能性の検討

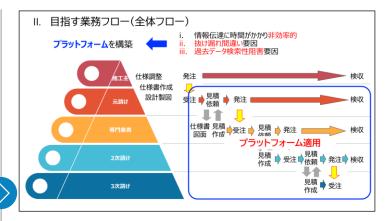
実施内容の詳細

業務フローをヒアリングにより整理

- 毎週の定例ミーティングで、課題の共有、目指すべき企業様の方向性を確認した。
- 現場ヒアリングを通じて業務の理解、現状の把握、課題の整理を行った。

成果

現状の業務フローの整理と、目指す業務フローの提案









現場ヒアリング

丁場視察

名新パイピング株式会社様 (建設業):プラットフォーム構築に向けたRFPの作成支援

パターン①: デジタル化の可能性の検討

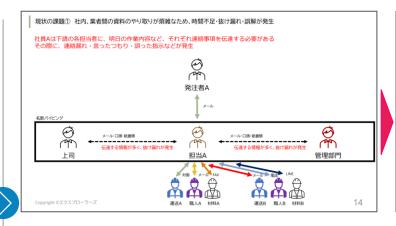
実施内容の詳細

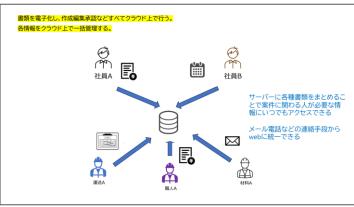
プラットフォーム構築に向けたRFPの作成支援

- 名新パイピング様を中心とした建設業・製造業のプラットフォーム を構築して、サプライチェーン全体で業務の最適化を図ることを目標とした
- ベンダーにプラットフォームの構築を依頼するにあたり必要となる現 状把握と目指す姿の棚卸を行い、成果資料を作成した。
- ベンダーへの依頼内容をまとめたRFP(提案依頼書)の作成に向けて、ロードマップの整理を実施した。

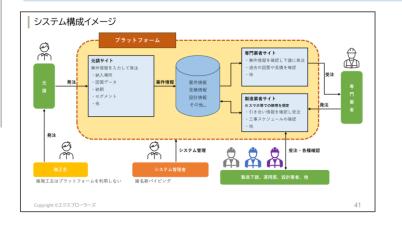
成果

課題と解決策





導入するシステム構成



(有) ゼムケンサービス(建設業):中小建設業の情報管理の効率化やデータ管理の一元化に関する検討

相談パターン: ①デジタル化の可能性検討

参加者

企業

Zm'ken

社名	(有) ゼムケンサービス
業種	特定建設業・一級建築士事務所
事業概要	建築の設計、施工

所在地

福岡県北九州市

(都道府県)



参加した 受講生 の概要



チーム名	きらめきDX隊
チーム人数	6名

生成AI・AIの活用/生産管 スキル・PR

理・品質管理/クラウドを活用 したITの経験/IoT見える化/ト

ヨタ式のカイゼン

進める中で

ゼムケンサービス様の立場に 工夫したこと立って「とことん」考えること。

実施概要

当業界で

議事録は非常に重要!

課題内容



- 議事録作成に時間がかかり、本来業務を圧迫。
- 特に新人は専門用語の理解不足で打ち合わせの理解に苦労。
- お客様とのコミュニケーションにおける小さな齟齬。



実施した検討内容

会議の音声からの書き起こし、情報抽出の実現性を検討

- 生成AIを用いて会議の動画・音声を書き起こし、検索可能なデータ化。
- 書き起こしたデータから生成AIで情報抽出、必要情報検索。
- 上記のパイプラインのプロトタイプを構築。
- 機密情報の安全性の確保。



検討の成果

生成AIを活用した議事録自動作成、ナレッジ蓄積・抽出方法の提案

- 実現方法の案を手法やコスト別に複数提案。
- 将来のサービス化を含めたロードマップを作成。
- 日々の議論を通じ、企業・チームともに多くのチャレンジ、マナビを経験。

(有) ゼムケンサービス(建設業):中小建設業の情報管理の効率化やデータ管理の一元化に関する検討

相談パターン: ①デジタル化の可能性検討

実施内容の詳細

困りごとのヒアリングから課題解決方向の模索

- 議事録で困っている背景や影響について深堀り、問題の特定と 真因の探索。
- 特定した問題と真因から課題解決の方向性を模索。

プロトタイプを体験していただきながら解決策の提案

- 会議等の音声データからの情報抽出を以下の2ステップに分けて 体感していただきながら、ニーズの微修正。
 - 1 音声からの書き起こし
 - ② 書き起こしからの情報抽出

実現方法の提案と簡易実装

作成したプロトタイプ

- ① PC上でプログラム実行
- ② ノーコードツールで自動化
- ③ クラウドを用いて自動化

導入ロードマップの作成と最終報告

• ワークライフバランスとワークシェアリングを経営戦略とするゼムケン サービス様が目指す未来に寄り添った導入案を提示

成果

真因の深掘りと本取り組みの方向性の合意

- 困りごとのヒアリング:顧客の業種の幅が広く専門用語が多いため、経験が議事録作成に影響。
- 問題の特定:会議から情報が保存・蓄積できていないことが問題。
- 課題解決の方向性:会議音声データから情報抽出をスコープとして設定。

解決策の提案とプロトタイプを使った感想のフィードバック

- 建築解説動画を用いて、音声からの書き起こしと情報抽出をデモンストレーション。
- 様々な解決案の中からゼムケンサービス様が使いやすいものを選択。
- 最終的にはゼムケンサービス様の実際の会議音声で実施し、実運用における課題と解決案を提示。

3種の簡易実装を体感していただきフィードバック







フィードバックを活かした導入計画提案、簡易見積もり作成。最終報告



(株) カネサ藤原屋 (卸売業):お酒の配送人員が不足している中、配送員の業務効率を上げるための改善方法を考えるパターン①:デジタル化の可能性検討

参加者

企業



社名	(株)カネサ藤原屋
業種	卸売業
事業概要	お酒の配送

所在地 (都道府県) 宮城県仙台市



参加した 受講生 の概要



チーム名	DX Harmony Explorers	
チーム人数	6名	

ションを実施

スキル・PR

様々な業種から集まったメン バーで構成、多角的な視点か ら地域企業様のDXを支援しま す!

進める中で

・経営層だけでなく現場の方の 工夫したこと 意見も集め優先度を決定 ・繁忙期で会議が難しい中、 ツールを活用し密なコミュニケー

実施概要

課題内容

配送員の業務効率化を目指したい

- 取引先からの注文がアナログ(電話またはFAX)
- 注文内容のシステム入力から商品発送までがほぼ従業員の手で行われている
- 配送員が不足しており、業務効率化が喫緊の課題



実施した検討内容

業務効率を上げるため各工程の課題を整理し、課題の優先度付けを実施 優先度1位の項目に対しDX導入含む施策案を提案

- 配送業の工程や各工程の困りごとをヒアリングし工程ごとの課題を整理/リスト化
- 各課題のビジネスインパクト、労働環境への影響を経営層、従業員にヒアリングし優先度を決定
- 優先度1位の「配送員不足」に対し、複数視点でDX導入含む施策案を検討/提案した

検討の成果

各工程ごとの課題と経営層/従業員の優先度を整理/リスト化 優先度1位の「配送員不足」に対し、施策案を提示。課題解決のきっかけを作った。

- ヒアリングから配送作業の工程と課題を整理。各課題に対し、経営層/従業員それぞれの目 線で優先度を記入いただき、本内容をリスト化(成果物1)
- 優先度1位の「配送員不足」に対し複数視点で施策案を整理(成果物2) 具体案を説明し、今後の課題解決のきっかけを作った。

100

(株) カネサ藤原屋 (卸売業) : お酒の配送人員が不足している中、配送員の業務効率を上げるための改善方法を考えるパターン①: デジタル化の可能性検討

実施内容の詳細

業務効率を上げるため課題を抽出、 最優先項目についての具体的な施策案を提案

- 業務効率を上げるための直近優先度が一番高い課題を見つけるため、配送業の工程と課題をヒアリング(経営層、従業員)
- ヒアリングから出た課題を工程ごとに整理
- 課題に対し、経営層にビジネスインパクト、従業員へ労働環境を ヒアリングしそれぞれの優先度を定量化
- 定量化された優先度から、「配送員不足」が最優先の課題であることを明確化。
- 「配送員不足」に対し、業種が異なるメンバー6名がそれぞれの視点で原因を上げ、それぞれ施策案を具体化しリストに整理
- 藤原屋様に内容を説明、ディスカッションし施策案の内容をブラッシュアップ、最終的な改善内容ご提案した。

成果

顧客が抱える課題を優先度含め見える化し、優先度の高い課題を明確化 優先度 1 位の課題に対し、DXを含めた解決案を提示した

- ヒアリング内容から各工程の課題と優先度を まとめたリストを作成
- 最優先課題の「配送員不足」に対し施策案を整理。アクションプラン、効果判定時期、想定予算等を提示した。
- ■配送員不足に対する施策案リスト(一部)

施策	飲食店開業支援	障害者雇用	女性・年配が働きやすい職場、脱属 人化(業務標準化)	配送員の魅力を伝える	作業負荷の軽減	お酒に関連する仕事のイ メージ改革
2果 <u>9五</u>	酒類の配送という実際の現場を知る機会がない、魅力が知られていない	配送員を担う人材イメージが限定されている。	・酒類の配送は力仕事の業務と認識 しているため、応募条件は35歳まで と年齢制限を設けターゲットを絞っ ている。 ※その一方で、必要な経験・知 識・技能等は不問としている。	応募者が配送業で働くイメージが適かない(わからない)	重労働作業の負荷軽減が できていない	お酒に関する仕事に対し てポシティブな印象が少 ない (気がする)
目標	今まで採用していた層とは違う層 の人材を確保し、配送員不足を解 消する。	陸がい者を雇用し、海傾配送業界 の人材不足解消と雇用機会の拡大 を図る	・酒類の配送業務について、主に若 い男性向けの職業というイメージか ら脱却し、性別や年齢を関わず活躍 できる、多様性を実現した組織作り を目指す。	配送業に興味を持っても らう人を増やす(配送業 に興味をもち、業配さん (こ応募する人数を増や す)	作業負荷を軽減する	お酒に関わる仕事の経験 があると魅力的であると 感じられる状態をつくる こと (お酒の楽しさや危 険性を正しく理解し、お 酒を楽しむ教養を身につ けられるメリット)
対策	配送希望の人員を募集するのではなく、飲食店を開業したいと思っている人に高端の知識やノウハウを覚えるための手段の一つとして申じ込を担償してもらえるよう。また、独立して飲食店を開業する際、カリカ (加速) 大学・大学・大学・大学・大学・大学・大学・大学・大学・大学・大学・大学・大学・大	し、求人案内や面接の進行、など を行う。業務内容や能力に合わせ て適切な仕事を見つけ、育成す る。また、社内の体制も整え、障 がい者が働きやすい環境を整備す	対策 1 ・体が勝負というハードルをクリア できる施策を構築できれば、女性や 35歳以上でも活錐できると考える。 施策: 国分町界隈の配達について 騰源度 恒分町店 (または借倉 庫) から各店舗へのラストウンマイ ルをパートやアルバイト下閉っ。 国分町本配送していた社員のリソー スを他業務へ活用できる。 ★/(ートの想定条件 ・国分町エリアを1日3名で配達 (領域が時間) ※人材構構のターゲットをパートに した理由 ・拘束時間が少なく (特定の時間帯	①配送業に興味を持って もらうことから目指す。 ②あある配送業社から 「なぜ乗配さんか」につ ながるようにする。	①重労働作業の作業負荷を終減する ・アシストスーツの導入 (重労働全般の補助) ・スマートグラスの、通明表示させて両手を開ける。 ヒッキング中部区域のカルートを表示させ場が経路 で配送する。何かごまりごとがあった際にスマートグラスで座塔する。何かごまりごとがあった際に入マートグラスで産塔する。任庫を表示した座管理の特定を上げる。	

(株)ありたや(卸売): DX推進による課題解決の検討

参加者

企業



社名	株式会社ありたや
業種	卸売り小売り
事業概要	住宅設備機器の卸売り リフォーム等での工事込みの住 設機器の販売
所在地 (都道府県)	大分県大分市



参加した 受講生 の概要



-	チーム名	アルゴ探検隊
	チーム人数	6人
	スキル・PR	多様な業界での多様な経験 値をもったメンバーで構成して おり、全フェーズを見通した一 貫した提案できる
	進める中で 工夫したこと	進め方、課題解決への方向性 などのイメージの認識ズレを無く す為に、資料化に努めた

実施概要

課題内容

発注〜納品までデジタル技術活用による、効率化と可視化を行いたい。

具体的な内容は、1)粗利の見える化、2)倉庫業務の見直し、3)配送業務効率化、

- 4)営業活動の見える化
- DXを進めるうえでのロードマップの作成



実施した検討内容

課題解決の方向性と実現可能性から検討課題を絞り込み

- 現状業務と問題点のヒアリング
- 各課題解決の方向性の認識合わせ,実現可能性の意識合わせ
- 検討課題の絞り込み



検討の成果

倉庫スペースを30%空ける為の方策を提案した

- 商品の倉庫への入出庫状態を可視化し、回転率の悪さを確認した
- 入出庫期間が長期化している状態も可視化した
- 営業側への改善依頼の為の滞留商品のリストアップ方法をPythonコードで提供した

株式会社キムラ(卸売業):デジタルシフト推進プロジェクトパターン①: デジタル化の可能性検討

参加者

企業

社名

株式会社キムラ



業種

卸売業

事業概要

住宅資材を中心とした卸売、不動産賃貸、 子会社によるホームセンター経営、子会社 に よる建築足場レンタル、子会社によるガ ラス・サッシ・建具丁事と施丁

所在地 (都道府県)

北海道



参加した 受講生 の概要

チーム名

あしがる

チーム人数

5人

スキル・PR

多角的な専門性、"経営者 目 線"の戦略、多様性の3つを兼 ね備えたチームです。独自の多 角的視点で解決!



進める中で 工夫したこと

毎週対話の時間を設定し、 原案を持って話し合いに臨 み 、いただいたフィードバ ックを活 かしていったこと

実施概要

課題内容

業務効率化を目指してDXに取組むチームを立ち上げたばかりである

・デジタルツールの整理をはじめ、アナログ作業となっておる受発注のデジタル化 など、DXの推進に向けた助言や協力をいただき、DXロードマップを構築したい。



実施した検討内容

デジタルシフトに向けた現状分析、目指すべき方向性の検討

- ・SWOT分析・バリューチェーン分析・PJメンバーへのアンケート実施
- 分析結果よりDX化の第一歩として人財育成内容の検討、具体的事例として業務効率化検討
- ・毎週の検討によりキムラ様にとって必要な人財育成要素を検討、ロードマップ作製
- ・先進的な営業所と連携し、業務効率化の事例として受発注業務の自動化を検討



検討の成果

実行力のある人財育成ロードマップの提案

- ①社内デジタルシフト風土改革、②社内DXリーダー育成、③社員のデジタル知識向上の、3つを柱とする人 財育成プランを提示し、1年ごとのマイルストーンを設定、各項目の実行責任を設定し、DXを進めるための具 体的なプランを実行力のある形で提案した。
- 特に①の風土改革についての懸念が大きかったので、考えられる限りのアイディアを提案し、話し合いを重ね る中でキムラ様に即したプランを提案した。

株式会社キムラ(卸売業):デジタルシフト推進プロジェクト

パターン①: デジタル化の可能性検討

実施内容の詳細

将来のDX化に向けた体制構築の第一歩として人材プランを軸に検討

- ヒアリングにより先方の課題分析
- SWOT、バリューチェーン分析による現状分析および優先すべき 課題の抽出
- プロジェクトメンバーへのアンケートを通した目指す方 向性と取り組むべき優先度の再確認
- 人材育成、特に風土改革への取り組みを軸にディスカッションにより実行すべき内容の深堀
- チームあしがる、(株)キムラの双方からのアイデア出しに よるロードマップ案作製。
- ロードマップのブラッシュアップにより実行性の強化
- 具体的事例として先進的な営業所と連携し、業務効率化 受発注業務の自動化を検討⇒結果的に断念したが、この 検 討内容も取り組むべき方向性の理解、育成プランの重 要性に つながった。

成果

今後の3年間で実現可能な実行力のある人財育成ロードマップの提案育成

- 相互コミュニケーションにより目指すべき方向性を確認、キムラ様に合う独自のプラン ニングと実行する ことを意識して意見を出し合うこで 3 点にフォーカスしてロードマッ プとしてまとめることができた。
- ①社内デジタルシフト風土改革、②社内DXリーダー育成、③社員のデジタル知識向上の、 3つを柱とする人財育成プランを提示し、1年ごとのマイルストーンを設定、各項目の実 行責任を設定 し、DXを進めるための具体的なプランを実行力のある形で提案。

人財育成プランロードマップ(案)	実行責任者	1年目	2年目	3年目
社内デジタルシフト風土改革		目標:各企画の実行率100%	目標:デジタルシフトアンケート評価 ポジティブ(4.5) 70%	目標:デジタルシフトアンケート評価 ポジティブ(4,5) 90%
経営層からのメッセージ 木村常務よりデジタルトビックスの共有	社長/常務		年初に社長よりメッセージ 隔月で木村常務よりデジタルトピックフ共有	年初に社長よりメッセージ 隔月で木村常務よりデジタルトピックス共有
現状把握:アンケート実施(DX意識調査、取得済み資格)	00さん サブ(00さん)	初回アンケート実施(2月) 11月にアンケート実施、分析、来年の活動検討(12月)	11月にアンケート実施、分析、来年の活動検討 (12月)	11月にアンケート実施、分析、来年の活動検討 (12月)
成功体験共有(日常業務の効率化、PJ事例)、分析	00さん サブ(00さん)	共有内容検討、年2回の共有(6月、12月) PJによる事例分析	共有内容検討、年2回の共有(6月、12月) PJによる事例分析	共有内容検討、年2回の共有(6月、12月) PJによる事例分析
デジタルコミュニティ設立(積極的な繋がりの場を提供) (DXの取り組み、DX戦略ワークショップを含む)	00さん サブ(00さん)	4月設立日標、活動美施、12月に参加者および円(切評価(以音、紙 結 ホル)	活動 12月に参加者およびPJでの評価(改善、継続、中止)	活動 12月に参加者およびPJでの評価(改善、継続、中止)
デジタルシフト推進室(仮称)設置検討・設立	常務	役割および設置産業検討、設置判断	人事発令による推進準備室の設置、運用、評価 (1名専属、他兼任のイメージ)	リーダー育成プログラムより優秀者の配属 デジタルシフト推進室の本格運用(3名体制)
社内DXリーダー育成		目標:各企画の実行率100%	目標:DX推進人財を全社員の1割	目標:DX推進人財を全社員の3割
アセスメント・教育プログラム実施	00さん サブ(00さん)		全社員アセスメナ + 教育プログラム実行 アセスメント結果 および自 常・他常による選抜	選抜教育プログラム実行
PBL研修・評価(重点:チームワークと問題解決能力)	00さん サブ(00さん)	10月 マナビDX Quest 参加、全員ゴールドバッチ獲得 12月に経験の社内共有	希望者のPBL研修参加推進 マナビDX Quest参加、経験の社内共有	希望者のPBL研修参加推進 マナビDX Quest参加、経験の社内共有
社員のデジタル知識向上		目標:自主的:学ぶ社員3割	目標:自主的に学ぶ社員5割	目標:自主的に学ぶ社員7割
外部ITスキル向上セミナー(実践的な内容)	00さん サブ(00さん)	2-3月 実務に必要なセミナー選定、4月以降実行、年2回ほど セミナー後に活用事例の収集、分析⇒成功事例共有へ	年2回実施、セミナー後に活用事例の収集、分析 →成功事例共有へ	年2回実施、セミナー後に活用事例の収集、分析 →成功事例共有へ
リバースメンタリング(仕事の効率化:Excel、Word活用)	00さん サブ(00さん)	2-3月 実施内容、実施者の検討、4月以降実行、トライアル実施 数回のトライアル後、継続に評価	継続の場合、年2回程実施、活用事例収集 ⇒成功事例共有へ	継続の場合、年2回程実施、活用事例収集 ⇒成功事例共有

株式会社宗家くつわ堂(卸売業):業務効率化を目指した全社DX構想ロードマップの検討

パターン①: デジタル化の可能性検討

参加者

企業



社名	株式会社宗家くつわ堂
業種	卸売業
事業概要	「瓦せんべい」をはじめとした 菓子製造販売
所在地 (都道府県)	香川県高松市



参加した 受講生 の概要



チーム名	守備範囲広(ヒーロー)ズ
チーム人数	5名
スキル・PR	私たちは業界業種を超えた 幅広い経験を持ったチーム

進める中で 先方の理解をおざなりにしな 工夫したこと いようツールの変更や質疑応 答などを実施した

です!

実施概要

課題内容

資料の転記の自動化を行い余裕があれば販路拡大を検討したい

- 会計資料から会議資料への転記が手作業で時間がかかっている
- オンライン販売で一定の顧客データはたまっているが,実際にデータを活用する手段としてのリソースが現状ない



実施した検討内容

扱いやすく効率の良い転記手法の調査、ヒアリングを通して課題の発見、データを用いたアプローチの模索

- RPAツールの調査を実施
- 課題発見のためのヒアリングと卸売, 小売業に対するDX事例の調査



検討の成果

手作業であった転記作業が自動化し省力化が行えた

- VBAと解説資料の提供に加え、実際に使用しやすいxlsxファイルも提供した
- 製品だけでなく先方の理解の補助も行った

株式会社三益商会(卸売業):2026年新社屋建設に合わせたDX化推進のロードマップの検 討

パターン①: デジタル化の可能性検討

参加者

_	عللد	
4 1	<u> ~ 포</u>	
ш	_*	

MIMASU

社名 株式会社三益商会

卸売業

コンベアベルト・伝動ベルト・エンジニア 事業概要

リングプラスチック・丁業用ゴム製品など

の加丁販売

所在地

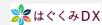
業種

大阪府大阪市

(都道府県)



参加した 受講生 の概要



	はぐくみDX
チーム人数	6名

・多様な専門領域に精通したメンバー スキル・PR

構成で、チームの多様性が強み ・各業界で業績向上に寄与する

プロジェクトへの参加経験

進める中で 丁夫した 22

・企業様とのコミュニケーションを大事に し、現地訪問も実施

・協働中から企業様で勉強会などを実 施してもらい、終了後にスムーズに推進

できる基礎固めを実施

実施概要

課題内容

DX化を進めたいが、何から始めてどの程度まで進めるかが分からない

- 様々な面で昔ながらの手法が残っている(紙ベースの運用)
- 各担当者の商談が個人ベースの管理
- ノウハウや技術の伝承が不十分



実施した検討内容

各種ヒアリングから全社視点で課題を抽出し、打ち手を検討

- 各担当者への質問及び現地訪問を実施して、業務フローを作成
- 次期経営者の理想・思いをヒアリングし、理想像の言語化・具体化を実施
- 現状に合わせた各種ツールや、デジタル化・DX化に関する教育資料の調査



検討の成果

各課題の解決案の提示とDXロードマップを提案

- 抽出した11の課題に対して解決案を提案した
- 各解決案の体系立てて整理したDX化推進ロードマップを提案
- 勉強会や5Sを実施していただき、DX推進の基礎固めができた
- 社長や従業員の皆様に向けた最終報告会を実施

株式会社三益商会 (卸売業): 2026年新社屋建設に合わせたDX化推進のロードマップの検討

パターン①: デジタル化の可能性検討

実施内容の詳細

各担当者への質問及び現地訪問を実施して、業務 フローを作成

- 質問リストへの回答やヒアリング結果から、業務フローを 作成
- 企業側で業務フローの確認、修正を実施
- 業務・データの流れを把握して、全社視点で課題を特次期経営者の理想・思いをヒアリングし、理想像の言語化・具体化を実施
- Web会議によるヒアリングに加えて、現地訪問で担当者(次期経営者)及び社長との面談を実施
- 特定した課題の優先順位を明確化して、ロードマップを作成.

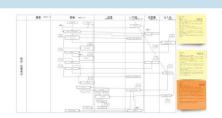
現状に合わせた各種ツールや、デジタル化・DX化に 関する教育資料の調査

- Web会議によるヒアリングに加えて、現地訪問で担当者 (次期経営者)及び社長との面談を実施
- 特定した課題の優先順位を明確化して、ロードマップを 作成
- DX関連の学習用資料を作成し、DX勉強会を提案

成果

業務フローを作成し、課題を特定

- 業務全体の業務フローを作成し、業務の可視化を 行った
- 業務フローから、各分野ごとに合計11の課題を特定した



課題の解決案提示と、デジタル化・DX化の勉強会開催及び5S実施の提案

- 抽出した11の課題に対する解決案を提示
- 企業様で合計10回のDX勉強会及び5Sを 実施



理想像を把握して、DX化推進ロードマップを提案



70	AMENS	部門・業務ごと効率化	エンジョイ・ワーク 仕事を楽しみ、気持ちよく優こう! の知	
経営 西方田本のニーズを中枢	非計プロセス整理 電子帳等保存さへの対応	用理器製造北地率化 位入规模分异准道可改而	システム改革情	
の情報のユービスを の情報のユービスを でき	データ基数数据・データベース、ヤステの整理	データ製用		
業務効率 デジタル化	F5987-808H	業務フローのグジタル化		
チンタル化 高級株のデジタル化。板 情報連系を行うことで、	ベーバーレスに鍛えた資料の仕分け(他、電子)	ツール検討、マニュアル作成	バーバーレスの効果実定 在非質なソールの検討(在非確認定の場合)	
7展工数の削減を実施す	在海管理系作成名xcel	クラウド上に保存・法用		
含葉のデジタル化 MRSOUREDEE-II	- 京東管理仕組みた - 副本間を管理仕組みた	育業ノウハウの法用、デジタル化、自動化、分析	ゲータを活用した新規納名権利	
DESTRICTED TO SERVICE OF THE PROPERTY OF THE P	Webサイト制限(Web上の製け間の改進)	新規は30年上載・トライアル・効果機は・評価収易(データ分乗)		
医人化解消 人材育成	乗用マニュアルの整備 完成度UP・消耗	ノウハウの蓄積・データ化	ノウハウの有效法可方法検討	
/つハウを月をし、特定 ウスに対心学業務を表	プレッジ・コミュニター フールの導入・活用 ションツールの調査	9x70-9-5t	シの英語	
をできるにようにする とを申るにあった。	スキル税制	人材有线和欧の模立 DX接著(集門)	人村茯香実施	
他のに自己が確かける もような性能みを整える	AREM IT/OXIDERIS	全社員のIT/DXIIIII DX	人材理師	
- 1	ステップ1		記憶放 ステップ3 新社能	
	2024年 (デジタイピー(1977)	2025年 (デジタグ(ニッタン)	2026年以降	

太平洋興産株式会社 (卸売業):配送の見える化と関連業務簡略化によるDX推進パターン1:デジタル化の可能性検討

参加者

企業



社名	太平洋興産株式会社
業種	卸売業

住宅資材の専門商社 事業概要

所在地 (都道府県) 北海道 旭川市



参加した 受講生 の概要



チーム人数

スキル・PR

全齢や経験業種に幅がある ため、多角的な意見や業務 経験者では思いつかないよ う なアイデアを出すことが出

来ること

進める中で 工夫したこ

Slackでの資料共有等をこまめに 行い、認識の差を無くすよう心掛 けました。また、ファシリテータを統 一することで議事進行で手間 取ら ないようにしました。

実施概要

課題内容

配送状況の見える化アプリを作成したい

- 達成目標:製品がどこにあるか、何分で着くかを営業から確認できるようにしたい。
- アプリ概要: QRコード読み取りによる配送状況の確認

チャット機能により、配送状況の確認・問い合わせタ

イムライン機能による、会員様向けの情報発信



実施した検討内容

アプリ作成に関連する内容調査

- 見える化を行うための具体的手法に関する調査を実施
- アプリの内容について、企業様とヒアリングを実施し、課題の抽出を実施
- ヒアリングの過程で、SQLに関する要望があり、SQLに関する調査の実施



検討の成果

アプリ作成に向けたロードマップ、SQL・DBに関する資料の展開

- 期間内のアプリ作成は難しかったため、 アプリ作成に向けたロードマップを提案し、展開した。
- SOL・DBに関する内容をまとめた資料を展開した。

太平洋興産株式会社(卸売業):配送の見える化と関連業務簡略化によるDX推進

パターン1: デジタル化の可能性検討

実施内容の詳細

アプリ作成に向けたロードマップ作成を検討

- ヒアリングを通じて、アプリを作成する上で必要な技術や情報 などをピックアップし、ロードマップを作成。
- ヒアリングしていく過程でSQLに関する資料が必要だと感じたため、追加でSQL・DBに関する資料を作成。

成果

アプリ作成に向けたロードマップ、SQL・DBに関する資料の作成

- ヒアリング内容から配送の見える化アプリ作成のためのスケジュールや、 アプリ作成のための動体管理システムの提案、API連携方法などの情報共有した 資料 の提示
- ヒアリング内容からSQL・DBに関する資料として、データベース(DB)の仕組み、リレーショナルデータベースについて、SQLの説明、SQLの業務活用に関する資料の提示



・ロードマップ資料抜粋

・SQL・DBに関する資料抜粋



データベース(DB/Data Base)とは? ①



炭平コーポレーション株式会社(卸売業): Microsoft365環境の活用による効率化

パターン①:デジタル化の可能性検討

参加者

企業



社	土名	炭平コーポレーション株式会社
美	美種	卸売業
事	事業概要	主にBtoBの事業で建材卸売 業がメイン。生コン事業、各種 工事の施工管理も行っている。
' '	f在地 都道府県)	長野県長野市



参加した 受講生 の概要



チーム人数

スキル・PR データ分析・統計解析,

SaaS/クラウド利用, AIモデル 構築, ITシステム開発, 最適 化

7 th 75

進める中で メンバーの個人・会社における 工夫したこと Microsoft環境の経験を生か した提案を行った。

実施概要

課題内容

課題のヒアリング:アナログな仕事からデジタルな仕事への変化

- 仕入れ先, 単価情報のDB化による見積もり作成効率化
- 職人のデータベース作成による工事発注の効率化
- 申請書類が紙ベース
- 通知が To:all のメールベース (Teamsの活用)



実施した検討内容

Microsoft365のサービスを組み合わせた活用について検討

- Teams, SharePoint, PowerAutomate, Forms, Lists等の活用事例紹介
- M365活用の例として、職人DB作成で発注した仕事をListsでデータ化
- Teams承認機能, FormsとPowerAutomateを組み合わせた承認機能の提案



検討の成果

社内フローのペーパーレス化, 脱ハンコの提案を行った(2種類の解決策を提案)

- 紙ベースで行われている新規取引先の押印による承認をデジタル化
- Teams承認機能を使ったフローの実例提示,承認データの取得を提示
- FormsとPowerAutomateを組み合わせたフローの提示
- 申請時にFormsベースで追加情報の取得, DB化も提案
- SharePointフォルダにファイル格納されたことをトリガーに承認フロー回付を実装

炭平コーポレーション株式会社(卸売業): Microsoft365環境の活用による効率化

パターン①:デジタル化の可能性検討

実施内容の詳細

Microsoft365環境の活用を検討

企業様と週に1回定例mtgを行い、課題Lアリングや提案を実施

▼プロジェクトを振り返り、「良かった」と思うポイント

①はじめに「プロジェクトの範囲・ゴール」をすり合わせていた点 限られた時間内で何をすべきか、企業様とチーム内で共通認識 を持つことができ、スムーズなコミュニケーションをとることができた



Quick Win

(小さくとも初期段階における成功実績)を方針として進めた

②現場の声を反映させながら、提案内容を変更した点

職人DB作成のため、当初は営業社員に職人の評価を入力してもらう案を提案していたが、営業社員の協力が必要になってしまうため、現行フローを活用した提案に変更した(「Quick Win」の方針!)

成果

社内フローのペーパーレス化, 脱ハンコの提案を行った(2種類の解決策を提案)

現行フローを活用することで、社員にかかる工数を変えずに職人データを貯める方法を企業様とともに検討

⇒紙で行っている申請承認を電子化、将来的には申請データを職人データベース作成に利用することに!



小売業:社内情報共有の効率化に向けたデジタル化可能性検討

相談パターン:デジタル化の可能性検討

参加者

企業

社名	益田三菱自動車販売株式会社							
業種	小売業							
事業概要	三菱自動車の正規ディーラーとして、 設立から46年。近隣の法人・個人 顧客を対象に、新車販売や整備業 を営む。							
所在地 (都道府県)	島根県 益田市							



参加した 受講生 の概要



チーム名	DX水先案内人
チーム人数	5人

スキル・PR

保有資格は多岐にわたり、メンバーの半数が昨年のプログラムにも参加経験あり。

進める中で工夫したこと

クライアントのITリテラシーを考慮し、 できるだけ煩雑でない手順とシステムを心掛けた。

実施概要

課題内容

日々の営業活動をデジタル化し、営業部隊の活性化を図る。

- 業務フローが紙ベースの運用となっており、DX化の障壁となっている。
- 毎日の進捗確認が紙および口頭したものをPCに入力しており煩雑。
- 日々の営業活動結果が基幹システムから出来ず、月末の集計まで個人別の営業成果を把握することができない。



実施した検討内容

ダッシュボードによる営業概況の見える化と営業活動実績表のデジタル化

- 営業管理に関するデータを一つのExcelファイルに集約。ダッシュボードにまとめて営業概況の見える化を実現。
- 現在紙ベース管理となっている営業活動実績表をスマホによる入力でデジタル化を実現。



検討の成果

営業管理業務の効率化とDX推進への意識の変化

- 既存の営業管理業務の効率化を実現。1/2~2/3程度の工数削減を実現。
- 本プロジェクトを通じてクライアントの社内のDX推進への意識変化が期待できる。 (例) 別部門でもデジタル化検討、会社全体のITリテラシー向上の推進。

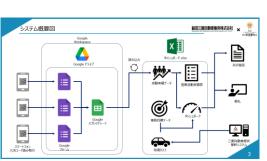
小売業:社内情報共有の効率化に向けたデジタル化可能性検討

相談パターン:デジタル化の可能性検討

実施内容の詳細

ダッシュボードによる営業概況の見える化と 営業活動実績表のデジタル化

- Excelを用いたダッシュボードを作成し、営業活動の見える化。 営業活動実績概況がリアルタイムで把握できるようになった。
- Google Formを用いて営業担当者がそれぞれのスマホ端末から 日々の活動実績を入力できるようにした。
- 同システムで活動実績表も作成することができ、営業担当者の活動実績の把握が容易になった。
- 月末の集計作業も自動的に行われるので、月末の報告書作成作業も省力化できるようになった。
- クライアントのITリテラシーとクライアント自身でメンテナンスすること が必要になることも想定されることも踏まえて、出来るだけ煩雑で ないシステムとした。





 上記にあわせてクライアントの今後のロードマップも作成した。
 今回は営業活動のデジタル化を推進したが、今後は修理部門の 入庫や納車の管理もデジタル化を推進していく。

成果

営業管理業務の効率化とDX推進への意識の変化

●業務の効率化

	導入前	導入後
入力	朝会で活動実績を口頭で確認	営業担当者がDailyをスマホからGoogle formで実績を入力
出力	実績表をプリントアウト後、口頭確認したものを 手書きで集計	営業実績をダッシュボードで共有

項目	導入前	導入後	効果
朝礼時間	15分~ 30分	10分以内	朝礼時間が最大で従来の1/3になる。 ※これまで朝礼時間が長く、客先対応に支障をきたすこともあった。
集計作業時間	2day* 2人	_	集計作業がほぼなくなるので、この時間を別の業 務に割り当てられる。
会議資料作成時間	2h~半日	1h程度	従来の1/3~1/2の省力化

●社内の意識の変化

- ・営業部門がこれまで慣習だった業務をペーパーレス化することで、会社が変わっていくことが実感できる。 ⇒会社全体がDX化に対して、前向きに取り組むようになることが期待できる。
- ・計員にスマートフォンやタブレットを支給し、本ツールも活用していく。
- ⇒会社全体のITリテラシーの向上も期待できる。

株式会社オートプロニーズちくご(小売業): DX推進の為の社内コミュニケーション改善

パターン①: デジタル化の可能性検討

参加者

企業



社名	株式会社オートプロニーズちくご						
業種	小売業						
事業概要	古車の販売	部に位置する自動車新車中 売及び車検整備、鈑金塗装 業を営む企業					
所在地 (都道府県)	福岡県	筑後市					



参加した 受講生 の概要



チーム名	博多デジタルサムライ					
チーム人数	6人					
7+11.DD	DVで九州を元気にしたい!					

地域の企業のお役に立ちたい! 一緒にDXのマナビを深め、 飛躍につながる一歩を踏み出して九州からリードしましょう!

進める中で 工夫したこと 企業訪問での対面ミーティングと、全社を巻き込んだアンケート実施による課題の整理

実施概要

課題内容

DX化を推進するために『コミュニケーション改善に取り組む』

• 課題整理の議論において、社内のコミュニケーション、共感、信頼を強化することが重要であるという気づきがあった。



実施した検討内容

アンケート結果に基づき、社内情報伝達の満足度について改善策を検討する事とした

- 現在の社内コミュニケーション、情報共有に関する現状を簡易的に把握し、課題設定の根拠とすると共に、DX化のベースとなる情報共有によるデータ共有・活用の必要性に対する意識醸成を図るため、社内アンケートを実施。
- その結果、「経営方針の共有」「部内風通し」「社内情報伝達の満足度」の3点に課題感があることが分かった。社内で優先度を議論していただき、まずは「社内情報伝達の満足度」から着手する事とした。



検討の成果

導入にあたっての制約事項や要求仕様を明確にしたうえで、社内コミュニケーションツール導入の提案を行った。

- 要求仕様や導入にあたっての制限事項の洗い出し
- 特長、ユースケース(想定利用例)や導入コストを含めた導入提案

株式会社オートプロニーズちくご(小売業): DX推進の為の社内コミュニケーション改善

パターン①: デジタル化の可能性検討

実施内容の詳細

社内各部門の問題認識の整理から伴走

- ゴールを設定するために改めて課題の洗い出しと絞り 込みを実施
 - 本取り組みの最重要課題を設定
 - フォーマットを用いた課題整理
 - 各事業部門社員の意見をヒアリング
 - 課題取り組みの優先度を定量化

			naga		3	単語のグループ分	L)				28		MINE ORGA	HAPON	
フループ		MH	内容(超入例:00できないか00という無念がある等)	人材容成	成果評価	サービス角上 (FS/(S))	Englis or	学業株会	24-7	98	ME	6udas	201	SHED WAS	
	A-1	教人委入れマニュアルの整備	業務別人材電域の第一化ができていないため、現場任せになってい る。	٠		(0)(0)	- "			A-1 ・針人受入れマニュアルの整備 A-2 ・DK人物の不定	 人材質式制度が適一化されていないため構造性がだなっている。 キャリアプランに定じた性能を作りの提集。 業務の関係が完全とて、過速が終れてに適遇した人間が寄わな。 	1	3	2	-
	A-2	 DX人材の不差 	無路の効率化を図る上で、経療体制作りに構造した人材が容たない。	•					200	A-3 ・特殊を変化ができていない	い。				
	A-3	後駆着電視ができていない	不明確論用電気のための仕組みがない。	•					2.5	A-5 - 評価報率があいまいである C-1 - 記載相称の整備	 お検护能において、スキル、原本、コミュニケーション等の観点を必要。 人等が信用度の定要機、建工包含をおこなうための評価制度ができていないため、提供所属が存まれていない。 		2	3	
	A-4	・正しい評価が出来ているの か。。	位置長の影視呼吸は、経営理主義のの考え方をできているか、スキル が十分か、お客への密整路いが透明か、コミュニケーション力といっ た続々で行われる。		•				CANE	A-6 A-7 -ES-CSOMUBRIL	・ のの発生の表現である。これでの一般である。 ・ のの発生の上のである。これでの一般での表記が、これではない。 ・ のの発生をはられている。これでは、またのの表記が、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは	- 2	2	2	1
	A-5	紅葉相利の整備 (改定)	人事評価制度の未整備、適正考請をおこなうための評価制度ができて (1ない、制度変要に作う改定が出来ていない。		•				1 2	A-8	総関を検討する。 ・郵用製の遺瘍不足により、不平不見が製金し送気ある物場となって				
ЯX	A-6		ES(従属員の県花寮)高のたい、日常属株を優先するあまり社員の意見 を汲め取る把機体となっていない。			•				A-9 - 異核内容の中華化 A-10 - 選び利素できていない A-11 - 支持作業の効率化 A-12 - 包含甲基のある物質等機関係	 関人化の軽減等と関係の見える化ができていない。 が特殊・具備者できった製造となっていないか。 ドカ製工よる製剤とはないか。 イス製工となりませる。 アストリスを受ける。 	2	2	2	
RE	A-7		定項的なアンケートを実施し、顧客俗様のサービス対応を検討し改善 美を滅じ美史室を高める。			•			4	○2 ・人間で記 ○3 ・同様意用による証明がある例 ○4 ・質賞リーよの報告の問	- 開発エリアをかパーでする人気が不足している。 ・ 設置存制がが、様で報答地はに最近めが何かない。 - 製造を繋がる。マルタをは出した変数が変数をから開発。			2	
	A-8	が門板の連携不足	部門間の連携が取れないため、不平不満が発生し送気ある機場となっ ていない。			•				C4 - 利用的公司所提及	- 日本計画を立てて、現代の大規則による計画的は他の基準。 - 政策形に対する事務事業できてよる対称学型で表となっている。			- *	
	A-9		業人化の結束第と関係の見える化ができていない。 参門等、実施内容に応じたマニュアル等の整備。				•		100	8-2 - M/4-737ESR	・ペーパンス化を無難しているが、東方経媒体による関数が主流。 ・事務予定議会や下来はおれた概要に対する多さ入れ概数の手禁機。				
	A-10	・適正な配置が出来ていないから	部門舗の人員構成で実施の見える化不足のため偏った影響となってい ないか				•		10	B-3 - 部党入事の干事化 - フロント・現場の連携	・現場、単名所能でコミュニケーションが上学くらの予選技不足会				
	A-11	・支持作業の効率化	スムーズな実施活動がなされているか。 対効率による実施圧迫はない か。				•			B-5 ・投稿サービスによる算書 B-5 ・ジョブローテーション作業者 ・予約整理の適び連合体	・引き取り納事、無料代車費をによる賃貸でが設置。・超級者の配定化によるモデベーションの低下設定。	2	- 2	2	'
	A-12	働き早央のある職項環境の整備	成果が賃金等に反映され、実施がどの位地性できるかの指導が必要。				•				8-6 - X書物の運転内容の再発度と	・時間管理が創意されず、作業工程に支援がある。・報告道機局の定期性な関係した影響の開始			
	A-13	同葉也社との事業連携等	極級効果関としての事業活動の連携ができないか					•		8-7	Curcus-in extraoresistance				+

● 課題整理の議論において、社内のコミュニケーション、 共感、信頼を強化することが重要であるという気づき があった。

成果

全社員を巻き込んだアンケートの実施から課題を抽出し、コミュニケーションの改善策を提案

● 現在の社内コミュニケーション、情報共有に関する現状を簡易的に把握し、課題設定の 根拠とすると共に、DX化のベースとなる情報共有によるデータ共有・活用の必要性に対 する意識醸成を図るため、社内アンケートを実施。

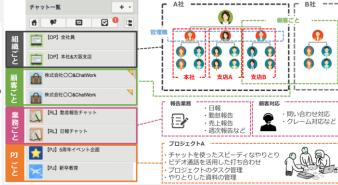


● 結果、「経営方針の共有」「部内風通し」「社内情報伝達の満足度」の3点に課題感があることが分かった。社内で優先度を議論していただき、まずは「社内情報伝達の満足度」から着手する事とした。

● 導入にあたっての制約事項や要求仕様を明確にしたうえで、想定使用例を含めた社内コミュニケーションツール導入の提案を行った。



□ LINE WORKS□ Chatwork



● 従業員満足度(エンゲージメント)の向上

株式会社KONPIRA DROP STORIES(小売業): 創業778年、金刀比羅宮の歴史を紡ぐ会社が1,000年を目指すためのDX構想ロードマップの検討

パターン①:デジタル化の可能性検討

参加者

企業



社名 株式会社KONPIRA DROP STORIES

業種 小売業

「五人百姓 池商店」という屋号で 事業概要 金刀比羅宮の参道にお土産店を

構えて営業

所在地

香川県仲多度郡琴平町

▮ 池商店様 🎾 てくてく

(都道府県)



参加した 受講生 の概要



チーム名 てくてく

チーム人数 6名

スキル・PR

多様なメンバーがそろった6名の テクニカルなスキルで、企業様の ビジネスを次のステップへと 「てくてく」とお連れします!

進める中で 工夫したこと

DXに親しみを持ってもらう為、メン バーのキャラ生成等、様々なイメージ 作成に生成AIを活用

・メンバー全員で現地見学に行き、金 刀比羅宮や周りのお店の雰囲気を 感じながら、情報収集した事

実施概要

課題内容

レジシステムは導入しているが、DXやデータの活用はまだ進んでいない状況

- 昔ながらの経営体制を受け継ぎ、変革している最中で、どこからどのようにデジタル化し たらよいか具体的なイメージがついていないという課題
 - ➡ ありたい姿やDX推進に向けたロードマップを作成し、優先度の高いものから個別の 打ち手の詳細を検討したい



実施した検討内容

経営者のありたい姿・想いを洗い出し、具現化・可視化

- 店舗運営の現状ヒアリング、業務課題の抽出
- 実現可能性、優位性、収益性等、様々な角度から優先課題の選定
- ありたい姿に向けてのロードマップ作成、DX施策を含む各種施策の提案



検討の成果

- 2024年~2030年までのロードマップのご提案
- 店舗内外データ活用のため、BIツール活用のご提案
- 優先順位の高いアイデア(合計8案)の詳細検討内容の提案
- 牛成AIを活用した効果的な販促ツールのプロトタイプの提示

株式会社KONPIRA DROP STORIES(小売業): 創業778年、金刀比羅宮の歴史を紡ぐ会社が1,000年を目指すためのDX構想ロードマップの検討

パターン①:デジタル化の可能性検討

実施内容の詳細

対話による現状の課題・想いの抽出と可視化

ペルソナ作成、AISAS分析、カスタマージャーニーマップの作成、 POSデータ分析



Q POSデータ分析、マップ作成クロスSWOT 分析による全32のアイデア創出

現地見学でのリアルな情報収集

◎ 現地見学での、企業様と周囲の環境を含めた情報収集の実施







成果

現状分析・課題抽出・アイデア創出



Q BIツール活用・構築提案



2024年~2030年までのロードマップ提案



松浦通運株式会社 (運送業):物流企業向け販売管理システムの再構築検討

パターン①: デジタル化の可能性検討

参加者

企業



社名

松浦通運株式会社

業種

運送業

事業概要

総合物流企業。総合物流 サービスや保険、不動産情報

などの事業を展開

所在地 (都道府県) 佐賀県唐津市

参加した 受講生の 概要



チーム名

DXはつく

5人

チーム人数

スキル・PR 様々なバックグラウンドを持った メンバーが在籍し、幅広い視点 からDXを推進できる構成です。

進める中 で工夫し たこと

松浦通運様の要望を尊重した 上で、将来でDX化に向けて出 来ることを探し、将来も継続出 来る方法を提案した。

実施概要

課題内容

販売管理システム(原票システム)の老朽化への対応

- 販売管理システムを再構築。
- 周辺機器のデジタル化や効率化の可能性の検討



実施した検討内容

販売管理システム及び周辺機器、業務のデジタル化についての調査

- 販売管理システム及び周辺機器について聞き取りを行った。 ⇒システム関連の連携が複雑目つ、類似のシステムが混在していることを確認
- 松浦通運様の協力のもと、業務全般についてDX化の現状把握のため、調査を実施した。
- 松浦通運様への参考として、メンバーの所属する会社のDX事例について各自調査した。



検討の成果

松浦通運様の今後のDX化に向けた提案を行った

- アナログ業務に対し優先度、難易度をマッピングし、デジタル化着手の順番を可視化した。
- 業務分析に用いるエクセルを作成した。
- DX推進する上でのよくある問題・ハードルを示し、その解決例を紹介した。
- DX推進する上での成功ポイントを紹介した。

【成果物】

業務分析表・ソフトウェアフロー図

松浦通運株式会社(運送業):物流企業向け販売管理システムの再構築検討

パターン①: デジタル化の可能性検討

実施内容の詳細

松浦通運様の業務の調査(DX化に向けた課題抽出)

- 販売管理システム及び周辺機器について聞き取りを行った。
 - システム関連の連携が複雑で、類似のシステムが混在していることを確認した。
 - 現状分析の結果から、販売管理システムの再構築に特化するのではなく、業務全体のDX化、効率化の検討をすることを提案し、合意した。
- 松浦通運様への参考として、メンバーの所属する会社のDX事例について各自調査した。
- 松浦通運様の協力のもと、業務全般についてDX化の現状把握のため、調査を実施した。
 - 業務を、アナログ、デジタイセーション、デジタライゼーションに分類 した。
 - 分類した業務について、優先度、難易度の可視化を行った。
- 業務全般の現状把握の結果をもとに、業務分析表を作成した。

成果

松浦通運様の今後のDX化に向けた提案を行った

- アナログ業務に対し優先度、難易度をマッピングし、デジタル化着手の順番を可視化した。
- 業務分析に用いるエクセルを作成した。
- DX推進する上でのよくある問題・ハードルを示し、その解決例を紹介した。
- DX推進する上での成功ポイントを紹介した。

【成果物】

・業務分析表 ・ソフトウェアフロー図

アナログ業務に対するマッピング

▶ 全74件をマッピングし分析した結果、①→②or③の順で着手を進めることを推奨





株式会社カマタマーレ讃岐(スポーツクラブ業):プレスリリース自動化とSNSデータ分析

パターン①: デジタル化の可能性検討

参加者

企業



社名	株式会社カマタマーレ讃岐				
業種	スポーツクラブ業				
事業概要	プロサッカーチームの運営 チームのオリジナルグッズの販売				
所在地 (都道府県)	香川県高松市				



参加した 受講生 の概要



-	チーム名	BEAR
	チーム人数	6人
	スキル・PR	学生のみのチーム データ分析経験あり 使える時間や発想力が武器の チームです!
	進める中で 工夫したこと	やれること・やるべきことが他に ないかを常に考えたこと

実施概要

課題内容

業務効率化、認知度向上を図り、DXを推進したい

- 日々の業務が忙しくて、プレスリリースを出せないことがある。
- SNSのデータが蓄積されているにも関わらず分析できていない

実施した検討内容

課題に対して、データ分析と複数の生成AIの試行という方向から検討を実施

- X(Twitter)6カ月分×2のデータを開示してもらい、いいねや反応が多い傾向はどんな投稿なのか分析を行った
- プレスリリース自動化のためのテンプレート作りの説明、ChatGPT(3.5) などの無料生成 AIの提案

検討の成果

現状を客観的な指標を基に捉えることができた

- XやInstagramのデータをエクスポートすることで、数値データが取り出せることを知った
- データによって普段の投稿がどのような結果に繋がっているのか、どのような意味を持っているのかを客観的に示すことができた
- 生成AIの知識が増え、プレスリリース自動化に向けての第一歩となった

出雲ガス株式会社 (ガス業): 旧態依然とした紙ベース業務の効率化に向けたデジタル化可能性検討

パターン①: デジタル化の可能性検討

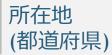
参加者

企業









事業概要

十名

業種

島根県出雲市

ガス業

出雲ガス株式会社

・都市ガスの製造及び供給

・ガス器具及び住設機器販売

・プロパンガス販売・電力小売り



参加した 受講生 の概要



チーム名	AI・DX 友の会2023
チーム人数	6人
スキル・PR	私たちはバラエティに富んだメンバー にてDX推進のできるチームです。利

進める中で 丁夫したこと

んか。

定期ミーティング、作業時間の 確保、Slackでの報・連・相・提。 みんなで協力する体制。

たちとともに熱意をもってDXを推進し、

AI時代に勢いをつけて乗り込みませ

実施概要

課題内容

紙ベースでの運用業務をDX導入することで工数の省力化・最適化を図りたい

- 社内の各種申請(出張申請、時間外勤務・休暇申請、報告書・稟議書等)・承認業務、シフト調整 は紙ベースで行っており、相当な工数が発生している。
- LINEWORKS、Office365を導入しているが、利用が部分的で十分に活用できていない。
- 様々な観点からDX化の可能性検討を行い、効率化を行いたい。



実施した検討内容

課題に対して、現状業務フローの整理からツール利用によるDX可能性を検討

- 申請・承認業務では、使用中のフォーマット・ワークフローを伺い、導入に際しての要望・懸念点なども確 認しながら、業務効率化のツール検討、導入フローを検討した。
- シフト調整では、現状一人で取りまとめているところを、ツール利用にて各人が入力・集計できるようツー ル、導入検討を行った。

検討の成果

各DXツールの特徴をマトリックスで課題を把握、DX化に向けて解決案を提案

- 実際の業務を効率化するため、クラウドサービス、LINEWORKS、Office365のそれぞれのツールから 具体的にどの機能を利用してDX化するかなどの検討を行った。
- 各ツールの機能の利用方法、改善方法、無償・有償ツールの導入などを、導入の難易度・費用の 観点から段階分けし、DX推進に向けてのアクションを明確化した。

出雲ガス株式会社(ガス業):紙ベース業務の効率化に向けたデジタル化可能性検討

パターン①: デジタル化の可能性検討

実施内容の詳細

紙ベース業務のDX化による効率化を検討

- 現状の導入中のツールの利用状況や困っている点などを詳細にヒアリングし、紙ベース業務からのDX方向性を議論した。
- DX化の方向性を幅広く検討するため、ツールを限定せず、多方面からDX化検討を行った。
- 使用中のツールを活かす形も考えて、利用可能な機能や外部連携APIなどの調査を行った。
- 導入担当者が導入難易度の段階ごとにDX化を整理し、具体的なアクションと解決策を提案した。



成果

現状課題に対して、どのようにDX化するか段階的なフローチャートを作成・提示

• ヒアリング内容などから、各課題に対してツールを利用し、導入難易度ごとの段階的なDX 提案を行った。



パターン②

「データ分析を通じたデータ・デジタル技術の活用可能性の設計/初期的な検証」の取り組み事例





企業の状態

- 構想/テーマが決まっており、データ がゼロではない
- 今後のプロジェクトの具体化(取組み判断含む)や初期的な検証 (PoC) を実施したい



本段階で目指すゴール

- 構想/テーマ実現に向けた具体的 な方向性が設計されている
- 上記に基づいて、モデリングや 分析等を通じて、初期的な検証 結果が得られている
- 上記構想の実現に向けた、今後の アクションが明確になっている

参加企業および実施内容の概要 -パターン②

#	企業名	業種	所在	地域ハブ団体	実施テーマ
59	株式会社大野ナイフ製作所	製造業	岐阜県	株式会社百五総合研究所	生産計画のAI活用による自動立案と修正の可能性の検討
60	株式会社スギョ	製造業	石川県	ジェック経営コンサルタント	電子帳票データ・基幹データの活用可能性の設計/検証
61	株式会社高洋商会	製造業	大阪府	一般財団法人大阪労働協会	営業データ活用プロジェクト
62	株式会社三松	製造業	福岡県	独立行政法人国立高等専門学校機構	製造業におけるヒューマンリソースDX
63	株式会社三松製作所	製造業	新潟県	デロイト トーマツ リスクアドバイザリー株式会社	生産技術や稼働率の見える化に向けた蓄積データの分析・活用、改善モデルの構築
64	株式会社田井鐵工	製造業	兵庫県	一般財団法人大阪労働協会	新規事業タイリク(ミャンマー高度人材の採用支援事業)における、人材登録プラットフォーム構築
65	株式会社山翠舎	製造業	長野県	デロイト トーマツ リスクアドバイザリー株式会社	AUTONOMOUS工程表作成プロジェクト
66	非公開	非公開	非公開	非公開	非公開
67	株式会社キューテスト	サービス業	宮城県	株式会社ミヤックス	ベビーシッター、家事代行の管理業務の効率化でお母さんたちの笑顔を支える
68	株式会社サイコー	サービス業	宮城県	株式会社ミヤックス	地域未来牽引企業におけるデータドリブンな新規事業の加速・拡大支援
69	合同会社アソビ社	サービス業	愛媛県	株式会社パソナJOBHUB	過去顧客データを活用した、効果的な事業運営促進プロジェクト
70	特定非営利活動法人ゆだかつ	サービス業	山口県	株式会社YMFG ZONEプラニング	観光施設「狐の足あと」のDX推進プロジェクト
71	ウエノ設備株式会社	建設業	宮城県	株式会社ミヤックス	未来が分かるインフラAI
72	株式会社リョーワ	建設業	福岡県	独立行政法人国立高等専門学校機構	給料計算のデジタル化
73	株式会社冨坂建設	建設業	熊本県	有限責任監査法人トーマツ	顧客・営業データ、設計・工事管理データの有効活用プロジェクト
74	富木医療器株式会社	卸売業	石川県	ジェック経営コンサルタント	営業支援システムの文字データ解析による新たな営業組織モデルの検討
75	お茶の井ヶ田株式会社	小売業	宮城県	株式会社ミヤックス	POSレジ及び通販データ(商品と顧客)の活用方法の確立
76	非公開	非公開	非公開	非公開	非公開
77	豊橋ステーションビル株式会社	不動産業	愛知県	株式会社百五総合研究所	AI等を活用して当ビル来館者数を予測できる仕組みを構築し、駅周辺エリアの活性化につなげたい
78	山西水産株式会社	その他	山口県	株式会社YMFG ZONEプラニング	データ分析を通じたECサイト業務の効率化検討

株式会社大野ナイフ製作所(製造業): 生産計画のAI活用による自動立案と修正の可能性の検討

パターン②:データ分析を通じたデータ・デジタル技術の活用可能性の設計/初期的な検証

参加者



	社名	株式会社大野ナイフ製作所
Í	業種	製造業
•	事業概要	伝統技術、職人技と最先端の テクノロジーにより最高級包丁を 製造
	所在地 (都道府県)	岐阜県 関市



参加した 受講生 の概要



チーム名	DXチャレンジ・パートナー
チーハ人数	6人

スキル・PR

・製造業のDX推進リーダーを 中心に、エンジニア、コンサルと いった多様なメンバ構成

・幅広い業務課題に対応可能

進める中で

メンバーの得意分野に合わせてタ 工夫したこと スクを分担し、各自が責任をもって 対策を検討

実施概要

課題内容

生産計画の調整業務における負担軽減と属人化を解消したい

- 業務の負担軽減と属人化解消に向け、生産計画のスケジューラ導入を検討中
- AIによりスケジューラに入力するマスタデータの量を削減できないか検討したい
- AI活用による効果が見込める場合、スケジューラ導入までのロードマップを検討したい



実施した検討内容

現状の業務 / 課題についてヒアリング、チーム内で対策を検討

- 業務フロー図を作成し、生産計画立案業務の内容を整理
- 生産データの確認とデータ分析手法や方法論の調査
- スケジューラに入力が必要な"作業のサイクルタイム"を予測するAIモデルを構築、評価



検討の成果

"作業のサイクルタイム"を予測するAIモデルの有効性を確認し、ロードマップを提案

- AIモデルによる予測は現状の指示値より精度が高いことを確認
- スケジューラ導入に向け、AI活用を前提としたロードマップと組織体制を提案
- データ分析手法を解説する勉強会を開催し、社内人材のスキル向上を支援

株式会社大野ナイフ製作所(製造業): 生産計画のAI活用による自動立案と修正の可能性の検討

パターン②:データ分析を通じたデータ・デジタル技術の活用可能性の設計/初期的な検証

実施内容の詳細

業務ヒアリング、課題検討、モデルケース調査

- 生産計画の立案業務についてヒアリング
- スケジューラ導入に向けた課題の検討
- 類似の他社事例、DX推進ケースを調査し、説明



生産能力の増強に向けた打ち手の全体マッピング

"作業サイクルタイム"を予測するAIモデルの構築、評価

- モデル工程を選定し、収集している作業データを共有
- 作業サイクルタイムをAIで予測するPoCを実施
- 共有されたデータの分析、傾向把握
- 特徴量エンジニアリングにより精度向上に向けた特徴量を作成
- 決定木モデルの学習、評価

成果

AIモデルによる"作業サイクルタイム"予測の有効性を確認

- モデル工程において、AIによる"作業サイクルタイム予測"は従来手法よりも精度が高いことを確認
- 今後、他の工程へ適用する場合にも、有用性があると考えられる
- PoCの内容を元にしたデータ分析勉強会を開催し、プロジェクト終了後も社内で活動が 継続できるよう支援



スケジューラ導入までのロードマップを提案

- 数年先までのスケジューラ導入ロードマップ案と 組織体制を提案
- DX推進の注意点やフレームワークの紹介



生産スケジューラ導入ロードマップ

株式会社スギヨ(食品製造業):電子帳票データ・基幹データの活用可能性の設計/検証

パターン②:データ分析を通じたデータ・デジタル技術の活用可能性の設計/初期的な検証

参加者

企業

社名 株式会社スギョ 業種 食品製造業



事業概要 水産練製品・加工品製造 販売

所在地 石川県七尾市 (都道府県)



参加した 受講生の 概要



チーム人数 6人



スキル・PR ・データサイエンティスト、SE、事務 職など、様々なメンバーが集結 ・PBL総合優秀賞、コミュニティ貢 献賞など、受賞者が多数在籍!

進める中で ・企業へ訪問させていただき、工場 工夫したこと見学や現地での情報収集を実施 ・現場担当者へ情報収集のための ヒアリングを実施

実施概要

課題内容

- テーマ① 「工場KPIの見える化 ~電子帳票データの利活用~」 電子帳票データを活用し、全社的なデジタルマインドを醸成するきっかけにしたい
- テーマ② 「生産計画立案について属人化解消と負担軽減」 担当者が"カン"と"電話(連絡)"で計画立案を行っているが効率化したい



実施した検討内容

- **テーマ**① データ分析を行うためにヒアリングを重ね、どのような情報を可視化することで業 務の効率化や問題解決に活用できるか検討した
- テーマ② 生産計画立案の業務に関してヒアリングを行い、業務の効率化に予測AIモデ ルが活用できないか検討した



検討の成果

- **テーマ**① 電子帳票データを可視化が可能な形式へ変換するプログラムを作成し、ダッ シュボードのイメージを作成した
- テーマ② 受注数予測AIモデルの構築し、検証を実施した 予測精度が不十分な製品について、精度向上に必要なデータの提案を行った

株式会社スギヨ(食品製造業):電子帳票データ・基幹データの活用可能性の設計/検証

パターン②:データ分析を通じたデータ・デジタル技術の活用可能性の設計/初期的な検証

実施内容の詳細

テーマ① 「工場KPIの見える化 ~電子帳票データの利活用~」

- 工場KPIの設定項目を電子帳票データから取得できるか確認した
- ヒアリング/現地視察の結果をもとに、工場KPIの設定項目の可視化方法を検討した
- 電子帳票データを可視化に適した形式へ変換するプログラムを作成した
- 現状の取得データを分析し、工場KPIの他に可視化することで生産性の向上が可能 か検討した
- DX推進に向け未取得データを含めたダッシュボードのイメージ図を作成した
 - イメージの作成には、Tableau、LookerStudio、Excelを使用
- 今後実際のダッシュボード作成時に利用するBIツール選定のための情報を提供した

テーマ② 「生産計画立案について属人化解消と負担軽減」

- 生産計画担当者へヒアリングし、業務の流れの理解を深めるとともに課題を洗い出し を行った
- 生産計画立案に用いるための受注数予測AIモデルを作成した
 - 予測には時系列解析用のライブラリ「Prophet」を使用
 - AIモデルを使用し、業務負担軽減の可能性を検証した
 - AIモデルを使用し、製品ごとに精度の傾向分析を実施した
- 予測精度の低い製品について、精度を向上させるために必要な追加データの条件を 提案した

成果

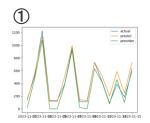
ダッシュボードのイメージ図の作成

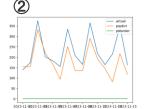


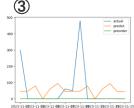
受注数予測AIモデルの構築

- 1. 予約が有り、受注に周期性のある製品は、精度が高い
- 2. 予約が無く、受注に周期性のある製品は、傾向を掴めている
- 3. 予約が無く、受注の周期性も見られない製品は、精度が低い









株式会社高洋商会 (製造業):営業データ活用プロジェクト

パターン②:データ分析を通じたデータ・デジタル技術の活用可能性の設計/初期的な検証

参加者

企業



社名	株式会社高洋商会
業種	製造業

コンクリート型枠の製造・販売 事業概要 及びそれらに関わる施工計画・

設計

所在地

大阪府岸和田市

(都道府県)



参加した 受講生 の概要



工 1.夕	CRAFT INSIGHT
チーム名	CKAFT INSIGHT

チーム人数

スキル・PR

DXに関わるデータ分析従事者、 製造業エンジニア等など工学系 やデータ分析について知見がある チームです

進める中で 工夫したこと

詳細な営業内容についてのと アリングをふまえて検討を行っ

実施概要

課題内容

営業データの有効な活用手段について見出したい

- 営業に関わる一連のデータを全社で蓄積できつつあるが、そのデータを使った施策が検討で きていない
- DXを導入することで営業案件の受注数の向上を図りたい



実施した検討内容

課題に対して、営業背景・システム運用のヒアリングを通して検討を実施

- 詳細なヒアリングシートを作成して、営業に携わる方から営業活動の詳細やデータシステム の運用方法についてヒアリングを実施
- 営業活動のサイクルや現在のシステム利用方法をヒアリングすることで、目的に沿った営業 施策が構築できないかを検討

検討の成果

メールマガジンを使った新たな営業活動方法について提案

- メールマガジンの活用方法に着目し、継続した営業のフォローが難しかった新規得意先に も訴求できるステップメールの施策を提案
- 新たな施策について着手がスムーズにできるように営業指標とロードマップを併せて提案

株式会社 三松 (製造業):製造業におけるヒューマンリソースDX

パターン②データ分析を通じたデータ・デジタル技術の活用可能性の設計/初期的な検証

参加者

企業

 社名
 株式会社
 三松

 業種
 製造業

SANMATSU

事業概要シートメタル板金加工、ロボット

Sier

所在地 福岡県 (都道府県) ^{筑紫野市}

受講生

チーム名 DXのみちしるべ



6人

スキル・PR

Pythonの分析経験有。老若

男女からなるバラエティに富んだ

メンバー構成です

進める中で
丁夫したこと

テキストデータでの機械学習の

適用

実施概要

課題内容

離職率の低減

- データ分析の活用により離職率の低減を図りたい
- ヒューマンリソースDXとして活用したい



実施した検討内容

- 面談情報と離職、在職の関係についてのテキスト分析
- アンケート調査による不満度、満足度への影響調査
- 離職率低減のための考察



検討の成果

- 面談メモのテキスト分析を行い、離職する人、雇用継続の人のそれぞれに関係の深い用語の抽出
- エンゲージメントを高めるための施策の提案

株式会社三松 (製造業):製造業におけるヒューマンリソースDX

パターン②データ分析を通じたデータ・デジタル技術の活用可能性の設計/初期的な検証

実施内容の詳細

成果

面談メモのテキスト分析、アンケート調査からの分析

- ▶ 面談メモによる離職傾向の分析
 - ・雇用継続者の状況分析
 - ・退職者の状況分析
- ▶ アンケート調査からの不満足度、満足度への影響度調査

離職に繋がると考えられる因子、離職低減に繋がると期待できる提案

- ≫ 離職する人、雇用継続する人にはどのような用語が関連深いかの分析を行った。
- ▶ 雇用継続者、退職者の傾向を考慮し、そこから施策案の提案を行った。
 - ・エンゲージメントを高める施策
 - ・人間関係を円滑にするための施策
 - ・コミュニケーション機会を増やす施策
 - ・キャリアパス形成の支援
 - •職場環境改善活動
 - ・社員のスキルアップ支援
- ▶ 会社に対する不満足度、満足度に影響の大きさが異なる因子の抽出
- ▶ 退職する人の退職理由は属性により異なると思われるため、「衛生要因」「動機付け要因」のそれぞれでの対策が必要。



株式会社三松製作所(製造業):生産技術や稼働率の見える化に向けた蓄積データの分析・活用、改善モデルの構築

パターン②:データ分析を通じたデータ・デジタル技術の活用可能性の設計/初期的な検証

参加者

企業



社名	株式会社三松製作所
業種	製造業
事業概要	粉末冶金メーカーの協力工場の一つと して、焼結部品の切削、研削加工を行い、エンジン関係部品の量産加工を

行っている。

所在地 (都道府県)

新潟県 新潟市



参加した 受講生 の概要



チーム名	JOYSIDE HAKERY
チーム人数	6名

スキル・PR

チームは、ITシステム開発、製造業、コンサルタントなど様々な業種から構成され多様性があり、ビジネス、データサイエンス、エンジニアリングの三つのスキルバランスも良いチームです。

進める中で工夫したこと

企業のニーズをしっかりと把握し、真に 必要な課題に取り組んだ。 プロジェクト終了後も利用し自走できる 提案を行った。

実施概要

課題内容

DXを活用し①生産性向上、②人事評価、従業員のモチベーションアップ・維持したい

- 設備・スタッフ毎の出来高や不良品率等のデータを収集しているが活用できていない
- データをベースとした社員のモチベーションアップの施策ができていない



実施した検討内容

- 課題に則した打ち手の提案 → 実現可能性や企業評価をふまえた優先度の高い打ち手の選択 → 打ち手に基づいた実績データの分析・報告書の作成
- 生産性向上の基礎となるデータ分析用エクセルシートの検討
- 現行データ・システムの課題改善の検討



検討の成果

課題である生産性向上・人事評価に関係する成果物の提供

- 生産性向上の基礎となるデータ分析用エクセルシートの提供
- データ・システムの改善提案
- 現行設備の稼働状況の可視化(IoT化)紹介
- 他社の生産性向上事例情報 紹介

株式会社三松製作所(製造業):生産技術や稼働率の見える化に向けた蓄積データの分析・活用、改善モデルの構築

パターン②:データ分析を通じたデータ・デジタル技術の活用可能性の設計/初期的な検証

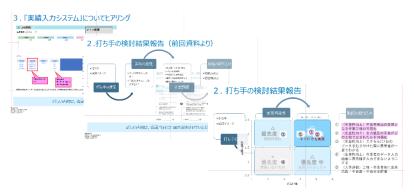
実施内容の詳細

デジタルの有効活用/効率化という方向から検討

• ヒアリングを通じて現行システムの課題を抽出、他社事例を提示 し生産性向上のイメージを共有



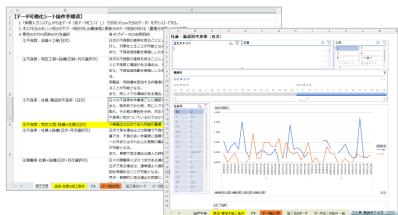
• 現行システムの課題から打ち手を検討し、優先順位付け



成果

生産性向上の基礎となるエクセルシート等を提供し、定期的にモニタリングできる環境を整えた

- 生産性向上の基礎となるデータ分析用エクセルシートの提供
 - 手順説明
 - 前処理
 - 各データ可視化シート



- データ・システムの改善提案
- 現行設備の稼働状況の可視化(IoT化)紹介
- 他計の生産性向上事例情報紹介



株式会社田井鐵工(製造業):新規事業タイリク(ミャンマー高度人材の採用支援事業) における、人材登録プラットフォーム構築

パターン②:データ分析を通じたデータ・デジタル技術の活用可能性の設計/初期的な検証

参加者

企業



社名

株式会社田井鐵工

業種

事業概要

自動車電装部品及び水中ポンプの 製造、高度海外人材の採用支援ビ

ジネス(タイリク)、農業

所在地

兵庫県

(都道府県)



参加し た受講生 の概要



チーム名

CLIMBERS

チーム人数

スキル・PR

企業様と共にDXの険しい壁を登っ

て、新しい景色を見たい!

という想いを持った6人が集まった

チームです。

進める中で 工夫したこと 課題確認をしっかりと行い、

重要度の高いものへの打ち手を検

討しました。

実施概要

課題内容

人材の応募・登録・斡旋のフローの効率化

- 応募者・企業・案件のDBがAccessとExcelに分かれ、連携できていない。
- DB入力はほとんど手作業である。案件毎/応募者毎のクエリが大量にある。
- 今後、利用者数と案件が増加した際、現リソースでは手が回らなくなる。



実施した検討内容

データベースの見直し・管理ツールの導入検討

- 現状のデータベース項目等を共有していただき、ER図を作成し適切なデータベース構成を提案した(正 規化、中間テーブルの作成など)。
- 管理のためのBIツールとして、python/appsheetでのツール作成とSaaS導入を検討した。



検討の成果

管理ツールのプロトタイプを作成し、業務効率化の目途を得た。

- データベースの合理化。
- Streamlit(python)を利用し、各種管理ツールのプロトタイプ作成。
- Appsheetを用い、管理デモアプリ作成。

株式会社田井鐵工(製造業):新規事業タイリク(ミャンマー高度人材の採用支援事業) における、人材登録プラットフォーム構築

パターン②:データ分析を通じたデータ・デジタル技術の活用可能性の設計/初期的な検証

実施内容の詳細

データベース構成の見直し

- 現状のデータベース項目を聴取し、 テーブル間の関係性や項目の無駄を確認した。
- 各種データベースが異なるシステムを利用しており 連携を取りにくい状態だった。 管理方法含めてデータベースの集約について検討した。

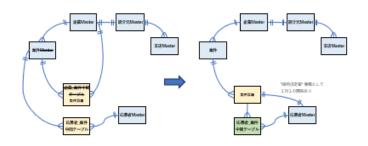
管理ツールの作成

- 一部の管理ツールとしてaccessを利用していたが、 動作が重いという課題があった。
- 管理ツールとして、streamlit(python) / appsheet / SaaS の利用方法を調査した。 コストメリット等考慮した結果、streamlitもしくはappsheetでの 管理ツール作成が好ましいと考えた。
- 使用感含めてどちらが良いか判断いただくために、 各方法での管理ツールプロトタイプを作成した。

成果

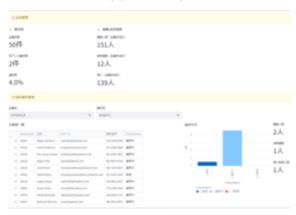
データベースの合理化

- データベースのテーブル間の関係をER図で整理。
- 正規化・中間テーブル作成等による 合理的なデータベース構造を提案。
- 下記管理ツールでの運用のために、 現システムから移行が容易である excel / spread sheetへの集約を提案。



管理ツールの作成

①Streamlitによる管理ツール作成



②App sheetを用いた管理ツール作成



株式会社山翠舎 (製造業): AUTONOMOUS工程表作成プロジェクト

パターン ②:データ分析を通じたデータ・デジタル技術の活用可能性の設計 / 初期的な検証

参加者

企業



社名	株式会社山翠舎
業種	建設業
事業概要	古材専門設計·施工、古民家買取·再生、飲食店開業支援
所在地 (都道府県)	長野県長野市



参加した 受講生 の概要



チーム名	新たなる希望 -ちゃそっこを調教する会-
チーム人数	5人
7+11.DD	

ス十ル・PK

エンジニア、テータサイエンティス ト、アルゴリズム開発者、マーケ ター、税理士と言った現場実 務の経験者が参加

進める中で

- ・基礎データの収集/整理
- 工夫したこと ・情報不足をカバーする総合提案
 - ・牛成AIなどの最新技術の活用

実施概要

課題内容

生成AI等を活用し、自律的にアップデートし続ける工程表を作ることができないか

- 年間300件程ある工事基礎データの整理とデータベース化
- 日報などを含むリアルタイムの実績管理や予測体制の構築
- そもそもDXに取り組むことで売上が伸長することがあるのか

実施した検討内容

総合的なヒアリング情報を基に、工程表自動化を含めた改善提案/導入試験を実施

- 工程表関連の業務フローを確認し、自動化に向けた試験的なシステム開発や既成のア プリケーション選定&導入試験を検討実施
- 過去の工程データ分析や生成AI試用、レコメンドアルゴリズム等による予測を検討実施
- PR/マーケティング/営業等の見直しに加え、DX新規事業の提案を検討実施

検討の成果

年最大で200万円程度の工数削減を見込み、アプリケーションの導入に向け前進

- 工程表作成/管理に加え自動化機能のあるSmartsheetの導入を前向きに検討
- 工程データの蓄積方法、自社開発時の一部知見、データ傾向&AI活用等による知見
- HP改修等のマーケティング課題/PR・営業等に関するペルソナ整理と言った総合提案
- コスト削減だけでない、DXにより売上を上げる新規事業の可能性を示唆



株式会社山翠舎 (製造業): AUTONOMOUS工程表作成プロジェクト

パターン ②:データ分析を通じたデータ・デジタル技術の活用可能性の設計 / 初期的な検証

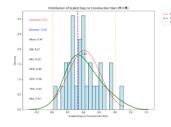
実施内容の詳細

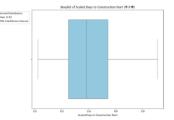
DXにより業務を効率化すると共に売上を増やす提案

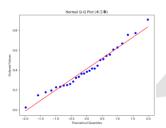
- デザイン力と実現力をコアに 工事分析やコスト管理で利益体質へ
- PR/マーケティング/営業 戦略の三段撃ちによる攻めへ
- 工程表をはじめとした業務効率化 AIの活用検討
- 工事/飲食向けのDXコンサル事業を通し 内装丁事の見込客を増やす

成果

Smartsheetの検討 / 工事の工程予測 / PR・マーケ施策等の総合的な見直し



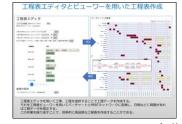




過去丁事のDBを作成 データ分析を行った例 工事種類の分布・傾向 木丁事は正規性有

XGoogle Colab







※自作

※自作 Gradio







アプリ導入効果の試算

株式会社キューテスト(サービス業):ベビーシッター、家事代行の管理業務の効率化で お母さんたちの笑顔を支える

パターン①: データ分析を通じたデータ・デジタル技術の活用可能性の設計/初期的な検証

参加者

企業

株式会社 キューテスト



業種

社名

サービス業

事業概要

・ベビーシッター

家事代行サービス

所在地

宮城県 仙台市

(都道府県)



参加した。チーム名 受講生 の概要

PASSION FRUITS!!

チーム人数

6人

スキル・PR

とにかく、アツい情熱を持っている

・幅広い職種のメンバー構成



進める中で 工夫したこと

・チームメンバーの特性を活かした、 意見交換と作業配分

・円滑なコミュニケーションが取れる 環境作り

・既成概念にとらわれない。

実施概要

課題内容

事務作業の効率化

- 無料ツールを駆使した社内システムのため、情報がバラバラになっている。顧客情報へのアクセス が悪く、探すのに時間がかかるため、一元管理をしたい。
- 勤怠情報のダブルチェックにおける手入力作業が無駄のため削減したい。
- 企業規模を拡大するために、上記内容の事務作業効率化をしたい。

実施した検討内容

企業規模拡大の課題をなぜなぜ分析で抽出し、対策を立案

- 企業規模拡大(売上/利益拡大)のネックとなる課題をなぜなぜ分析し、業務改善の必然 性を確認。
- キューテスト様のビジネスモデルと業務フローを分解、整頓。
- 業務改善に向けて、あるべき姿を設定し、達成するための方策を検討。

検討の成果

依頼企業のビジネスモデルに適したツールを提案し、実用化の目処を立て、 計34時間/月の事務作業時間削減の見込みを得た。

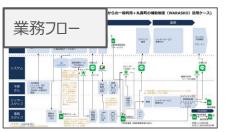
- キューテスト様のビジネスモデルの核となるマッチングを軸とした、予約管理システムのツール(RESERVA)を提案し
- ツール導入に向けて調整を開始した。導入の効果として、事務スタッフの作業時間27時間/月、社長の時間7 時間/月、計34時間/月の事務作業時間を削減可能な見込みを得た。

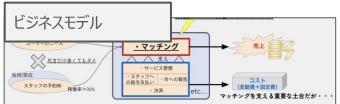
株式会社キューテスト(サービス業):ベビーシッター、家事代行の管理業務の効率化でお母さんたちの笑顔を支える

パターン①: データ分析を通じたデータ・デジタル技術の活用可能性の設計/初期的な検証 実施内容の詳細 成果

企業規模の拡大と、企業のビジネスモデルに適した DX改善の手法を検討

- 依頼元との密な打ち合わせを通して、依頼項目だけでなくその背景にある目的を把握した。
- 企業規模(売上)拡大達成のための課題をマインドマップを使用したなぜなぜ分析で抽出し、依頼元と協力して、解決の難易度、効果について、点数付けを行い、重要課題を抽出した。
- 現場のヒアリングや、課題抽出を通して、現在の業務フロー、及び ビジネスモデルを見える化し、改善における重要事項を明確化し た。





適したDX改善ツール(RESERVA)の提案を行い、導入を支援。今後3年程度で、 ツールを活用した、企業規模拡大へのロードマップを作成

• 提案した改善ツールの実際の導入に向けて、支援を行った結果、現実的に実運用が可能な段階にまで到達した。(予約管理システムSaaS: RESERVAの導入)





- 提案した改善ツールの導入によって、社長の事務作業時間を7時間/月、事務作業員の作業時間を 27時間/月、計34時間/月程度の時間削減ができる見込みを示せた。
- 提案した改善ツールの導入によって、顧客情報の一元管理もできるようになる。今後のデータを活用したDX推進活動のロードマップを作成・提案した。



株式会社サイコー(サービス業):データ利活用による古紙回収促進の検討

パターン②:データ分析を通じたデータ・デジタル技術の活用可能性の設計/初期的な検証

参加者

企業



社名	株式会社サイコー
· 業種	サービス業
事業概要	古紙回収業

所在地 (都道府県) 宮城県仙台市



参加した受 講生 の概要



チーム名	PatchWorks
チーム人数	6人

スキル・PR

- ・SI/ITスキル
- ・画像分類
- ・データ分析・数理最適化
- ·E資格取得者複数名

進める中で 工夫したこと

- ・ツールをGoogleに統一
- GitHub
- 対面でのチームビルディング
- ・QA表

実施概要

課題内容

自社アプリ"ぐるっとポン"に蓄積されているデータを利活用したい

- スーパーなど店舗にリサイクルステーション(RS)を設置し、古紙を回収している。
- 古紙投入時に自社アプリでポイントバックし古紙回収を促進する施策を実施。
- アプリユーザー9万人も、データ利活用の成功実績はない。



実施した検討内容

データ分析から以下の2つの課題に対し、PoCを実施

- <課題①> RSが満杯になり古紙の投入ができない
 - =>(PoC)RS単位の充填率AI予測により古紙の回収量増・回収効率向上
- <課題②>ユーザーランクシステムが古紙回収量に効果を発揮していない
 - =>(PoC)個人の月間古紙投入量をAI予測し適切・効果的なランクシステムを構築



検討の成果

課題2件のPoC結果・実行計画に留まらず、今後の展望を様々な視点から提案し、MDXQ後の継続によって実施・実装可能であるというプランを示した。

- <PoC結果・実行計画> 課題①は予測可能と判断。課題②はPoC結果が悪く、スコープの修正が必要。
- <今後の展望>
 - PoC実施した課題①②に限らず、将来協業先の付加価値となり得るアイディアを広く提示。
- <MDXO後の継続可能性>
 - 実装可能と判断した課題①について、継続した場合のチームによる実装プランを提示した。
 - 他タスクは今後分析・PoC実施し、結果次第で実装に至る可能性を示した。

141

株式会社サイコー (サービス業): データ利活用による古紙回収促進の検討パターン②: データ分析を通じたデータ・デジタル技術の活用可能性の設計/初期的な検証

実施内容の詳細

古紙投入量の増加をKSFとして検討

- ビジネスモデル、データフローの図示
- 探索的データ分析・可視化
- PoC
 - 1. リサクルステーションの充填率AI予測
 - 2. 月間古紙投入量のAI予測
- 今後の展望の提示
 - 1. GoogleアナリティクスへのユーザID連携
 - 2. キャンペーンの効果測定自動化
 - 3. グループ全社の情報を集約したチャットボット
 - 4. AIを利用しないランクシステム案

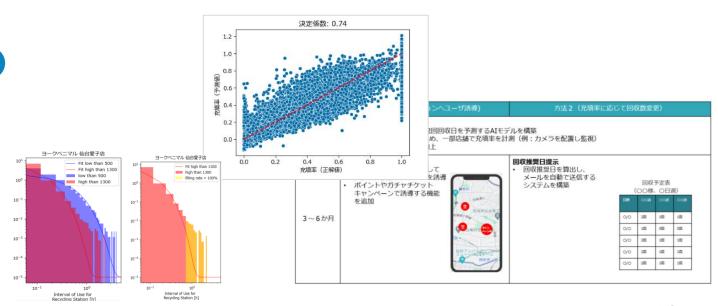


成果

リサイクルステーションの充填率を予測し、古紙投入量増加に繋がる施策・ROIを提示

- 予想充填率を地図と連携してアプリに表示し、ポイントやキャンペーンで誘導する機能を提案
- 古紙回収推奨日提示





合同会社アソビ社(宿泊業・飲食業・小売業・サービス業):過去顧客データを活用した、効果的な事業運営促進プロジェクト パターン②:データ分析を通じたデータ・デジタル技術の活用可能性の設計/初期的な検証

参加者

企業



社名

合同会社アゾビ社

業種

宿泊業·飲食業· 小売業・サービス業

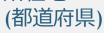
事業概要

ゲストハウス"内子晴れ"を経営し、宿 泊の他、バーやお土産販売、

地元ツアー等のサービスを展開

所在地

愛媛県喜多郡内子町内子





参加した 受講生の概要



チーム名

ニヤーニヤーDX

チーム人数

スキル・PR

猫好きリーダーのもとに集合したメン バー!デ ータサイエンスに関する基礎的な技能とともに 、多様なバックグラウンド(製造業、Kaggler 、セキュリティ、中小企業診断士など) を保有しております。

進める中で工 夫したこと

コミュニケーションを重視いたしました。 メンバー間はもちろん、企業様に対し て密で丁寧なやり取りを心がけ、「課 題の本質」の深堀りに努めました。

実施概要

課題内容

DX活用を通して、業務を効率化し、さらに内子晴れのファンを増加させる

- 顧客データ*の収集方法やデジタルツールの運用を改善したい
 - *顧客データ:宿泊・物販・アンケートに関するデータ
- 顧客データの分析方法を検討したい
- AIに関する知見を深め、AI活用について検討したい



実施した検討内容

課題を特定し、データ分析・AI活用に関する検討を実施

- 業務効率化に向けたデータ活用の観点から、企業様の課題を特定
- データ分析・AIの概要を企業様に紹介
- 課題を基に「データ収集基盤構築、データ分析、AI活用」に関する検討を実施



検討の成果

データ収集基盤の構築、データ分析、AI活用に関するPoCを実施

- データ収集基盤構築:データ分析に適したアンケート項目の作成、会計ツール・活用方法の提案、BI ツールを用いた顧客データ可視化システムを構築
- データ分析: 顧客データの可視化・分析を実現
- AI活用:宿泊者数予測・顧客ペルソナ分析・アンケート項目重要度算出の実証

合同会社アソビ社 (宿泊業・飲食業・小売業・サービス業):過去顧客データを活用した、効果的な事業運営促進プロジェクトパターン②:データ分析を通じたデータ・デジタル技術の活用可能性の設計/初期的な検証

実施内容の詳細

課題の特定、データ分析・AI活用に関する検討

業務内容・顧客データ・各種ツールに関するヒアリングを実施し、企業様におけるデータ活用の目的を具体化するとともに、課題を特定

課題を基に、「データ収集基盤構築、データ分析、AI活用」に関する PoCを実施すると決定



BIツールの検討







AIモデル構築の効果: "予測"と"データ間に隠れた有用な情報の獲得

企業様利用のデジタルツール整理・BIツール連携

		10HT287-90ME	→ まがむ事業/グラス表示内的の改定	Q 802-5-00888
		が 香生-ビスカリテーデカセルの海にお 様 できる原始の検定	* 5043000, 752804035800 * 100/512806-6007-0000	▼ ラービスとロワールの技術 ▼ 509~ま上でのグラフ/空中遊り記
mose	アンケート	- v-nesmmess-rosse (m)	・ 数の数アンケートに終りま、が成て各をグランソ 分析業を検討し、レポートフォーヤントを決定 ・ (必要に対し、レポートファケート項目数を作 返。)	・ 研りールIへの必ずーHeか成 ・ ヤールの開発性質
(A)	18:8	* 9-10489000-yold	* BOSTOF-NORTENS/7376.16 (YDRM):	/ 809~6_LNC6/E-FERIS / 9~A20/EBRIS
*Interstile	1831	· y-southfree/-your	 初れ株人ダータセムの利/プラフにしたよみ回りの検討 分析力をできたプロストラモ分類場合を検討 	/ 829-3-1-100-1-100回 / 3-3-1-1-100回 / 3-3-1-1-100回
WEB/SNS	10	- BETST-YOME - PP-COople Anapositémica	+ 8-1/4-5750XM098/5538/FDA BORSS	 第25-8.2へに近-19市区 フールの開発作業
	Instagram	/ 物金107-10倍度 / 必要に近、全量用730314名利用他 - 必要に近、分配用7-07-047-14人	 Instagramstettisteteristet/9326;# 6A643808 	
	Facebook	 物面するドーヤの数理 必要におり、支援利フタウントの利用機由 必要におり、交換料フータタングワーを導入 	 Facebooknessississes/7528286 Processis 	/ NOV-A1へのよう-Febrik / Facebookの連携作業

成果

データ収集基盤構築、データ分析、AI活用に関するPoCを実施

データ分析向け宿泊者向けアンケートを作成・アンケートの運用開始

設問選択肢の改善、国内外宿泊者アンケートの統合、宿泊後アンケート実施の提案

会計ツールの活用方法を提案

商品カテゴリの再編、客層情報の追加、運用方法の提案(定期的な商品カテゴリ見直し等)

- 顧客データの可視化を実現、可視化結果の分析まで実施
- BIツールを用いたデータ可視化システムを構築

BIツール (LookerStudio)

アンケート (Googleフォーム)



各顧客向けサービス提供イベント開催時期の決定スタッフ様との情報共有

- ★月・日単位でデータを集計して可視化 ⇒ データに基づいた意思決定が可能となった
- 顧客データを用いたAI活用方法の実証

宿泊者数予測・顧客ペルソナ分析・ アンケート項目重要度分析を実証



ペルソナ分析

里安及分析

★宿泊者数予測では、過去データを用いて2024年(365日)分の宿泊者数を予測

2024年1月分の予測値と実測値とを比較

予測精度の指標RMSEは3.17、大まかな人数の予想は可能データの蓄積とモデルの改良による精度向上に期待

特定非営利活動法人ゆだかつ (サービス業) : 観光施設「狐の足あと」のDX推進プロジェクト

パターン②:データ分析を通じたデータ・デジタル技術の活用可能性の設計/初期的な検証

参加者

企業



社名 特定非営利活動法人ゆだかつ

業種 サービス業

まちづくりや観光に関する事業 事業概要

所在地

山口県 山口市

(都道府県)



参加した 受講生 の概要



トモニアルク チーム名

チーム人数

6人

スキル・PR

業界、年齢、性別、居住地等、メン バーの背景は様々です。

その多様性と経験を活かして、着実 な課題解決に向けて企業様に伴" 歩"します。

進める中で 工夫したこと PC操作に不慣れなスタッフでも導入し 操作できるようにツールのインタフェース 等を工夫した。

実施概要

課題内容

カフェ事業の利益改善

- 事業継続のためにカフェ事業の利益を改善したい。
- 過去 3 年間蓄積してきた売上データを、利益改善のために活用したい。
- 個人の経験と勘に頼った事業経営から脱却したい。



実施した検討内容

カフェ事業の利益改善に向け、データを活用した事業経営を実現するための仕組みを検討

- 課題を構造化し、カフェ事業の利益改善に繋がる打ち手を絞り込んだ。
- データを活用するための基盤として、データベースとして縦持ちでデータを蓄積・共有する仕組みを検討し
- 蓄積したデータを様々な観点から可視化するツールを検討した。
- 来館者数や商品売上を予測するAIを作成し、精度および業務への適用可能性を検証した。



検討の成果

データに基づく経営判断、および属人性の排除を実現するDX基盤を構築

- 使い慣れたExcelにより、可視化やAIに活用可能な縦持ち形式でデータを蓄積することができるように なった。
- データが自動的にグラフとして可視化され、経営判断に活用できるようになった。
- クラウドストレージの導入により、これまで発生していたPC故障等によるデータの損失に備えることができ るようになった。
- AIによる来館者数予測結果を活用し、仕込みやシフト作成における属人性を軽減した。

特定非営利活動法人ゆだかつ (サービス業) : 観光施設「狐の足あと」のDX推進プロジェクト

パターン②:データ分析を通じたデータ・デジタル技術の活用可能性の設計/初期的な検証

実施内容の詳細

1. 課題の構造化

利益の改善に繋がる課題を 分析・構造化し、利益の改善を達成するために取り組む打ち手を合意



2. データの蓄積および可視化の検討

- スタッフが使い慣れたデータの入力方法を維持しつつ、Excelの 機能(Power Query)を使って裏でデータをDB形式に変換 するExcelファイルを作成
- PC故障等によるデータ損失対策として、クラウドストレージを使ったデータ保管を検証
- データの可視化方式として、Excelのピボットグラフと無償のBI ツールであるLooker Studioを検討

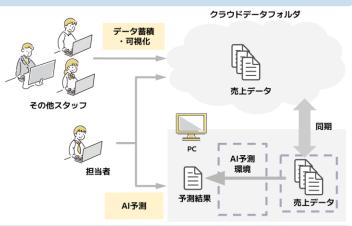
3. AIによる予測の検討

- 来館者数、商品売上の予測モデルを作成し、精度や実業務への適用可能性を検証
- アプリケーションの実装としてPC操作に不慣れなスタッフでも容易に導入および操作できる方式を検討し、インストール不要(ファイル配置のみ)かつGUIを備えるものとした。

成果

データによる経営判断と属人性の排除を実現するDX基盤を構築

- 従来と同様の操作性でデータを蓄積し、 また来館者数や売上を様々な観点から 分析できるデータ蓄積・可視化基盤を構築
- クラウドストレージの導入によりデータの損失リスクを低減
- 未来の来館者数を予測し、仕込みやシ フト作成から勘と経験を排除するために 活用できるAIを導入



インバウンド対策やバックオフィス効率化等に繋がる中長期の打ち手を提案

- 山口市がNYタイムズ紙の「2024年に行く べき52カ所」に選ばれたことを受け、キャッ シュレス対応などのインバウンド対策に繋 がるクラウドPOSサービスの比較資料を作 成し、導入を提案
- クラウドPOSサービスの導入に合わせて、 バックオフィス業務の効率化やAIの予測 精度向上の可能性を提示



ウエノ設備株式会社 (業種) : 建設業

パターン②:データ分析を通じたデータ・デジタル技術の活用可能性の設計/初期的な検証

参加者

企業

社名	ウエノ設備株式会社
業種	建設業
事業概要	住宅やマンション、ビル等の空調、技 気の工事全般や給排水設備の管 内清掃、漏水調査、修繕等
所在地 (都道府県)	宮城県



参加した 受講生 の概要



チーム名	Team Uzu
チーム人数	5人
スキル・PR	各メンバーが異なる経歴を持つ ため、幅広い分野に対応でき る。 年齢が若く、スピード感を持っ
進める中で	た行動ができる直接仙台の工場に見学に伺
工夫したこと	い、言葉だけではわからない情報を手に入れることができた。

実施概要

課題内容

キノコ工場のアラート監視システムの内製化

- 培養室、母菌室の温度を内製化し、コスト削減を図りたい
- 換 アラート発報時にアラートの内容を知ることで、事前に現地での対応方法を検討したい
 - 汎用的に利用できる内製システムを開発することで、他の工場にも役立てたい



実施した検討内容

制御盤の前にカメラを設置し、異常を検知する

- 異常検知パターンの検討を実施
- クラウドを用いた発報システムの動作確認を実施
- 文字の検知システムや温湿度予測AIの開発



検討の成果

汎用的なアラート監視システムの実現見込みを確認できた

- 画像をもとに文字を読み取り、異常値があればスマホにアラートを送信するデモができた
- プランごとの費用対効果を示すことができた
- プランごとに必要とされる作業期間を示すことができた

ウエノ設備株式会社 (業種):建設業

パターン②:データ分析を通じたデータ・デジタル技術の活用可能性の設計/初期的な検証

実施内容の詳細

汎用的に利用できるシステムの検討

- ヒアリング内容をもとに仮説を立て、複数のアラート監視案を検討。
- 実際に工場を視察することで、ヒアリングだけでは見えない1次情報を取得。
- 今まで集めた情報をもとに詳細を検討。
- 今回ご紹介いただいた工場の課題を解決すれば良し、では無く 「全世界の工場で利用可能なシステム」を要件として設定。
- 制御盤の文字情報は、工場によって差が出ない部分であるため、 制御盤の文字を読み取ることで汎用的なシステムを構築する方 針として議論。

成果

汎用的なアラート発報システムの実現の可能性を示すことができた

- 画像をもとに文字を読み取り、異常値があればスマホにアラートを送信するデモができた
- プランごとの費用対効果を示すことができた
- プランごとに必要とされる作業期間を示すことができた。
- 発報予測AIの構想を示すことができた

	ROI検討										
	休日出社	平日点検費	外部 契約費	異常時 臨時対応	菌の死滅に よる損害	カメラ導入 (初期費用)	カメラ維持費	AI実装費 (初期費用)	Al維持費	loT機器導入 (初期費用)	合計費用/月 (初期費除外)
現状	39,200	54,400	23,000	820	Δ	-	-	-	-	-	117,420
STEP1	-	54,400	23,000	820	Δ	41,800	2,200	-	-	-	122,220 (80,420)
STEP2	-	-	-	820	Δ	41,800	2,200	300,000	5,000	-	349,820 (8,020)
STEP3	-	-	-	Δ	Δ	41,800	2,200	300,000	5,000	20,000	369,000 (7,200)
STEP4	-	-	-	Δ	-	41,800	2,200	400,000	10,000	20,000	474,000 (12,200)



仮にSTEP2まで実施した場合、4か月目 でコストの回収が可能

従業員は制御盤の監視業務にかける時間 を減らすことができ、休日の監視対応も 不要となる



株式会社リョーワ (設備工事業) : 給料計算のデジタル化

パターン②: データ分析を通じたデータ・デジタル技術の活用可能性の設計/初期的な検証

参加者

企業



社名	株式会社リョーワ
業種	設備工事業
事業概要	油圧検査の修理/メンテナンス /改造、外観検査装置設計/ 製造/販売
所在地 (都道府県)	福岡県



参加した 受講生 の概要



進める中で

丁夫したこと

チーム名	Insight Rides
チーム人数	女 6人
スキル・PR	エンジニア、セールス、コンサルタ ント、データのプロなど、多様な バックグラウンドを持つメンバー がチームに在籍

チームを2つのサブチームに分け、

短期施策と中期施策の2軸で

プロジェクトを推進

実施概要

課題内容

「給与計算をDXで少しでもミスなくラクにしたい!」

- リョーワ様では、勤怠・給与管理を紙のタイムカードと作業日報を用いて実施
- 手作業が給与計算業務の大部分を占めており、一定のコストが生じている状況
- 複雑な作業が多く、ミスも生じてしまうため、作業者の精神的負荷が大きい



実施した検討内容

デジタル化を短期施策と中期施策の2軸で検討し、各施策で業務効率化を推進

- チームを2つのサブチームに分け、以下の短期施策と中期施策を実行
 - 短期施策:業務効率化を図るプロトタイプアプリをVBAで開発
 - 中期施策:業務分析と勤怠ソフトのリサーチを行い業務高度化の可能性を検証



検討の成果

施策の期待効果を算出し、年間126万円のコスト減に寄与し得ることを確認

- 業務分析を行い、給与計算の各業務コストを算出。短期施策と中期施策の運用化により、各業務の削減・効率化が可能であることを検証し、本期待効果を算出。
 - ※ 協働期間では実証実験のみを行い、運用化は残タスクとしてリョーワ様に引き継ぎ

株式会社リョーワ (設備工事業) : 給料計算のデジタル化 パターン②: データ分析を通じたデータ・デジタル技術の活用可能性の設計/初期的な検証

実施内容の詳細

【短期施策】業務効率化を図るプロトタイプアプリを開発

• 短期で業務効率化を実現することを目的に、勤怠管理に関連す る計算処理を自動化するプロトタイプアプリをVBAにて開発

【中期施策】業務分析とリサーチを行い業務高度化を検証

中期で大きな業務効率化を実現することを目的に、業務分析と 勤怠ソフトのリサーチを行い、業務高度化の可能性を検証



プロジェクト全体のスケジュール

成果

施策の期待効果を算出し、年間126万円のコスト減に寄与し得ることを確認

主な成果物は以下の通り。※詳細の情報公開は不可のため、画像に加工処理を適用



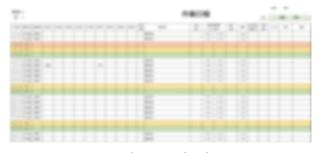
① 業務フローチャート (暗黙知の業務内容を可視化)



③ 勤怠ソフトのリサーチ結果 (リョーワ様環境に適した勤怠ソフトの選定)



② 業務分析表 (個別業務のコストと施策期待効果を算出)



4 プロトタイプアプリ (短期的に業務効率化を図るアプリ開発)

⑤ 勤怠ソフト「ジョブカン」の適用検証 (リューワ様の環境・現行業務を踏まえた勤怠ソフトの適用可能性を検証)

株式会社富坂建設 (建設業):過去の見積データを活用した工事費見積予測

パターン②: データ分析を通じたデータ・デジタル技術の活用可能性の設計/初期的な検証

参加者

企業



社名	株式会社冨坂建設
業種	建設業
事業概要	自社ブランドの賃貸マンション 事業、コンクリート住宅事業、 リフォーム・リノベーション事業等
所在地 (都道府県)	熊本県 熊本市



参加した 受講生 の概要



工夫したこと

チーム名	99%のやる気と1%のDX
チーム人数	6名
スキル・PR	・20~40代、男女混合チーム ・個人事業主から大手企業所属、 社内のDX推進者や 社外から提案する立場まで 多様なポジション経験が強み
進める中で	・予め建築業界を調査したうえで、

協働プロジェクトをスタート

予測の説明変数を見極める為、

実務担当者に直接ヒアリング実施

実施概要

課題内容

工事部長(施工管理職)の負荷集中とデータ分析を活用した働き方

- ・営業から客先提示する工事費見積は工事部長のみが作成 →案件毎、プラン変更毎に再見積もり必要。負荷が集中し、速やかな見積回答が困難
- 過去の見積データは多く存在するが、①見積システムへの入力自由度が高く、非構造化 データが多数 ②紙保存や手書きデータのPDF保存 などデータ分析に活用しにくい状況



実施した検討内容

データ分析を通して、見積データの活用可能性の検討/初期的な検証を実施

賃貸マンション事業「キャッスルシリーズ」に限定し、過去20棟分の見積データを基に実施

- 非構造化データの整備(明細の分類再仕分け、用語や単位の統一等)
- 整備データより、ExcelやBIツールで見積傾向を可視化し、特徴を言語化
- アプローチの異なる3つの予測モデル(PythonやExcelを使用)にて、見積トライ



検討の成果

データ活用による働き方改革(DX)の大きな躍進へ小さな1歩をお手伝い

- 過去データ整備し、データ分析・予測可能にするとともに、今後のデータ入力規則を提案
- 見積の特徴を言語化し、データ分析の切り口やデータの活用事例を提示
- 速やかな工事費見積を実現(ただし、予測モデルの乖離割合±15%程度)
- → 実務に使える±5%程にする為には、より細かいデータの整備、特徴の把握が必要

株式会社富坂建設 (建設業):過去の見積データを活用した工事費見積予測パターン②: データ分析を通じたデータ・デジタル技術の活用可能性の設計/初期的な検証

実施内容の詳細

非構造化データの整備

過去の見積データ(工事費)を分析が出来るよう整備

- 例)・案件ごとに異なる明細の分類再仕分けを実施
 - ・半角文字は全角に統一
 - ・元が紙のPDFから、分析に必要な項目をデータ化

見積傾向を可視化し、特徴を言語化

整備したデータを用いて、相関関係が大きい項目や 気づきのあった傾向をグラフ化し、データの特徴を説明

例) 鉄筋価格は年々上昇傾向がある。

3 つの予測モデルにて、工事費の見積を予測

- ・Excelの線形回帰を用いた予測モデル アルゴリズム:線形回帰
- ・Pythonによる回帰予測モデル×2

アルゴリズム:ランダムフォレスト(説明変数違いの2つのモデル)

成果

データ整備で分析・予測可能&業務課題洗出

データを整備したことで、傾向を視覚的に把握ができ、 予測モデルの構築などデータの有効活用に成功。 また、業務課題を共に洗い出し、今回のデータ活用先 となる業務範囲を共に策定。(右図参照)

データ分析の切り口やデータ活用事例を提示

特徴を説明し、工事費見積に寄与する項目や近年 の傾向と気づきを共有。また、自社でデータ分析を 行って頂くことを見据え、データ入力規則の提案や、 分析手順・ツール(Excel、PowerBI)の紹介を実施。

データを活用し、速やかな工事費の見積を実現

予測モデルを構築する事で、工事費見積予測を実現 (ただし、予測モデルの乖離割合±15%程度)

→ 実務で使うには、±5%程迄で精度が求められ、 より細かいデータの整備、特徴の把握が必要。

見積業務フロー



予算等の希望条 件伝達



施主

プラン提案

営業

見

依

【本件目的】

営業時に見積予測値を利用 ⇒早い段階で施主の予算とすり合わ せができ、見積依頼の絞り込みが可能

見積実

【現在の課題】

- ・見積実施後に施主の予算と合わ ないことがある。
- ・什様変更あると再見積。
- ⇒見積数を減らしたい!



工事部

富木医療器株式会社(卸売業):営業支援システムの文字データ解析による新たな営業組織モデルの検討パターン②:データ分析を通じたデータ・デジタル技術の活用可能性の設計/初期的な検証

参加者

企業



社名	富木医療器株式会社
業種	卸売業
事業概要	医療機器・理科学機器の販売、保守メンテナンス病院設備の設計・施工医事用コンピュータの販売
所在地 (都道府県)	石川県金沢市



参加した 受講生 の概要



チーム名	Uni Tech
チーム人数	6名

スキル・PR

メンバーの普段の業務としては、中小企業のコンサル、製造業やサービス業、BtoBとBtoC企業の経営改善やバックオフィスの改善コンサル、金融機関でのデータ分析、ITコンサル、DXコンサル、IT導入やシステム開発をしております。

進める中で ミーティング時に提示できる物を 工夫したこと 作成すること

実施概要

課題内容

SFAへの入力内容から営業組織へフィードバックする示唆を得たい

- テキストデータから得られる示唆や数字データとの因果関係を検討したい
- 各営業スタッフの特性や商談のポイントとなる要素を推定
- 更なるSFAの活用や成果を生み出す営業組織体制の構築を目指していきたい



実施した検討内容

課題に対して、営業支援システムのテキストデータから示唆が得られないか検討を実施

- 失注を案件分類、課、顧客ごとに現状と要因を分析
- 営業プロセスの標準化
- SFAに直近で頻出する単語(トレンドワード)の抽出と、抽出対象のデータを検討



検討の成果

SFAを営業成績・粗利向上につなげるための方向性を提示

- 入力を見直す方向を示せた
- データ分析することで営業活動改善が実現できる可能性を示した
- トレンドワードの抽出と、営業活動分析のための前処理をするプログラムの提供

富木医療器株式会社(卸売業):営業支援システムの文字データ解析による新たな営業組織モデルの検討パターン②:データ分析を通じたデータ・デジタル技術の活用可能性の設計/初期的な検証

実施内容の詳細

営業プロセスの可視化

- 営業プロセスの規則性を可視化
- 加工後のデータから、標準化に向けた取り組み提案

データ分析の観点洗い出し

- データが利用できるのではないかと方向性が示せた
- 市町村が管理している病院データと営業支援システム情報を紐づけ

データ加工プログラム作成

分析するためのプログラム作成

成果

今後の改善ポイントの抽出

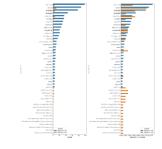
- 営業成績の良い方の営業プロセス発見
- データを今後の営業活動の取り組みに活かす方法を提案
- SFAへの入力不可の低減と、入力強化するポイントの提案





テキストで入力されているデータから示唆

- 営業担当のSFA入力内容から直近で入力されたワード(トレンドワード)を抽出することで提案内容の拡充を図ることができることを提示
- オープンデータである病院情報からSFAのデータの紐づけを行い、病床数等の規模を把握し、分析に生かせるように提示



再利用可能な環境提供

- トレンドワードを出力するプログラムを提供し、今後継続的にトレンドワードを確認することができる環境を整備
- データクレンジングをするプログラムを作成

お茶の井ヶ田株式会社 (小売業) : POSレジ及び通販データ(商品と顧客)の活用方法の確立 パターン②:データ分析を通じたデータ・デジタル技術の活用可能性の設計/初期的な検証

参加者

企業



社名	お茶の井ヶ田株式会社
業種	小売業
事業概要	お茶の製造販売

所在地

宮城県

(都道府県)



参加した 受講生 の概要



チーム名	デジタルくるり
チーム人数	6名

スキル・PR

AI・DXの実務経験と講師の経 験者が多く、様々な業界、業 務経験、幅広い年齢層、性別、 背景のメンバー

進める中で 工夫したこと クを分担した

メンバーのスキルに合わせてタス

店舗の店長さんなどにもミーティ ングにご参加頂いた

実施概要

課題内容

販売データの分析と活用方法の確立

- 月毎の現状確認・行動計画の自動化・ルーチン確立
- 店舗の商品構成・在庫を適正化、定着化させる仕組みを作る
- 報告書データの自動作成



実施した検討内容

必要なデータ調査とデータ自動取得方法検討

- POSレジシステムのデータ確認
- 各店舗で必要とするデータ内容の確認(店舗の店長さんにも会議参加頂きヒアリング)
- データ自動取得方法検討(スクレイピング、RPA)



検討の成果

POSレジシステムからのデータ自動取得とBIツールによるダッシュボード作成

- スクレイピングによりPOSレジデータを自動取得できるようにした。
- 店舗で使用するBIダッシュボード作成。各店舗の売上・売れ筋商品などの確認、発注 内容の検討補助ツールとして使用可能

お茶の井ヶ田株式会社 (小売業) : POSレジ及び通販データ(商品と顧客)の活用方法の確立

パターン②:データ分析を通じたデータ・デジタル技術の活用可能性の設計/初期的な検証

実施内容の詳細

必要なデータ調査とデータ自動取得方法検討

- 企業様より使用システム・現状の課題を教えて頂いた結果、以下が課題・要望であると確認
 - POSレジデータのシステム画面は操作が煩雑。簡単操作でデータを見れるようにしたい
 - 属人的に実施している商品の発注内容検討をデータ活用により自動化したい
 - 作業は極力自動化したい
- データを見たい形で簡単に見る為には、BIツールの導入が適当と判断。どのBIツールが適しているか検討しご提案
- 店舗の店長さん等にもミーティングにご出席頂き、どのようなデータ を見たいかヒアリングした
- 採用されたBIツールにてダッシュボードを作成。ミーティングでご意見頂きながら改良
- データ自動取得方法を検討(スクレイピング、RPA)。結果、スクレイピングを採用しプログラム作成
- スクレイピング実行環境を今後の保守の観点から検討しご提案
- 今回取り組んだ内容以外のデータ分析案もチームで検討しご提案

成果

POSレジシステムからのデータ自動取得とBIツールによるダッシュボード作成

- 各目的に沿ったダッシュボードを作成した
 - 見たいデータを簡単な操作で各店舗が見れるようになった
 - 各店舗の売上状況などを横並びで比較できるようになった
 - 属人的に実施していた商品の発注内容検討を、実績数値を用いて検討できるようになった
 - 店舗用、本社管理者用に分けてダッシュボードを作成し、各部署で必要な情報を見れるようになった
- スクレイピングコード、実行環境を作成し、POSレジデータを毎日自動で取得できるようになった。本データ がダッシュボードに連携され、最新情報をダッシュボードで表示することが可能
- ダッシュボード、スクレイピング実行に関するマニュアルを作成した
- BIツールをご提案した
- 今後、企業様にてダッシュボードを運用・保守・開発できるように、BIツール学習動画(全7回)を作成した
- 今回の取組み以外での今後のデータ分析の案をご提案した





豊橋ステーションビル株式会社 (不動産業):

AI等を活用して当ビル来館者数を予測できる仕組みを構築し、駅周辺エリアの活性化につなげたい

パターン②:データ分析を通じたデータ・デジタル技術の活用可能性の設計/初期的な検証

参加者

企業

TOYOHASHI STATION Kalmia

社名	豊橋ステーションビル株式会社		
業種	不動産業		
事業概要	豊橋駅周辺の 大型商業施設の運営・管理		
所在地 (都道府県)	愛知県 豊橋市		



参加した 受講生 の概要



チーム名	Team Global	DX Lab
	•••••	

チーム人数

5人

スキル・PR

エンジニア、システム開発、DX推進・ 企業会計・財務分析 等、多様な バックグラウンドを持つプロフェッショナ ルなチームで企業様のDXをサポート します

進める中で

・オンラインボードmiroの活用

工夫したこと ・現地訪問により、実際のデー タや環境を現地現物で確認 する事で案件理解を深めた

実施概要

課題内容

DX認定取得に向けたDX推進計画の作成、来館者予測に向けた企画書作成

- 中長期的なDX戦略のゴールの明確化し、2024年度中のDX認定取得をしたい
- 利用可能なデータを用いて収益向上に貢献しうる来館者予測を行いたい



実施した検討内容

- 将来の投資に耐えうる売上成長率を算出
- 現状の課題を抽出し、DX戦略作成に向けたアイデアだしを実施
- DX戦略の一部である来館者分析の全体像と効果についてのイメージ作成



検討の成果

DX認定に必要なDX推進計画書の作成と来館者予測の企画書の提案

- 「地域企業・行政との連携力」「東三河のハブとなる主要拠点」「顧客ニーズに合わせた サービスの提供」のコアコンピタンスに対するDX戦略を提案し、その達成度を測る指標を作 成した
- ユースケースを想定した来館者予測の企画書とシステム構成図の提案をした

豊橋ステーションビル株式会社 (不動産業):

AI等を活用して当ビル来館者数を予測できる仕組みを構築し、駅周辺エリアの活性化につなげたい

パターン②:データ分析を通じたデータ・デジタル技術の活用可能性の設計/初期的な検証

実施内容の詳細

DX認定取得に向けたDX戦略策定への取り組みを実施

- 企業様との対話を繰り返し実施し、現状把握と目指すべき姿の 具体化を実施
- 中長期ビジョンの共有から将来の投資に耐えうる売上成長率を 算出
- すでにある経営ビジョンとSWOT分析からコアコンピタンスを設定 2024年度のDX認定取得に向けて、コアコンピタンスベースにした DX戦略の提供価値・環境整備・達成目標を提案し、企業様と すり合わせを行いながらDX推進計画書を作成した

データドリブン経営に必要なデータの洗い出しを実施

- 企業様、行政、地域企業、JR東海が所有するデータの概要を 共有いただき来館者予測モデルのインプットデータを抽出した
- 産学連携もしくは次年度の地域協業プログラムでの取り組みのベースとなりうる来館者予測の企画書を作成した

成果

DX推進計画書の作成

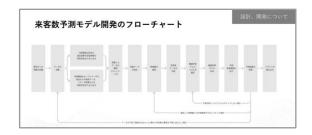
- 2032年の目指すべき姿として、企業風土の変革、コア事業の強化、地域連携強化による東三河地区のさらなる活性化を定義した
- ・ 企業様にあるコアコンピタンスをベースにDX戦略の策定と推進計画書を作成した





来館者予測の企画書の提案

- DX推進計画書に定めた顧客行動分析とデータドリブン経営に必要な来館者予測についての計画書を提案した
- ユースケースを想定したシステム構成図を提案した





山西水産株式会社 (水産加工業) : ECサイト業務の効率化と成長戦略の策定パターン②:データ分析を通じたデータ・デジタル技術の活用可能性の設計/初期的な検証

参加者

企業



社名	山西水産株式会社	
業種	水産業	
事業概要	ふぐ及び一般魚の加工販売	

所在地
(都道府県

山口県 下関市



参加した 受講生 の概要



チーム名	DXコラボ
チーム人数	5人

スキル・PR

IT業界の従事者が多く、昨年 のプログラムでも活躍したメン バー等で構成されていること

進める中で 丁夫したこと

分析から得られる結果に加え て、すぐに取り組める具体的な 施策を盛り込み、提案したこと

実施概要

課題内容

ECサイトの業務効率化及び、売上拡大を図りたい

- 昨年度から取り組んでいるRPAツール導入による受注業務の自動化を更に拡充したい
- 会社の方針として、ECサイトで一般消費者向けの販売に注力する一方で、売上が伸び 悩んでいる為、課題の特定と打ち手の検討を行いたい



実施した検討内容

業務効率化と売上拡大の2軸で取り組み検討を実施

- 自動化対象の業務フローの整理及び、デジタル化による最適化が可能な領域を調査
- ECサイト運営のヒアリングや楽天RMSデータの分析、他社・競合の事例調査を実施し、 課題を分析



検討の成果

バックオフィスの業務効率化と、ターゲット顧客のペルソナ像を作成

- PowerAutomateDesktopによるB2クラウド伝票の作成業務の自動化を達成した
- 仕込み数量の最適化を目的とした、販売数予測モデル(GUI操作可)を提供した
- 売上アップに繋げる為に顧客のメインターゲットとして考え得るペルソナ像を提案した

山西水産株式会社 (水産加工業) : ECサイト業務の効率化と成長戦略の策定パターン②:データ分析を通じたデータ・デジタル技術の活用可能性の設計/初期的な検証

実施内容の詳細

バックオフィスの業務効率化の検討

- ECサイトの業務フローをヒアリングし、自動化による効率化が期待 できる対象範囲の特定及び、実装方法を検討
- バックオフィスの業務内容をヒアリングし、自動化以外のアプローチ でも最適化が見込めそうな領域を検討

データ分析等を通じたECサイトの課題分析

- 楽天RMSのデータを分析し、売上アップに繋げる為に重視すべき 顧客のメインターゲット(ペルソナ像)を検討
- リピータ獲得に成功している他社のECサイト事例や競合企業の ECサイトを調査し、課題や改善点を整理

成果

Power Automate Desktopによる受注業務の自動化に成功

• B2クラウド伝票の作成業務を自動化し、10.4時間/年の稼働削減に貢献

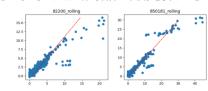




ECサイトの販売数の予測モデルを構築・GUIツールの提供

什込み数量の最適化を目的として、人気商品の販売数の予測モデルを構築・提供

複数の人気商品を 1ヶ月単位で販売数予測



GUIツール



ChatGPTやクラスタリング分析を活用し、ターゲットとして考え得るペルソナ像を作成

楽天RMSデータから得られる情報を元にターゲットなるペルソナ像を作成し、施策を提案



パターン③

「データ・デジタル技術を用いた新規事業検討」の取り組み事例

「データ・デジタル 技術を用いた 新規事業検討」 の取り組み内容



企業の状態

デジタル化の取組みは一定進んでおり、それらを活用した新しいビジネスモデルを創出したい



本段階で目指すゴール

- 新しいビジネスモデルの創出に向け、 考え得るアイディアが幅広く示され ている
- (可能であれば)
 取り組むべきアイディアが数個に 絞られ、初期的なビジネスシナリオ 案や、実現までの検討事項 / 今後のロードマップが示されている

参加企業および実施内容の概要 -パターン③

#	企業名	業種	所在	地域ハブ団体	実施テーマ
79	株式会社五月雨	建設業	愛知県	株式会社百五総合研究所	「建設工事現場の書類作成の省力化」をテーマとする新規事業の構想
80	株式会社ナガヨシ	サービス業	大分県	有限責任監査法人トーマツ	IoT機器を活用した高齢者の生活支援サービスの検討
81	株式会社日本統計センター	情報通信業	福岡県	独立行政法人国立高等専門学校機構	地域統計データの活用による地域課題解決に向けた企業間連携プラットフォームの構築
82	株式会社羽生田鉄工所	製造業	長野県	デロイト トーマツ リスクアドバイザリー株式会社	衛星データ活用を行う新規事業のビジネスシナリオの構築

株式会社 五月雨 (建設業・サービス業):①発注案件のゲーミフィケーション

パターン③: データ・デジタル技術を用いた新規事業検討

②配管つまり予測サービス、③業務効率化

参加者

企業



社名

株式会社 五月雨

業種

建設業、サービス業

事業概要

プラントエンジニアリング事業、工事現場DX、工事会社のDX支援/工事修理・修繕/洗浄剤販売/オンラインミーティングの導入・個別指導

所在地 (都道府県)

愛知県



参加した受講生の

こ チの エ

の チ



概要

チーム名

F.A.S.T.

チーム人数

6名

スキル・PR

中小企業支援、IT開発・運用、経営・営業・技術職など多様なバックボーンを持つメンバーが、企業の皆様とともにプロジェクトを推進していきます。

進める中で工夫したこと

強み・課題を明らかにするためヒアリング・ディスカッションを重ね、新規事業のサービスコンセプト・仕組みづくりに取り組んだ

実施概要

課題内容

呈示した課題を含む全5項目の中から新規事業の検討を進めたい

- 建設工事現場の書類作成の省力化
- 現場小規模事業者を救うDX構想策定
- 法令対応のパッケージサービス
- 配管つまりに関する予知保全 他1項目



実施した検討内容

3項目を決定、各課題について企業ヒアリング・ディスカッション

- ①現場監理課題の把握、DX導入による改善効果が見込まれる新規事業検討
- ②Pythonで異音検知モデルを構築、実際の音声データの代わりに公開データセットを用いてモデルの有効性を検証。また実際の音声データ収集の可能性を検討
- ③年間で行われる財務処理、法令等に基づく事務処理のスケジュール作成支援、業務効率化を検討



検討の成果

新規事業コンセプト、導入に向けたロードマップの提案(①)モデルの提示(②)具体的な効率化方法の案(③)

- ①工事関係者に対し「工事現場の末端まで工事情報を伝える」「建設業の常識・知識をわかりやすく」 「株式会社五月雨の認知度・満足度向上」を実現する支援システムのコンセプト提案
- ②異常検知モデルの有効性検証、必要な音声データフォーマットの確認
- ③「事務作業の年間スケジュールを可視化」「マニュアル・チェックリストの作成」「マネーフォワードの活用」を実現する 業務支援ツールの作成、提案

株式会社 五月雨 (建設業・サービス業)

パターン③: データ・デジタル技術を用いた新規事業検討

: ①発注案件のゲーミフィケーション

②配管つまり予測サービス、③業務効率化

実施内容の詳細

ヒアリング・ディスカッションによる課題検討

• ヒアリング・少人数でのグループディスカッションを通じて建設現場で牛じる課題を把握。

特に、協力会社の作業員との工事情報の共有に関する重要性と課題について確認した。

また、作業員のモチベーションを高め、工事の進捗に能動的に関われるようにすることで現場効率化、工事時間短縮・事故削減を目指すことが重要との課題を確認した。

- 配管の異常を音声データを用いて検知する新規ビジネスの実現可能性の検証のため、公開データセットをサンプル音源として、異常検知システムの実装可能性について検証した。
- 事務担当者からのヒアリングにより、バックオフィス業務のタスク洗い 出し、効率的な業務プロセスの構築ポイントを検討した。

成果

新規サービスコンセプト・導入に向けたロードマップ等の提案

- 現場に配置した作業員等が、現場出退勤管理、今日の現場情報、作業進捗状況、作業現場改善意見の提出等がスマホアプリで行えるようなサービスを提案した。アプリ利用促進のため、ゲームの要素を取り入れたユーザーインターフェースとし、使いやすいものとすることとした。
- 作業員の保有資格・技能、経験した現場の情報等を管理するデータベースを構築し、工事現場に必要な技能を持つ作業員が配置できるよう、受注者を支援するサービスを提案した。
- サンプルモデルは一定の精度で音声データの識別が可能であることが確認できた。
 今後、実環境の音声データによる試行、収集する音声の精度向上に向けた検討等を進めシステムの精度向上を図るとともに、サービスとして確立していくための今後の展望を提示した。
- 税務申告や給与計算、年末調整等のタスクを管理し、計画的な実行を可能とするスケジュール管理ツールの作成・提供するとともに、マニュアル作成・チェックリスト作成支援、支払手段の一本化に関する検討支援を行った。
- 将来的には、ノウハウを協力会社等へ展開し関係者全体の効率化を通じて、新たなビジネスチャンスの創出を目指す。

株式会社ナガヨシ (介護):データ・デジタル技術を用いた新規事業検討

パターン③:新規事業

参加者

企業



社名	株式会社ナガヨシ
業種	介護保険サービス事業
事業概要	介護保険サービス事業所として 主に福祉用具のレンタル・販売 住宅改修の事業を行っている
所在地 (都道府県)	大分県 豊後大野市



参加した 受講生 の概要



進める中で

チーム名	Lucky DX スクラムレジェンズ
チーム人数	5人
スキル・PR	ITシステム開発経験、IT・DXプロジェクトにおける要件定義の経験 (上流の経験) あり。 穏やかなメンバーが揃っている。

工夫したこと 穏やかな雰囲気作りを行うよう

にしたこと。

堅苦しい空気にならないように、

実施概要

課題内容

IoT機器を活用した新規サービスを構築することで、介護業界をより良くしたい

- 日本の高齢化率が高まり、介護従事者などの人手不足が深刻化している
- 老々介護、独居老人の増加も顕在化している
- IoT機器活用により、被介護者・介護従事者にとって、より良い状態を作りたい



実施した検討内容

新規サービス内容をすり合わせし、サービスで活用するIoT機器候補を調査

- 企業様の構想に対するヒアリング・意見交換を通じて、新規サービスのターゲット像、 サービス内容をすり合わせし、明確化
- 新規サービス内容を踏まえ、活用するハードウェアについて、その候補を調査



検討の成果

新規サービスで活用するIoT機器候補を提案

- 新規サービスで活用するハードウェア候補等を提案した
- テスト導入を実施できる見込みを得た
 - 企業様の検討が進み、早ければ数ヶ月以内にテスト導入実施の目処が立った

株式会社ナガヨシ (介護):データ・デジタル技術を用いた新規事業検討

パターン③: 新規事業

実施内容の詳細

新規サービスの事業化に向けた検討(下記8点)を実施

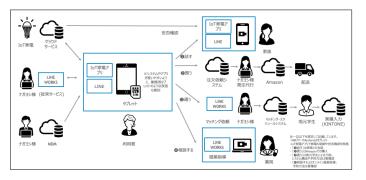
- ヒアリングを通じたターゲット像の明確化。
- 提供サービス内容の検討
- データ分析による現状の可視化
- ハードウェアの調査・提案
- モバイルデバイス管理ツールの調査・提案
- システム概要図の作成
- テスト導入計画案の作成
- 収益性の試算

成果

ハードウェア候補を提案し、事業化に向けて確実な一歩を踏み出すことができた

新規サービスで活用するハードウェア候補を提案し、システム概要図を作成した。

メーカー	SAMSUNG		Lenovo		Aiwa	Orbic	Amazon
機種	Galaxy Tab A	Galaxy Tab A9+(Wi-Fi)	M10 HD	Bシリーズ	aiwa tab AB10L JA3- TBA1005 SIM フリー	Orbic TAB8 4G ORB8L1TB- RW/JP	Echo Show 8 第2世代
価格	35,640	35,799	35,800	24,860	19,655	24,516	11,170
SIM使用可否	×	×	0	×	0	0	×
メモリ(GB)	3	4	3	3	3	3	非公開
CPU	Octa Core 1.8GHz/2+1 .6GHz/6	オクタコア 2.2GHz, 1.8GHz	Helio P22T 2.3GHz+1.8 GHz	Unisoc T610 プロセッ サー	MediaTek MT8766(Cor tex A53)/2GHz	Qualcomm® Snapdragon ™ 680 4G	MediaTek MT 8183
インカメ 画素数(MP)	5	5	5	5	5	5	13





検討がスムーズに進行し、テスト/本格導入を、想定よりも早く実施できる見込みを得た。



株式会社日本統計センター(情報サービス業):地域統計データの活用による地域課題 解決に向けた企業間連携プラットフォームの構築

パターン3: データ・デジタル技術を用いた新規事業検討

参加者

1	\	AL	Ľ
4	兦	=	<u>_</u>
Ш	L	Ϡ	₹

 十名 株式会社日本統計センター

任意)

業種

情報サービス業

事業概要

地域データベースの提供、

及びコンサル、DBシステム提供

所在地

福岡県北九州市

(都道府県)



参加し た受講生 の概要

チーム名

一番幸せな台所

チーム人数

スキル・PR

・豊富な実務経験とコミュカ

・熱心で力強く対応



進める中で

企業様と状況認識の相違確認 工夫したこと メンバのやりたい分野の検討提示 (企業の課題の中から)

実施概要

課題内容

DXを導入し、地域課題解決の強力なパートナーとしての認知度を高める

- HPにもっとたくさんのお客様を集めたい。課題を洗い出す。
- 既存データの活用方法を検討する。



実施した検討内容

提供データの価値を上げ、新たなお客様獲得の為の施策を検討実施した。

- 地域統計データの価値を上げる
- 現状HPの改善
- HP集客の目的の明確化と改善に向けた仕組み構築&HP誘導策の検討



検討の成果

データ価値改善、HP改善(短期と長期)にわけてご提案

- データの新たな価値を提案する新サービス案を提示した。
- 現状のHPの課題と改善案を提示した。
- GoogleアナリティクスによるHPの改善手法を提供しデータドリブンな改善が開始された。

株式会社日本統計センター (情報サービス業):地域統計データの活用による地域課題解決に向けた企業間連携プラットフォームの構築

パターン3: データ・デジタル技術を用いた新規事業検討

実施内容の詳細

成果

データ価値向上・HPコンバージョン向上という視点で検討

- データ価値改善や新たな利用方法を検討するため、他社の成功 事例に関する情報を収集し、具体的な事例紹介を通じて、地域 データベースの新たな見方を提示した。
- 生成AIを活用したサンプル記事作成例を提供し、NSCがカスタマイズしたブログ記事を作成できるよう、実践的なアドバイスを提供した。
- HPの目的を定義し、コンバージョンとして明確にし、ファネル分析 で離脱箇所を検出し改善し、改善をデータで確認する手順を提 案した。
- HP訪問者を増やす為、訪問者の属性に合わせた施策を検討し、 質の高い訪問者をより集める手段なども提示した。
- 生成AIの使い方を具体例で提示した。(企業分析等)

<HP改善(短期)>

- トップページを中心とした現在のHPの課題とその対応施策について提案を実施
- 運用に関して取り組むべき内容を整理し、提案を実施
- HPのサイト構成に関する具体的なイメージ案を策定し、提示

データ価値改善、HP改善(短期と長期)にわけて改善案を提案

- 地域データサービスの新たな見方を提示することで、新たな利用ニーズを気づいていただいた。
- 良質な記事を量産するための技術や工夫を提示し、理解していただいた。
- GoogleAnalytics4(GA4) での取得データにより分析を行う為のHP改善チームが結成され、改善に向けての活動が始まった。
- HP作成者側の視点で作成していた事を気づいて頂き、訪問者側の視点、取引につなげる意識に気づいて頂き、具現化に向けた取組が開始された。
- HP改善に向け、KGI/KPIを定め、ログからのデータドリブン的改善や、カスタマージャーニーマップによる顧客理解を深くし、盛込んでいくことになった。
- HP運用体制も組織化し資源投下する必要性を理解頂いた。
- 地域データベースの新たな見方を提示することで新たな利用ニーズを気づいて頂けた。
- 良質な記事を量産するための技術や工夫を提示し、理解頂いた。
- 販売したデータの利用目的が把握出来ていないことに気づいて頂きました。
- 自分達では認識できていなかった強みを第三者視点で提示できました。
- 生成AIを企画案の素材として活す様に開発部門での調査等で活用中でした。マナビDX側の知見を追加させて頂きました。

株式会社羽生田鉄工所 (製造業): 衛星データ活用を行う新規事業のビジネスシナリオの構築

パターン③:データ・デジタル技術を用いた新規事業検討

参加者

企業

任名	休式会任羽生田跃上川
業種	情報通信業
事業概要	圧力容器製造販売 衛星データ活用事業
所在地	長野県



外存地





参加した 受講生 の概要



エ_	1.4
ァー	$\Delta \Delta$

1 1 1 1 1 1

わっしょい

チーム人数

6人

スキル・PR

伝統的な祭りの掛け声 「わっしょい!」のもと、 チームが協力・団結して、企業様の 課題解決に取り組みます。

進める中で 丁夫したこと

・社長が登壇する講演会に 聴講参加し、大切にされて いることを理解して進めた。

実施概要

課題内容

衛星データを活用した新規事業を検討したい。

- ・現状の取組における優先順位付け。
- 新規ビジネスのアイデア創出。
- ・具体的な取組に向けたロードマップの整理。



実施した検討内容

ビジネスアイデア創出と、衛星データ自体の認知度を向上させる施策を検討。

- ・協働企業様の想いを理解する。
- ・既存の衛星データ活用事例を把握。
- ・アイデア創出と協働企業様とのディスカッションによる アイデアの磨きこみ。
- ・業界全体を盛り立てるために、衛星データ活用人財を増やす施策も検討。



検討の成果

35件のアイデアを創出。その中から3件のアイデアに絞り、具体的な提案を実施した

- ・アイデアリストにKPIを付与して優先順位の整理(3件に絞り込む)
- ・3件の個別アイデアについて、イメージを具体化
- ・内1件は、デプスインタビューを協働企業様にて実施いただき、最終報告にも反映。

